

味する領域である。この図の中に、本測定で得られた各資料の値を「●」で示した。

鉛の同位体比にはもう一つの表現の方法があるので、図6で表した。この図では縦軸が $^{207}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$ の値である。この図をB式図と呼ぶこととする。この図の中でA' B' C' D'はA式図に準じて中国華北、華南、日本、朝鮮半島産の鉛領域を表わす。各資料の値を「●」で図中に表した。それぞれの点はA式図と同様な位置関係に分布した。

今までの測定で青銅材料あるいは製品の産地は次のように大まかに分類される。即ち、弥生時代の前期後半から出現する初期の青銅製品はDおよびD'で示される領域に位置する。即ち、朝鮮半島産であるか、あるいは朝鮮半島産の材料を利用して日本で製造された。その後、AおよびA'領域で示されるかなり広い範囲すなわち中国華北の複数の産地と思われる材料で作られた青銅が利用されるようになる。弥生時代後期後半には華北の中でも一カ所と推定される材料、即ちa領域で示される範囲に変わる。弥生時代の資料は銅鏡以外でB領域に含まれることは極めて少ない。

4.2.2 鉛同位体比測定値の所見

今回測定された水瓶の5点の値はA式図から判断するとC領域、即ち日本産の鉛領域に含まれる。しかも、かなり近接した値であり、ほぼ測定の誤差範囲あるいは外部からの汚染をいくらか反映していると、判断できる。しかし、B領域にも少々近く、B領域である可能性を捨てきれないのも事実である。そこでB式図をみると、本資料の5つの測定点はC'領域に含まれる。No.5の点はやや離れており、考えなければならぬ違いかもしれない。しかし、C'領域内であり、B'領域とは判断できない。それ故、これら5つの箇所の試料は同一の鉛同位体比を示すと考えることができ、またC領域の素材を利用したと判断できる。

化学組成からも同一材料であることが支持されているので、本資料は同一時期に日本産の同一素材を利用して、作られた可能性が高い。

引用文献

- (1) 平尾良光、榎本淳子：銅製品の科学的研究：『斑鳩 藤ノ木古墳 第二・第三次調査報告書』“分析と技術篇” 27-39 (1995)／奈良橿原考古学研究所
- (2) 平尾良光、馬淵久夫：表面電離型個体質量分析計VG-Sectorの規格化について；保存科学28、17-24 (1989)
- (3) 平尾良光：古代日本の青銅器；M.A.C.サイエンス4、22-33 (1990)／Material Analysis Company
- (4) 馬淵久夫、平尾良光：鉛同位体比法による漢式鏡の研究；MUSEUM No.370、4-10 (1982 a)
- (5) 馬淵久夫、平尾良光：鉛同位体比から見た銅鐸の原料；考古学雑誌68、42-62 (1982 b)
- (6) 馬淵久夫、平尾良光：鉛同位体比法による漢式鏡の研究 (二)；MUSEUM No.382、16-26 (1983)
- (7) 馬淵久夫、平尾良光：東アジア鉛鉱山の同位体比—青銅器との関連を中心に—；考古学雑誌73、199-210 (1987)

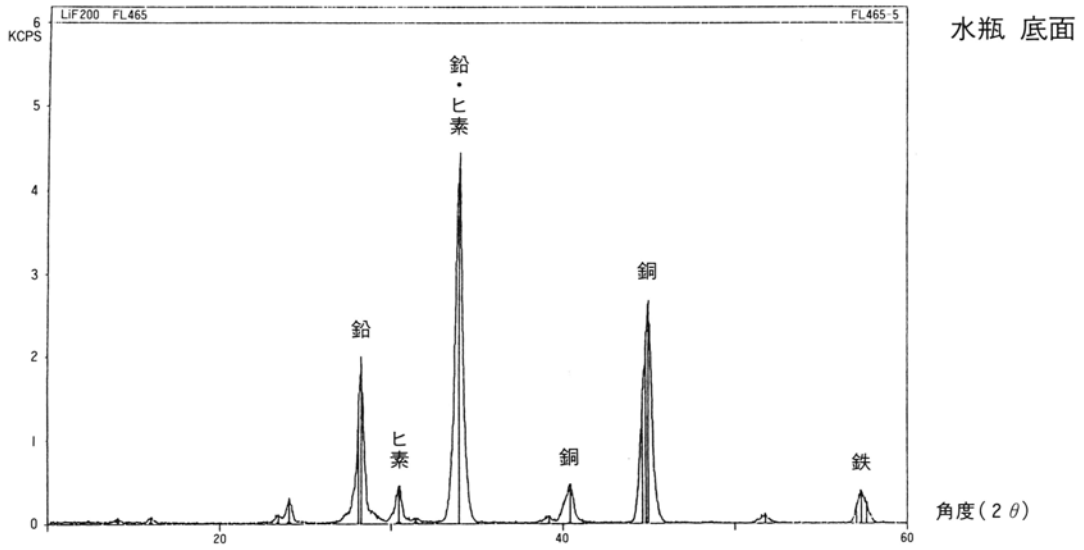


図1-a 和田山天神前遺跡出土水瓶底面の蛍光X線スペクトル図

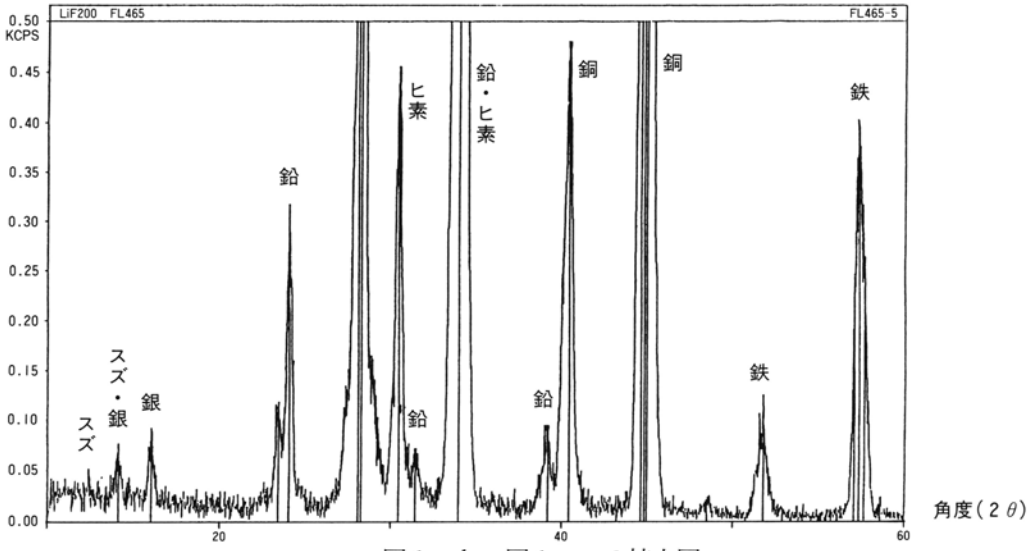


図1-b 図1-aの拡大図

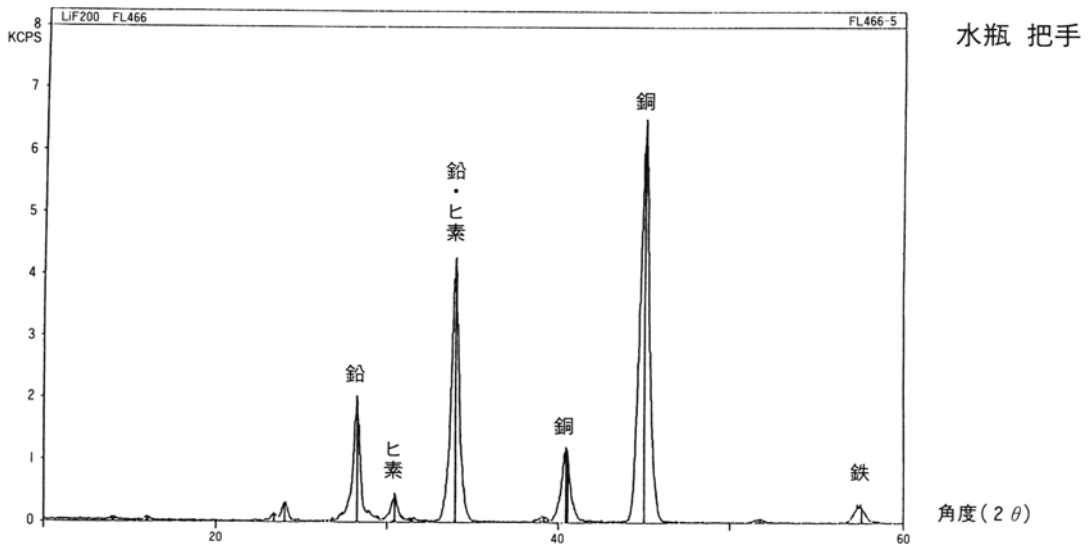


図2-a 和田山天神前遺跡出土水瓶把手の蛍光X線スペクトル図

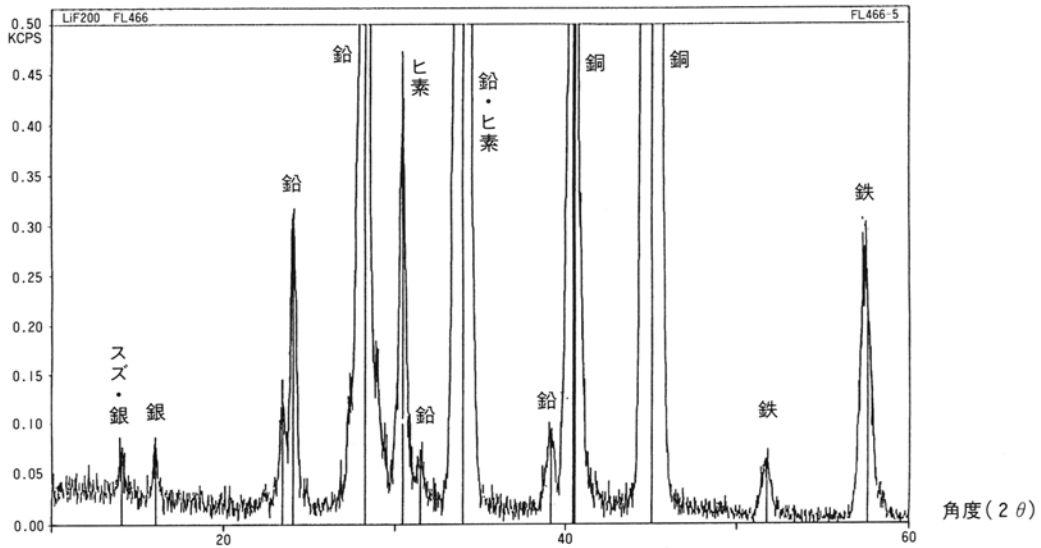


図2-b 図2-aの拡大図

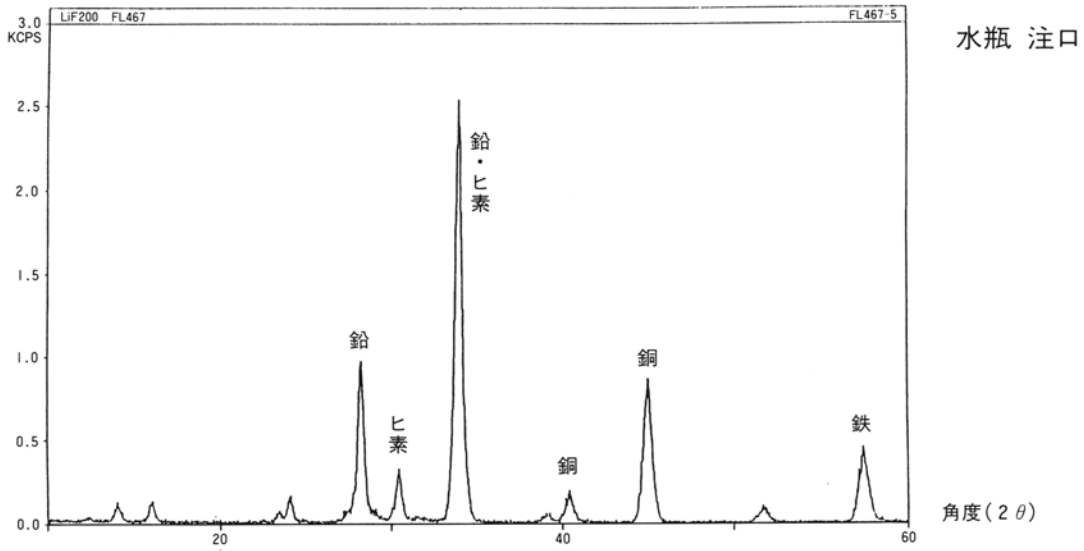


図3-a 和田山天神前遺跡出土水瓶注口の蛍光X線スペクトル図

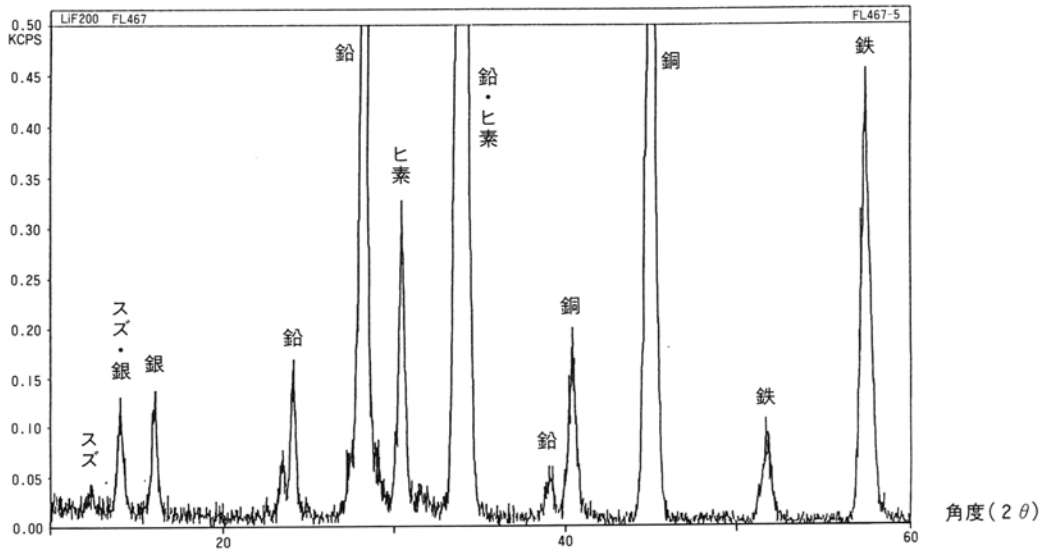


図3-b 図3-aの拡大図

水瓶 蓋獅子

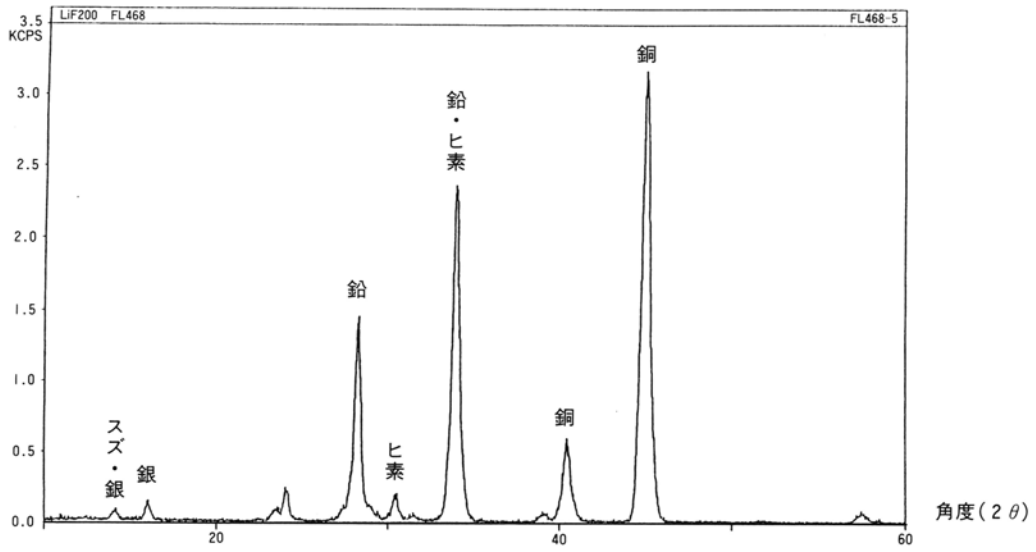


図4-a 和田山天神前遺跡出土水瓶蓋獅子の蛍光X線スペクトル図

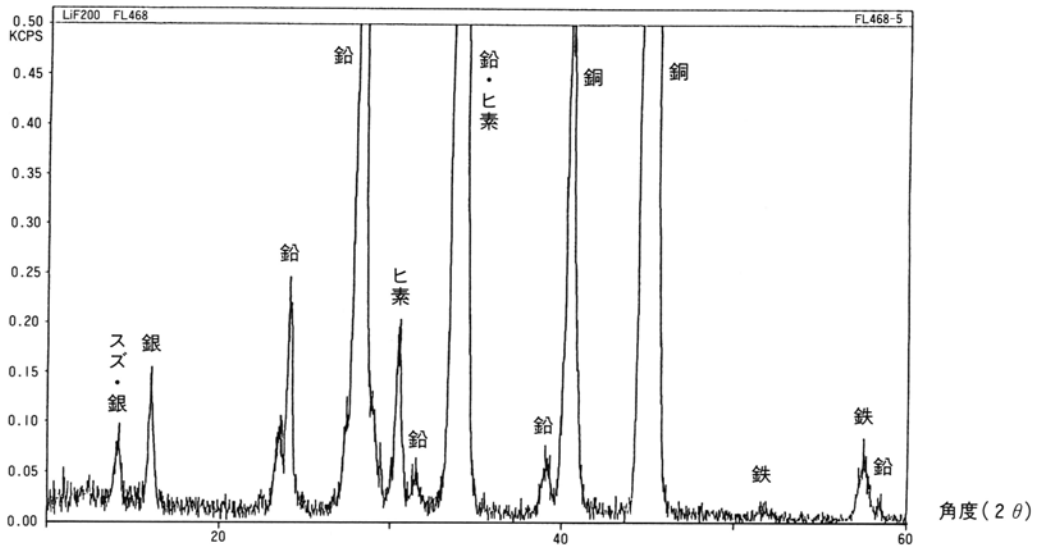
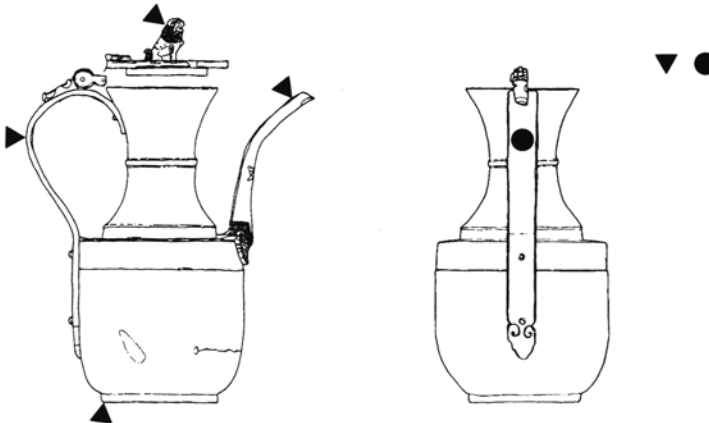


図4-b 図4-aの拡大図



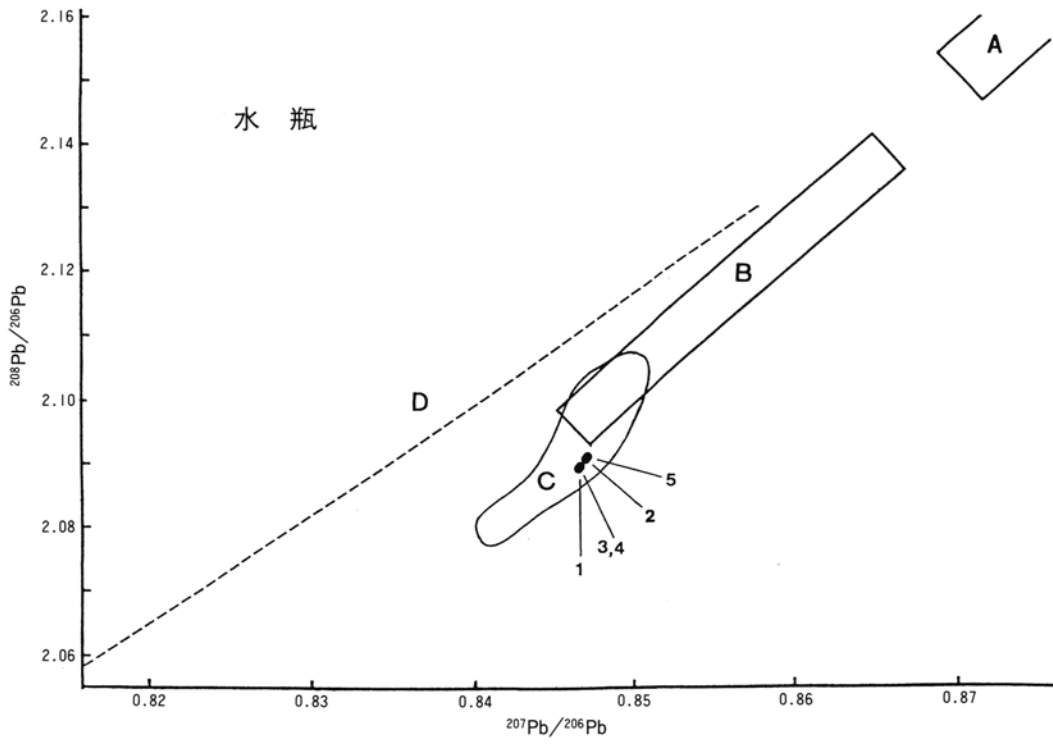


図5 和田山天神前遺跡出土水瓶の鉛同位体比の分布 (A式図)

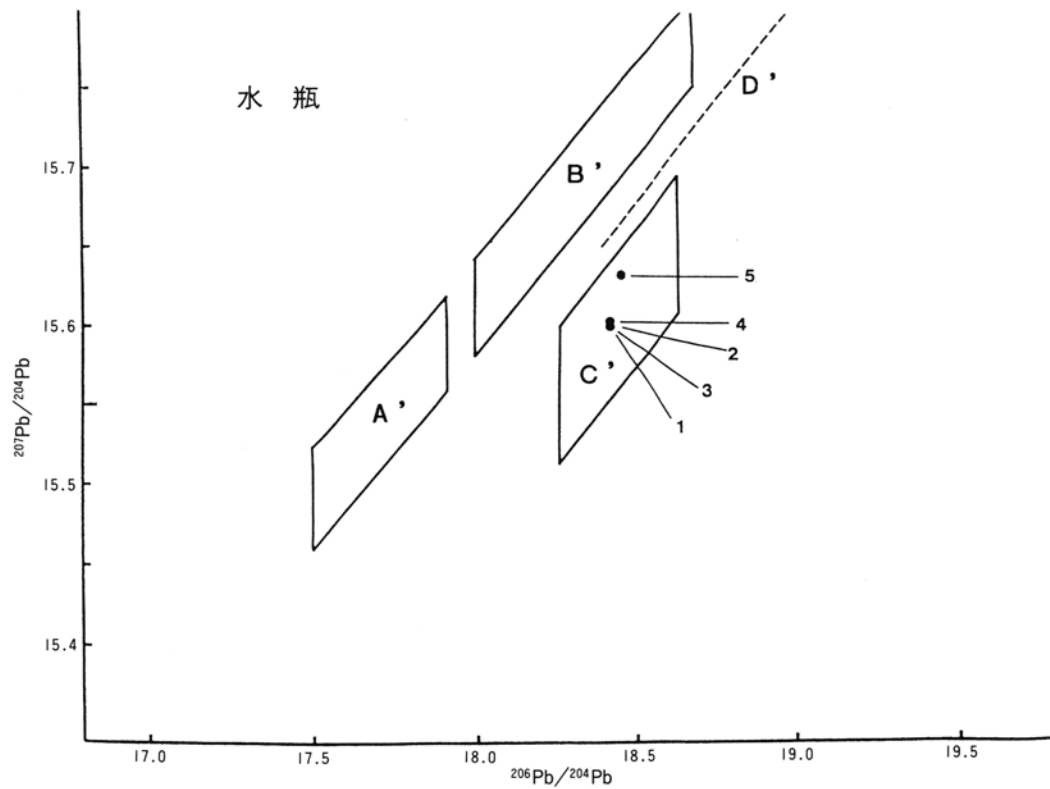


図6 和田山天神前遺跡出土水瓶の鉛同位体比の分布 (B式図)

表1 水瓶の蛍光X線分析法で測定された元素のX線強度比*1)

角 度 ^{※3)}	アンチモン (13.5)	スズ ^{※5)} (14.0)	銀 (16.0)	鉛 ^{※2)} (28.3)	ヒ素 ^{※2)} (34.0)	水銀 (35.9)	金 (36.9)	亜鉛 (41.8)	銅 (45.0)	ニッケル (48.7)	鉄 (57.5)	銅強度 (cps) ^{※4)}
1.底面 (FL465) ^{※6)}	-	1.5	2.7	73	94	-	-	-	100	+	15	2400
2.把手 (FL466)	-	0.6	0.9	31	34	-	-	-	100	-	4	6500
3.注口先端 (FL467)	-	10	14	110	290	-	-	-	100	-	51	840
4.蓋-獅子頭部 (FL468)	-	1.6	4.2	46	29	-	-	-	100	-	2	3100

- ※1) 数値は角度45.0度における銅のX線強度を100としたときの各元素の強度比
- ※2) 鉛のピークはスズの影響を、ヒ素のピークは鉛の影響を補正した値
- ※3) 2θで表わされた各元素の励起X線の位置
- ※4) cps: 1秒間に測定されたX線の数(放射線数/秒)
- ※5) -は検出限界以下をあらわす。+はピークは存在するが高さとして判別できるほどではない。
- ※6) FLは当研究室の蛍光X線測定番号

表2 水瓶の鉛同位体比

資料名 (CP番号)	²⁰⁶ Pb	²⁰⁷ Pb	²⁰⁸ Pb	²⁰⁷ Pb	²⁰⁹ Pb	図中番号
	²⁰⁴ Pb	²⁰⁴ Pb	²⁰⁴ Pb	²⁰⁶ Pb	²⁰⁶ Pb	
底 面 (CP850)	18.424	15.598	38.50	0.8466	2.0897	1
注 口 (CP851)	18.421	15.602	38.52	0.8470	2.0911	2
把 手 (CP852)	18.424	15.600	38.50	0.8467	2.0899	3
蓋-獅子左肩部 (CP853)	18.427	15.604	38.51	0.8468	2.0899	4
蓋 側 面 (CP854)	18.454	15.632	38.60	0.8471	2.0916	5
誤差範囲	±0.015	±0.015	±0.04	±0.0003	±0.0006	

和田山天神前遺跡出土の人骨・馬骨について

群馬県立大間々高等学校 宮崎重雄

7号古墳

7世紀後半の円墳で、玄室の床面から歯片が20数片出土した。

このうちある程度の歯種判定ができるのは5本である。また最大保存長が76mmまでの大腿骨片数10片が残存していた。

上顎犬歯(右)は尖頭部が大きく咬耗し、長径2.9mmの象牙質が菱形に露出している。右上顎第2小白歯は頬側咬頭が咬耗され、咬頭部に点状の象牙質が露出している。歯の大きさは犬歯が歯冠近遠心径7.9mmであり、上顎第2小白歯が近遠心径7.3mm、頬舌径10.0mmである。右上顎第3大白歯、右上顎第2大白歯、下顎第2または第3第臼歯と思われる歯にも咬耗がわずかながらみられる。

歯は1個体由来しているとしても矛盾はないが、正確な個体数は不明である。

1個体とした場合、歯の咬耗度は青年期後半から壮年期を示している。性別は犬歯の大きさから男性の可能性が高い。

8号古墳

玄室床面から検出された数10片の細骨片である。骨片の厚さ、形状から大腿骨と思われる。歯は1片も残存してなく、骨片も保存不良で詳細は不明であるが、成人ではあろう。

22号古墳

玄室から出土した保存最大長48.3mmのヒトの脛骨と思われる。青年期より年長の個体であろう。

1号火葬墓(室町時代)

焼骨特有の亀裂、歪みのある灰白色の骨片で、総重量は210グラムである。体肢骨には長軸方向へ走る細かい筋が観察されることから、人骨であることがわかる。

細骨片となっているため、頭蓋冠片、体肢骨片は含まれていることはわかるが、詳細な部位判定は不可能であり、年齢・性別を知ることはできない。炭化材が数片供伴している。

3号墓(室町時代)

3号墓は体肢骨・体幹骨がほとんど腐食・焼出しているが、歯は比較的保存が良く、歯冠部をほぼ完形で残している。

下顎第1大白歯は、第5咬頭が結節状で、近心頬側咬頭には点状の象牙質が露出している。下顎第2大白歯はエナメル質のみがわずかに咬耗され、第3大白歯は未咬耗である。上顎大白歯も同様で、第1大白歯は近心頬側咬頭に点状の象牙質が露出し、大2大白歯はエナメル質のみがわずかに咬耗され、第3大白歯は未咬耗である。犬歯の歯根は完成していることをあわせ考えると、この個体は青年期前半であろう。

上顎大2大白歯は「お多福顔」形で頬側から舌側へ広がっていて、頬側面および舌側面には歯帯状のごく

わずかの高まりが観察される。

第3大臼歯は右上顎には萌出してなかったようで、右上顎大2大臼歯の遠心側に接触面を欠いている。

犬歯は近遠心径・頬舌径が上顎歯で8.4mm・10.2mmであり、この大きさからみると男性の可能性が高い。下顎犬歯・大1大臼歯の大きさもそれを支持している。歯冠部で見る限り齶蝕はない。

5号墓（室町時代）

右上顎大3大臼歯が残存する。咬耗はやや受けているようであるが断定はできない。他に小臼歯が存在する。青年期の個体であろう。

7号墓（室町時代）

隅丸長方形の墓坑に頭を西におき東西方向に横たわった横臥屈葬と思われる姿勢で埋存していた。右上腕骨は保存長が113.7+mm、骨体部中央の横径・矢状径が12.1mm×23.5mmである。この他、保存不良の大腿骨らしき骨片、頭蓋冠片3片が残存していたが、歯は検出されない。

8号墓（室町時代）

長楕円形の墓坑に頭を北におき南北方向に横たわっていたが、詳細は埋存姿勢は不明である。体肢骨は左大腿骨、左(?)脛骨、橈骨が残存し、脛骨は保存長が121.0mm、栄養孔における横径が21.6mm、矢状径が34.6mmで、大腿骨片は保存長が126.7mm、骨体中央部における径が横径22.5mm、矢状径27.4mmである。橈骨片は保存長が86.0mm、横径が10.0mm、矢状径が15.3mmである。

歯は6本分が検出されている。左上顎大2大臼歯は近心舌側咬頭が面状に摩耗し、遠心舌側は点状に象牙質が露出している。左上顎第2小臼歯は舌側咬頭のほぼ全面に象牙質が露出している。この他に咬耗が咬合面の半分以上に広がりを見せる上顎大1大臼歯、咬合面全面に象牙質の露出がある下顎大1または第2大臼歯がある。

9号墓（室町時代）

東西方向に長軸を持つ長楕円形の土坑墓で、頭は西においていた横臥屈葬で埋存していたようである。

右上顎大2前臼歯は近遠心径が6.6mm、頬舌径が7.3mmで、頬側咬頭に大きく象牙質が露出し、近心側に象牙質にはいたらない齶蝕状のものがある。左上顎中切歯は近遠心径が9.0mmあり、切縁に象牙質の露出がある。大腿骨は保存長が138.5mmあり、骨体部中央の横径・矢状径は27.5×24.0mmである。上腕骨らしき骨片もある。壮年期の個体のようである。

10号墓（室町時代）

長方形の土坑墓で、骨は腐食消失し、右下顎大1大臼歯が残存するのみである。

この歯はごくわずかに咬耗を受けているようであるが、風化が進んでいてはっきりしない。近遠心径は12.0mm、頬舌側は11.0mmである。

少年期の個体のようである。

13号墓（室町時代）

楕円形の墓坑で、形78.0×74.0mmの後頭部頭蓋冠片と数本の歯が残存する。

右上顎犬歯は尖頭歯に大きく象牙質が露出し、近遠心径は6.0mm、頬舌径は7.3mmである。下顎大1小臼歯は全面エナメルが咬耗を受けている。近遠心径は6.1mm、頬舌径は7.4mmである。上顎第1または第2小臼歯は舌側咬頭に全面象牙質が露出し、近遠心径は6.3mm、頬舌径は8.3mmである。上顎第1または第2大臼歯は全咬頭に象牙質が露出している。左上顎第3大臼歯は全面エナメル質が咬耗を受け、近遠心径は9.8mm、頬舌径は9.3mmであり、左上顎第3大臼歯は遠心頬側咬頭に点状に象牙質が露出し、近遠心径は9.1mm、頬舌径は9.0mmである。壮年期の女性と思われる。

18J-2グリッド（中世）

ウマまたはウシの大腿骨かと思われる。保存長は97.0+mmである。鉄砲玉2点が共伴する。

8号溝（室町時代）

馬歯で、全乳臼歯の出土をみたが、現在は左上顎第1乳臼歯、左上顎第2乳臼歯、左下顎第3乳臼歯の3本が比較的保存良好で、他は破片化がはなはだしく、歯種判定は困難である。

いずれの歯も咬耗が始まって、まだあまり時間がたつてなく、歯髓腔は開放している。生後1年以内であろう。

11号集石（室町末～江戸）

ウマの上顎乳臼歯片が多数出土した。咬耗の跡がみられないことから、8号溝のものより少し若いと思われる。生後数カ月であろう。

参考・引用文献

- 馬場悠男（1981）人骨計測法「江藤盛治編・人類学講座一別巻1」。pp359、雄山閣。
藤田恒太郎（1959）歯の計測基準について。人類学雑誌、61、27-32。
上條雍彦（1992）「日本人永久歯解剖学」。pp272、アナトーム社、東京。
片山一道（1990）「古人骨は語る」。pp210、同朋社。
野村晋一（1986）「概説馬学」。pp359、新日本教育図書。
瀬田季茂・吉野峰生（1990）「白骨死体の鑑定」。pp478、令文社。

3号墓歯の計測値

			近遠心径	唇舌径	歯冠長	咬 耗 状 況
上顎	切 歯	中切歯	9.4		11.3	
下顎	切 歯	中切歯	5.4			
上顎	切 歯	右犬歯	8.5	10.2		尖頭部に象牙質点状露出
上顎	犬 歯	左犬歯	8.3	10.1		尖頭部に象牙質点状露出
下顎	犬 歯	右犬歯	7.2			尖頭部近遠心側エナメル咬耗
上顎	小白歯	右第2	7.9	10.7	7.5	エナメル咬耗
上顎	小白歯	右第1	8.1	11.1	8.6	エナメル咬耗
上顎	小白歯	左第2	7.5	10.7	7.6	舌側咬頭に象牙質露出
上顎	小白歯	右第1	8.1	11.1	7.8	エナメル咬耗
下顎	小白歯	右第2	8.0	9.5	5.8	エナメルわずか咬耗
下顎	小白歯	右第1	7.8	9.3	8.8	エナメルわずか咬耗
下顎	小白歯	左第2	7.7	9.7	7.6	エナメルわずか咬耗
上顎	大白歯	右第2	10.4	12.9	6.6	エナメル咬耗
上顎	大白歯	右第1	10.8	12.9	6.5	近心頬側咬頭に点状象牙質露出
上顎	大白歯	左第3	8.3	10.7	7.2	未咬耗
上顎	大白歯	左第2	10.8	13.1	7.2	エナメルごくわずか咬耗
上顎	大白歯	左第1	10.7	13.1	6.3	エナメル咬耗
下顎	大白歯	右第3	10.9	10.7	6.3	未咬耗
下顎	大白歯	右第2	11.3	11.6	6.5	エナメルわずか咬耗
下顎	大白歯	右第1	11.1	11.7	6.3	近心頬側咬頭点状に象牙質露出
下顎	大白歯	左第3	11.9	11.0	6.4	未咬耗
下顎	大白歯	左第2	11.0	11.3	6.7	エナメルわずか咬耗
下顎	大白歯	左第1	11.8	11.9	6.7	近心頬側咬頭点状に象牙質露出

9号墓歯の計測値

			近遠心径	唇舌径	歯冠長	咬 耗 状 況	そ の 他
下顎	切 歯	左中切歯	5.3			切縁エナメル咬耗	
上顎	犬 歯	右犬歯	7.5	7.8		遠心辺縁隆線全面象牙質露出	
上顎	犬 歯	左犬歯	7.7	8.4		尖頭全面に象牙質露出	
下顎	犬 歯	右犬歯	6.7+	8.1		尖頭全面に象牙質露出	
上顎	大白歯	右第3	8.9	9.1	6.6	半面に象牙質露出	近心歯頸部にC2の齶蝕
上顎	大白歯	右第2				頬側2咬頭に象牙質大きく露出	
上顎	大白歯	左第1?	10.0	12.7		エナメル質のみ中程度に露出	
上顎	大白歯	左第2?	10.3	11.9		エナメル質のみ中程度咬耗	

左上顎の2本と右の大白歯とは咬耗だが違いすぎる

8号溝馬歯の計測値

左上顎白歯

			第1乳白歯	第2乳白歯
歯冠近遠心径	咬合面		32.8	35.3
歯冠近遠心径	中 央		27.8	32.2
歯冠頬舌径	咬合面		23.0	
歯冠頬舌径	中 央		23.5	
原 錐 幅	咬合面		10.4	17.4
歯 冠 高	頬 側		32.6	28.0
歯 冠 高	舌 側		27.5	27.8
中 附 錐 幅	咬合面		3.7	4.9

左下顎白歯

			第3乳白歯
歯冠近遠心径	中 央		30.7
歯冠頬舌径	中 央		12.8
歯 冠 高	頬 側		26.0
歯 冠 高	舌 側		25.8
下後錐谷長	咬合面		9.6
下内錐谷長	咬合面		14.7

遺物觀察表

和田山天神前遺跡 1号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	6 口縁～胴	(15.3)			粗 繊維	良 明褐	単口縁、口唇三角状 無節L 3と接合
2	深鉢	9 口縁～胴	(18.2)			粗 繊維	良 明褐	単口縁、口縁部内傾 無節L
3	深鉢	6 胴部	(4.0)			粗 繊維	良 明褐	1と接合
4	深鉢	5 胴部	(8.3)			粗 繊維	良 明褐	
5	深鉢	4 胴部	(3.3)			粗 繊維	良 赤褐	附加条 6、7と接合
6	深鉢	1 胴部	(5.2)			粗 繊維	良 赤褐	5、7と接合
7	深鉢	1 胴部	(3.9)			粗 繊維	良 赤褐	5、6と接合
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
8	石斧	S 3 完	7.6	5.0	2.4	116.9	黒色頁岩、礫皮のある厚手剥片の周縁を加工	

和田山天神前遺跡 2号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	一括 口縁～胴	(15.4)			粗 繊維	にぶい褐	2対の波状口縁、口縁部4条単位の竹管文 胴部単節L

和田山天神前遺跡 3号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	87 口縁～胴	(30.0)	47.0		粗 繊維	良 赤橙～黄橙	口唇下にRL帯、胴部RL、LR羽状縄文、波状口縁波頭 間に小突起、波頭部と頸部に4単位の平行爪形文で区画 した中に菱形文を施す
2	深鉢	口縁～胴				粗 繊維	良 赤橙	2条単位の平行爪形文で菱形区画、胴部RL、LR羽状縄 文
3	深鉢	68.89 口縁～胴	(21.7)	25.8		粗 繊維	良 黄橙	波状口縁、波頭部と頸部に3単位平行爪形文で区画した 中に菱形文を施す。胴部LR、RL羽状縄文
4	深鉢	95 頸部～胴	(9.3)			粗 繊維	良 赤橙	3と同一の器形、文様
5	深鉢	38.43 口縁～底	26.1	24.3	7.0	粗 繊維	良 赤橙	単口縁、底部から直線的に外反、LR、RL羽状縄文上げ 底
6	深鉢	86 口縁～底	25.7	20.7	7.6	粗 繊維	良 赤橙～浅黄	単口縁、胴中位に最大径、LR、RL羽状縄文、上げ底、 下胴部外面被熱赤変、補修孔
7	深鉢	75 胴～底	(12.2)		7.0	粗 繊維	良 赤橙	底部から直線的に立ち上がる、L、R羽状縄文、平底
8	深鉢	78 口縁～胴	(11.0)	15.3		粗 繊維	良 褐	単口縁、底部から直線的に立ち上がる、L、R羽状縄文、 口唇部に工具圧痕の波状、胴中位に平行沈線文1条
9	深鉢	90 胴～底	(9.4)		6.8	粗 繊維	良 赤橙	底部から直線的に外反、上げ底、LR、RL羽状縄文内面 スス付着
10	深鉢	92 胴～底	(7.8)		8.4	粗 繊維	良 赤橙	底部から直線的に外反、上げ底、LR、RL羽状縄文内面 スス付着
11	深鉢	69.71 胴～底	(15.6)			粗 繊維	良 赤橙	底部から直線的に外反、LR、RL羽状縄文
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
12	スクレイ パー	フク土 一部欠	6.9	6.2	0.8	44.0	黒色頁岩、礫皮を打面とする縦長剥片の周縁に調整加工、刃部とする	
13	スクレイ パー	フク土 完	6.7	4.8	0.9	63.7	黒色頁岩、礫皮を打面とする縦長剥片の周縁に調整加工、刃部とする	
14	スクレイ パー	S13 完	6.6	4.5	0.3	17.2	黒色頁岩、礫皮を打面とする薄手の剥片に粗い調整を施す	

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
15	スクレイパー	S16 完	6.2	5.5	0.9	49.7	黒色頁岩、礫皮を打面とする縦長剥片の周縁に使用痕、上端にノッチ状加工	
16	スクレイパー	フク土 完	4.7	4.8	0.4	13.0	黒色頁岩、礫皮を打面とする薄手の剥片の周縁に使用痕	
17	スクレイパー	S7 完	4.0	7.8	0.9	53.5	黒色頁岩、礫皮を打面とする縦長剥片の両側縁に調整を施し刃部とする	
18	スクレイパー	S22 完	5.1	8.1	0.9	52.8	黒色頁岩、礫皮を打面とする縦長剥片の周縁に使用痕	
19	スクレイパー	フク土 完	6.5	5.1	0.4	25.3	黒色頁岩、礫皮を打面とする縦長剥片の両側縁に調整を施し刃部とする	
20	スクレイパー	フク土 完	3.5	5.9	0.8	22.6	黒色頁岩、礫皮を打面とする横長剥片の下端に使用痕	
21	スクレイパー	S23 完	4.8	5.6	1.5	47.2	黒色頁岩、礫皮を残す不定形剥片の下端に調整を施し刃部とする	
22	スクレイパー	6	(3.6)	5.1	0.6	13.4	黒色頁岩、薄手の剥片の縁辺に使用痕、上半部欠損	
23	スクレイパー	25	(4.1)	2.6	0.8	11.7	黒色頁岩、薄手の剥片の縁辺に使用痕、上半部欠損	
24	スクレイパー	フク土 完	3.9	1.9	0.4	4.0	黒色頁岩、薄手、縦長の剥片に使用痕	
25	スクレイパー	フク土 完	2.1	2.3	0.4	2.7	黒色頁岩、薄手、縦長の剥片に使用痕	
26	敲石	フク土 完	12.9	6.5	4.4	460.0	粗粒輝石安山岩、全体に磨耗	
27	敲石	10 完	12.8	5.8	3.5	480.0	角閃石安山岩、上下両端に敲打痕	
28	凹石	フク土 完	13.3	5.9	3.4	375.0	粗粒輝石安山岩、表裏磨耗、2穴、裏は小孔が密集する状態	
29	凹石	5 完	10.1	7.1	3.5	420.0	粗粒輝石安山岩、表裏2穴	
30	凹石	24 完	9.7	9.1	3.4	470.0	粗粒輝石安山岩、表裏2穴、表をすり面とし強い凸状	
31	凹石	15 完	9.7	9.1	3.6	490.0	粗粒輝石安山岩、裏2穴、表はすり面として使用	
32	凹石	17 1/2	(9.9)	8.3	3.6	440.0	粗粒輝石安山岩、すり石と併用、裏の凹穴はすりこみで消失	
33	凹石	21 完	9.2	8.9	3.8	420.0	粗粒輝石安山岩、表裏2穴、被熱割裂赤変	
34	凹石	フク土 破片	(5.7)	8.2	4.2	420.0	粗粒輝石安山岩、表裏2穴、側面に敲打痕	
35	石鏃	完	2.5	1.0	0.5	1.1	チャート、U字形の抉りをもつ三角鏃	
36	石鏃	フク土 一部欠	(1.6)	(1.5)	0.4	0.8	チャート、U字形の抉りをもつ三角鏃、片脚と上端欠損	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
37	耳栓	P21 1/2		3.0		密	良 赤橙	土製、断面球形、無文、最大径2.1cm、16P2グリッド出土

和田山天神前遺跡 4号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 完	32.0	28.5	6.5	粗 砂粒多	酸化 赤褐	単口縁、口縁部文様帯は貼付隆帯で楕円区画した中を蛇行沈線を充填する
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
2	スタンプ形石器	S1 完	11.7	6.3	5.1	570.0	粗粒輝石安山岩、三角柱、上端の側縁に敲打、すり面は平滑	
3	台石	S4 完	18.7	13.3	10.0	2730.0	粗粒輝石安山岩、凸の表面稜線上に凹穴や密な敲打痕	

和田山天神前遺跡 5号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	117,120 121,151 166,略完	25.1	15.5	7.0	粗 繊維	良 褐	大小2対の波状口縁、胴部くびれ、口縁部は櫛歯状工具による縦列刺突と菱形文、胴部はL R, R Lの羽状縄文、底部上げ底、2号土坑、3号土坑
2	深鉢	157 口縁部	(9.8)			粗 繊維	良 褐	単口縁大型深鉢、口縁部以下L R, R Lの羽状縄文、1号土坑
3	深鉢	南面 口縁部	(5.7)			粗 繊維	良 暗褐	単口縁大型深鉢、口唇部に刻み、胴部羽状縄文
4	深鉢	26,27,29 37,87,90 91,92	(22.5)			粗 繊維	良 橙	波状口縁深鉢胴部、羽状縄文、内面細い条痕、スス付着、2号土坑
5	深鉢	97 口縁部	(12.2)			粗 繊維	良 褐	波状口縁大型深鉢、半竹工具で菱形文を施す、1号土坑
6	深鉢	139 口縁部	(10.5)			粗 繊維	良 浅黄	波状口縁大型深鉢、波頭に沿って半竹工具により平行爪形文を施す、2号土坑
7	深鉢	67 口縁部	(7.4)			粗 繊維	良 暗褐	波状口縁、半竹工具で菱形に平行爪形文を施す、3号土坑
8	深鉢	1坑 口縁部	(6.5)			粗 繊維	良 褐	波状口縁、波頭に沿って3条単位の平行爪形文を施す
9	深鉢	119,124 158,159 162,165	(15.3)			粗 繊維	良 赤橙	1対の小突起を持つ筒状、2状単位の平行爪形文を全面に施す、上胴は三角、下胴は平行、1号土坑
10	深鉢	112	(6.3)			粗 砂粒多	良 橙	波状口縁、波頭に沿って3条単位の平行爪形文で区画した中に同じく平行爪形文をX状に施す、1号土坑
11	深鉢	135 口縁部	(8.9)			粗 繊維	良 黄橙	波状口縁、波頭に沿って3条単位の押し文で菱形に区画、3号土坑
12	深鉢	131 口縁部	(12.7)			粗 繊維	良 灰褐	波状口縁、波頭に沿って2~3条の平行爪形文で菱形に区画、3号土坑
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
13	石斧	3 完	14.3	6.4	2.9	400.0	変玄武岩、磨製、研磨は主に長軸に斜交、刃部は粗く剥離したまま、1号土坑	
14	石斧	28 完	9.5	4.4	1.3	100.0	変玄武岩、磨製、上半部は素材の形状を残し研磨は刃部に集中、蛤刃、1号土坑	
15	スクレイパー	S22 完	6.0	4.6	0.7	36.2	黒色頁岩、縦長剥片の両側縁に調整を施し刃部とする、4号土坑	
16	スクレイパー	1坑フク 土完	4.3	6.7	0.9	40.0	黒色頁岩、礫皮のある剥片の縁辺に調整を施し刃部とする	
17	凹石	S 6 完	9.7	7.4	3.1	360.0	粗粒輝石安山岩、すり石と併用、凹穴は表裏とも4穴以上が縦列上下左右の側面に敲打痕、1号土坑	
18	石鏃	フク土 完	1.2	1.2	0.3	0.3	三角鏃、1号土坑	
19	垂飾	1坑 略完	(2.4)	1.0	0.4	1.4	蛇紋岩、円孔を紐穴とした装飾品、側面に4対の袂り	

和田山天神前遺跡 6号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
1	石斧	S 9 完	11.8	4.9	3.0	230.0	変玄武岩、磨製、棒状礫の側面を粗く剥離して成形、刃部は節理面を研磨
2	凹石	S19 完	10.5	8.7	4.7	640.0	粗粒輝石安山岩、表裏1穴
3	凹石	S14 完	8.2	6.2	4.3	310.0	粗粒輝石安山岩、表裏と右側面に凹穴、左側縁に敲打痕
4	すり石	S15 完	9.5	5.7	3.3	380.0	粗粒輝石安山岩、スタンプ型、下端面に調整剥離したまま

和田山天神前遺跡 7号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	ガラス 小玉	フク土 完						径0.4、紐孔径0.15

和田山天神前遺跡 8号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	8 口縁～胴	(29.0)	35.5		粗 繊維	不良 褐～赤橙	単口縁、頸部くびれ胴部丸みをもつ、口縁部は口唇部と頸部に平行沈線文をめぐらしその間2条単位の平行沈線で菱形文を施す、胴部L、R羽状縄文、内面やや荒れている

和田山天神前遺跡 9号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 長甕	18墳周堀 口縁～胴	(9.9)	(20.4)		粗 砂粒多	酸化 浅黄	口縁水平に近く外反、口縁ヨコナデ、胴部タテヘラケズリ
2	土師器 小型甕	9注フク土 18墳周堀 口縁～底	13.7	16.2	6.0	密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、胴部・底部ナデ後ヘラケズリ、器面被熱のためアバタ状に剝落
3	土師器 小型甕	9、13、フク 土、口縁 ～底1/3	10.6	13.1		密 砂粒多	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、胴部・底部ヘラケズリ、胴部は扁平
4	土師器 小型甕	18、フク 土口縁～ 底1/3	(7.4)	9.4		密 砂粒多	酸化 赤褐	短口縁、胴部扁平、口縁ヨコナデ、胴部ヘラケズリ、頸部ヘラによる沈線
5	土師器 杯	26 略完	4.7	13.0		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ
6	土師器 杯	フク土 1/2	5.1	12.6		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面ミガキ
7	土師器 杯	12、フク 土1/3	5.5	(12.4)		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面ミガキ
8	土師器 杯	27、フク 土完	5.4	13.1		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面ミガキ
9	土師器 杯	6、25 略完	5.0	12.8		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面ミガキ
10	土師器 杯	カマド5 略完	5.2	15.4		密 白色粒	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面ミガキ
11	土師器 杯	カマド3 1/2	4.9	13.0		密	酸化 褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ
12	土師器 杯	5 1/2	4.2	13.2		密	酸化 褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内黒

和田山天神前遺跡 11号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 小型甕	8、9 底部欠	(10.9)	16.1		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、胴部ヘラケズリ、広口短胴、下胴部被熱剝落
2	土師器 小型甕	6 底部欠	(11.5)	12.8		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、胴部ナデ後ヘラケズリ、薄手
3	土師器 小型甕	3 完	12.5	10.8		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、胴部ナデ後ヘラケズリ、短口縁、丸底
4	土師器 甕	5、6 完	10.4	13.2		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、胴部ナデ後ヘラケズリ、焼成前に穿孔、内面中位にオコゲ付着
5	土師器 杯	2、12 略完	5.5	14.9		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内黒
6	土師器 杯	4、7 2/3	5.6	13.6		密	酸化 褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、外面被熱赤変
7	土師器 杯	8 略完	4.5	12.5		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、外面被熱赤変

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
8	土師器 杯	4、7 略完	5.0	13.2		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、外面被熱赤変
9	土師器 杯	10・18墳 1/2	4.9	13.5		密	酸化 褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、外面被熱赤変
10	土師器 杯	2、10 1/2	4.7	13.0		密	酸化 褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、外面被熱赤変
11	土師器 杯	16 略完	5.1	12.2		密	酸化 褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、被熱赤変
12	土師器 杯	フク土 1/3	4.7	11.0		密	酸化 明褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内黒、ミガキ、薄手

和田山天神前遺跡 13号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 小型甕	16 口縁～胴	(7.3)	10.2		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、胴部ヨコヘラケズリ、全体に被熱赤変
2	土師器 小型甕	カマドP5 口縁～胴	(6.7)	11.4		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、胴部ヨコヘラケズリ、
3	土師器 甕	カマド7 1/2	23.8	23.4	(6.5)	密 砂粒少	酸化 赤褐	単孔、口縁～底部までタテヘラケズリ、内面上半部に器面の荒れ
4	土師器 杯	カマド8 2/3	5.1	14.0		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ
5	土師器 杯	カマド 121/3	4.9	(13.5)		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ
6	土師器 杯	17、18 2/3	5.2	13.0		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、全体に被熱赤変
7	土師器 杯	カマド 101/4	5.0	(11.0)		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、全体に被熱赤変
8	土師器 杯	14 1/4以下	6.3	(13.1)		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面に黒色付着物
9	土師器 杯	20 1/4以下	5.1	(13.9)		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内黒

和田山天神前遺跡 14号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	44 口縁～胴	(26.8)	26.6		粗 繊維	良 褐～赤褐	単口縁、底部から直線的に立ち上がる、L R、R L羽状縄文
2	深鉢	13 胴～底部	(20.3)		11.0	粗 繊維	良 黄橙	無文、器壁厚く表裏ともに粗いナデ
3	深鉢	24、37 口縁～胴	(13.5)	14.0		粗 繊維	良 黄褐	単口縁、L R、R L羽状縄文
4	深鉢	113 胴部	(19.0)			粗 繊維	良 褐	単口縁、大型深鉢の胴部、L R、R L羽状縄文
5	深鉢	44、16	(12.3)		8.8	粗 繊維	良 赤橙	単口縁深鉢、底部から直線的に外反して立ち上がる、上げ底、L R、R L羽状縄文
6	深鉢	137 胴部	(20.5)			粗 繊維	良 赤橙	頸部のくびれをもつ大型深鉢胴部、R L
7	深鉢	94、95 口縁～底	(12.2)	18.0		粗 繊維	良 暗褐	頸部にくびれをもつ深鉢、波状口縁、口縁部は櫛歯状工具による刺突
8	深鉢	フク土 口縁部	(6.0)	14.0		粗 繊維	良 褐	単口縁、頸部が少しくびれる深鉢、平行沈線間を櫛歯状工具で横位に刺突
9	深鉢	119 口縁部	(6.0)			粗 繊維	良 暗褐	波状口縁、波頭部に注口、R L無節
10	深鉢	フク土 口縁部	(6.2)			粗 繊維	良 褐	単口縁、R L無節
11	深鉢	フク土 口縁部	(6.5)			粗 繊維	良 暗褐	単口縁、L R単節

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
12	深鉢	95 口縁部	(6.5)			粗 繊維	良 浅黄	単口縁、LR単節
13	深鉢	66 口縁部	(10.0)			粗 繊維	良 暗褐	波状口縁、櫛歯状工具で口唇に縦列刺突、以下平行沈線間に横位の刺突
14	深鉢	114 口縁部	(5.6)			粗 繊維	良 黄褐	櫛歯状工具による条痕を縦横位の刺突で区画
15	深鉢	117 口縁部	(5.8)			粗 繊維	良 黒褐	波状口縁、口唇部に棒状工具背圧痕の刻み、以下付加条
16	深鉢	フク土 口縁部	(6.3)			粗 繊維	良 橙	波状口縁、平行する連続爪形文で菱形文を施す
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
17	スクレイパー	S 9 完	8.7	10.9	1.8	213.8	黒色頁岩、幅広、厚手の剥片の2縁辺に調整を施し刃部とする	
18	スクレイパー	45 完	7.8	3.9	1.4	61.0	黒色頁岩、横長剥片の縁辺に調整、短冊型打斧の可能性もある	
19	スクレイパー	35 完	6.3	7.7	1.7	91.8	黒色頁岩、礫皮を打面とする剥片の両側縁に調整を施し刃部とする	
20	スクレイパー	50 完	4.1	6.8	0.8	32.3	黒色頁岩、礫皮を打面とする剥片の両側縁に調整を施し刃部とする	
21	スクレイパー	51 完	3.2	5.2	0.6	17.7	黒色頁岩、礫皮を打面とする剥片の縁辺に使用痕	
22	スクレイパー	30 完	4.8	5.9	0.6	23.0	黒色頁岩、礫皮を打面とする薄い剥片の2縁辺に使用痕	
23	凹石	S 10 完	9.7	5.8	4.6	400.0	粗粒輝石安山岩、表裏2穴	
24	凹石	S 19 完	10.1	6.3	4.2	390.0	粗粒輝石安山岩、表裏2穴、側面に敲打痕	
25	凹石	S 13 完	10.0	7.3	4.3	400.0	粗粒輝石安山岩、表裏3穴	
26	凹石	フク土 完	8.1	5.3	4.5	230.0	粗粒輝石安山岩、表裏2穴、上端に敲打痕	
27	凹石	S 30 完	8.2	6.9	3.4	340.0	粗粒輝石安山岩、表裏に2穴、側面に敲打痕	
28	凹石	S 30 完	10.2	6.1	4.6	480.0	粗粒輝石安山岩、表裏2穴、凹穴は表裏で差異、裏は大きく深い	
29	凹石	17 完	9.9	6.3	5.0	400.0	粗粒輝石安山岩、裏2穴のみ、下端と側面に敲打痕	
30	凹石	44 完	11.9	6.9	4.3	560.0	粗粒輝石安山岩、すり石と併用、凹穴はすりこみで輪郭不明瞭	
31	凹石	S 5 完	7.9	6.5	4.8	231.4	粗粒輝石安山岩、円礫と表裏に各1穴、表は溝状、裏は凹痕のちがいがい	
32	石鏃	S 48 略完	1.1	1.0	0.3	0.1	黒曜石、U字形の抉りをもつ三角鏃、先端と片脚一部欠損	

和山天神前遺跡 15号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 長甕	9,11,25,27, 12、略完	35.5	19.1	5.3	砂粒多 片岩	酸化 黄橙	口縁ヨコナデ、胴部上胴部タテヘラケズリ、底部立ち上がりナメヘラケズリ
2	土師器 長甕	19、20 完	30.8	17.9	5.3	粗 微粒	酸化 黄橙	口縁ヨコナデ、胴部タテヘラケズリ、全体に粘土付着
3	土師器 長甕	12 底部欠損	(27.9)	(17.6)		密 片岩砂粒	酸化 にぶい黄橙	口縁ヨコナデ、胴部タテヘラケズリ、下胴部にスス付着
4	土師器 甕	6 完	28.0	24.8	9.0	密 砂粒	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、胴部ヘラケズリ、黒変あり
5	土師器 丸胴甕	26、フク土 口縁～胴	(8.7)	16.4		密 砂粒	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、胴部ヨコヘラケズリ、破損後置台に転用
6	土師器 小型甕	15 完	14.8	12.4		密 砂粒	酸化 褐	口縁ヨコナデ、上胴部タテ、下胴部ヨコのヘラケズリ

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
7	土師器 小型甕	10、18 完	14.6	12.6		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ後、胴部タテ方向にヘラケズリ
8	土師器 小型甕	14 完	8.4	8.2		密	酸化 にぶい褐	口縁ヨコナデ、胴部ヨコ方向のヘラケズリ
9	土師器 杯	1、6 完	9.1	15.7		密 砂粒	酸化 にぶい褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ
10	土師器 杯	23 完	6.7	15.0		密 砂粒	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ
11	土師器 杯	20、26、フ ク土、略完	5.1	13.0		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ
12	土師器 杯	2 略完	5.5	13.1		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部成形後ヘラケズリ
13	土師器 杯	17 完	5.0	13.2		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面ミガキ、底部は平坦
14	土師器 杯	28、カマド 内、2/3	5.2	12.8		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部成形後ヘラケズリ
15	土師器 杯	20 略完	5.3	13.2		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部成形後ヘラケズリ
16	土師器 杯	20、8 2/3	5.2	13.2		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部成形後上部をケズリとミガキ、底部は太い沈線を5～6条つける
17	土師器 椀	22 完	6.2	15.0		密	酸化 橙	大ぶりで深みがある、ナデ成形後体部ヘラケズリ、口縁ヨコナデ
18	土師器 椀	5 1/2	6.1	12.4		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面ミガキ、内黒処理、口縁外面も黒く光沢をもつ
19	土師器 椀	28 1/2	5.6	11.6		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部成形後細くヘラケズリ
20	紡錘車	掘り方 完	3.6		2.0			蛇紋岩、径3.6、厚さ2.0、口径0.6 側面に棒状のミガキ、孔周縁に使用痕
21	白玉	カマド8 完	1.0		0.3			滑石製、管玉を輪切りにしたもの
22	白玉	カマド9	1.0		0.4			滑石製、管玉を輪切りにしたもの、紐ズレ
23	土師器 甕	13 下胴～底	(7.6)		(4.8)	粗 砂粒	酸化 にぶい褐	胴部タテヘラケズリ、底部木葉痕、破損後破れ口を調整して置台に転用

和田山天神前遺跡 16号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 甕	21、22 フク土 口縁～胴	(15.0)	(20.8)		密	酸化 赤褐	コの字状口縁、口縁ヨコナデ、胴部ヘラケズリ、内面頸部以下に荒れ
2	羽釜	11、14 口縁部	(6.1)	(16.2)		密	酸化 浅黄	ロクロ整形、口縁内傾、口唇部平坦、鏝は断面三角形で水平に張る
3	土師器 杯	12、口縁 ～底、1/4	4.3	(10.8)	4.4	粗 白色粒	酸化 浅黄	ロクロ整形、底部回転糸切
4	須恵器 杯	19、口縁 ～底、1/3	4.4	10.0	4.6	粗	還元 黒褐	ロクロ整形、底部右回転糸切
5	灰釉 椀	10 体～底部		(4.2)	8.0	硬	灰白	ロクロ整形後、体下部にヘラケズリ、高台断面三日月状

和田山天神前遺跡 17号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 小型甕	貯2-3、 5、7口 ～底	11.8	11.2		密 砂粒多	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、胴部～底部ヘラケズリ、丸底
2	土師器 小型甕	19、カマ ド1 口縁～底	10.3	13.2	7.4	密 微粒	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、胴部ヘラケズリ、底部木葉痕

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
3	土師器 甕	22 底部	(4.8)	(4.8)	7.0	密 砂粒多	酸化 赤橙	胴部、底部ヘラケズリ
4	須恵器 蓋	15 2/3	4.1	14.0		硬 砂粒	還元 灰	ロクロ整形、天井部整形右回転ヘラケズリ
5	土師器 杯	17 完	6.2	14.2		密 赤色粒多	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面ミガキ
6	土師器 杯	6 完	4.8	13.0		密 砂粒	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ
7	土師器 杯	16 完	5.2	13.0		密	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内黒、口縁の一部を打 欠き片口とする
8	土師器 杯	1/2	5.2	(13.4)		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ
9	土師器 杯	4 1/2	5.3	15.2		密 砂粒多	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、体部整形後底部ヘラケズリ
10	土師器 杯	18 略完	4.6	12.7		密	酸化 赤橙	口縁ヨコナデ、体部ナデ後底部ヘラケズリ、内面ミガキ
11	土師器 杯	23 略完	5.0	11.3		密 砂粒多	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面ミガキ
12	土師器 椀	20、21 完	5.5	12.0		密 白色粒	酸化 赤褐	口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ、内面ミガキは摩耗

和田山天神前遺跡 18号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 丸胴甕	1 下胴部	(9.4)		8.4	硬 砂粒	酸化 褐	整形後、内面ヨコを主とするヘラケズリ、破損後置台と して転用

和田山天神前遺跡 28号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
1	火打金	フク土 完	7.0	2.6	0.5	19.8	長方形、両側端の一方に角状突起、下端の敲打面は内反り、厚さ0.5cm
2	キセル	フク土 完	5.4	1.1	0.1	6.0	真鍮製、打ち出しと鍵の文様あり

和田山天神前遺跡 31号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	ヒ、陶 椀	口：1/2 底：完	6.9	(10.3)	4.2	灰白色	普	高台内を挟り、底部器壁は薄い、外面には簡略化した楼 閣山水文と四方禪文を染め付けする、陶胎染付、18C前 ～中
2	ヒ、磁 椀	口：1/3 底：完	5.4	(9.0)	3.8	灰白色	普	波佐見系、器壁厚い、外面に雪輪梅樹文、高台内に不明 銘を染付する、18C中～後
3	セ、ミ陶 丸皿	口：1/5 底：4/5	2.1	(10.4)	6.0	灰白色	普	全面に長石釉を施し、高台内の釉を拭い取る、高台内に 目痕3カ所残る、18C前半

和田山天神前遺跡 89号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	1、3、16 口縁～底				粗 繊維	砂粒 褐	単口縁、底部から口縁まで直線的に外反、L R、R L羽状 縄文、内面スス付着
2	深鉢	7、8 頸～底部	16.0		9.0	粗 繊維	赤橙	頸部くの字に屈曲、平行爪形文をめぐらす、胴部L R、R L羽状縄文
3	深鉢	2 胴～底部				粗 繊維	砂粒多 赤橙	底部から大きく外反、下胴部内面スス付着、L R、R L羽 状縄文
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
4	石斧	フク土 完	8.7	6.3	0.8	777.0	黒色頁岩、撥形扁平片刃	

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
5	すり石	フク土 完	9.6	7.4	5.8	77.7	粗粒輝石安山岩、全体に摩耗
6	すり石	フク土 完	12.0	8.2	4.1	610.0	粗粒輝石安山岩、表に凹穴2、裏は平滑、上下両端側面に敲打痕

和田山天神前遺跡 92号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	3 口縁~胴		36.4		粗 纖維	砂粒多 黒褐	波状口縁、口唇部から頸部に3~4条単位の平行爪形文を 施す、胴部LR
2	深鉢	3、6 口縁~胴		26.4		粗 纖維	砂粒多 暗褐	波状口縁、底部から直線的に外反、波頭部に沿って3条、 頸部1条の平行沈線文で区画した中に菱形文、以下羽状 縄文
3	深鉢	1 胴~底部			8.0	粗 纖維	赤橙	上げ底、内面に炭化物微着、LR、RL羽状縄文
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
4	石匙	フク土 完	長さ	幅	厚さ	重 量	黒色頁岩、縦長剥片の周縁に加工を施し刃部とする	

和田山天神前遺跡 94号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	水瓶	完	28.4					銅製、信貴形、本文P299~300参照
2	かわらけ 杯	20 口縁~底	3.0	13.2	6.6	軟	還元 赤橙	ロクロ回転痕、底部左回転糸切り
3	かわらけ 杯	フク土 胴~底部	(2.7)		10.0	軟	還元 灰白	胴部大きく外反、ロクロ整形痕、底部右回転糸切り
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
4	飾金具	フク土 完	長さ	幅	厚さ	重 量	銅製、六角形の袋状、上端に對で小孔があく	
5	銭	フク土	2.44	2.43	0.10	2.10	熙寧通宝	
6	銭	フク土	2.43	2.42	0.11	2.00	元豐通宝	
7	銭	フク土	2.42	2.41	0.13	2.40	元豐通宝	
8	銭	フク土	2.34	2.36	0.12	2.10	元祐通宝	
9	銭	フク土	2.30	2.27	0.11	1.70	不明	
10	銭	フク土	(1.80)	(1.77)	0.09	0.50	無文、被熱剥離か	
11	銭	フク土	2.00	2.12	0.08	1.10	無文、被熱剥離か	
12	銭	フク土	2.16	2.23	0.11	1.20	無文、被熱剥離か	
13	銭	フク土	(1.88)	(1.94)	0.06	0.90	無文、被熱剥離か	
14	銭	フク土	1.83	1.94	0.07	0.70	無文、被熱剥離か	
15	銭	フク土	2.14	2.28	0.10	1.50	無文、被熱剥離か	
16	銭	フク土	2.01	(1.19)	0.10	0.40	無文、被熱剥離か	
17	銭	フク土	2.02	(0.79)	0.10	0.50	無文、被熱剥離か	

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
18	銭	フク土	1.86	(1.08)	0.08	0.30	無文、被熱剥離か
19	銭		2.14	2.12	0.10	10.40	4枚、被熱融着
20	銭	フク土 フク土	20.00	19.60	0.06	2.81	9枚、被熱融着
21-1	壁土	フク土 破片	11.20	9.60	4.30		ナデA、小舞は凸凹二面あり、ナデAは指跡を残したもの
21-2	壁土	フク土 破片	9.10	9.00	5.20		ナデB、上塗り薄い、小舞との間は厚いスサ土、ナデBはザラついているが平滑なもの
21-3	壁土	フク土 破片	6.60	8.10	3.40		ナデA、左上が天の可能性あり、上塗り薄い
21-4	壁土	フク土 破片	9.40	13.10	5.20		ナデB、裏面石と思われる大きな凹痕、被熱黒変
21-5	壁土	フク土 破片	9.10	7.50	4.60		ナデC、凸凹あり、上と右の側面平滑、厚い上塗り、ナデCはコテによる丁寧なナデのもの
21-6	壁土	フク土 破片	6.00	6.50	4.00		ナデB、上塗り1cm弱と薄い
21-7	壁土	フク土 破片	6.80	8.70	7.50		ナデC、スサ土の上に厚い塗り
21-8	壁土	フク土 破片	7.60	7.40	6.00		ナデB、AをなでつけてBにする
21-9	壁土	フク土 破片	4.60	6.80	5.80		ナデC、7と同一個体か、右側面に指頭様のナデ
21-10	壁土	フク土 破片	6.60	7.20	5.10		ナデC、Cの中でもやや平滑、スサ土厚く上塗りは5mm弱、内壁の一部か
21-11	壁土	フク土 破片	7.30	6.70	4.80		ナデB、(タテ+小舞タテ)小舞は3列、小舞までの厚さ3cm、スサ多い
21-12	壁土	フク土 破片	5.70	6.40	5.00		表ナデB、裏ナデA、上塗り薄い
21-13	壁土	フク土 破片	6.60	6.20	5.30		ナデA
21-14	壁土	フク土 破片	6.60	6.70	2.60		ナデC、裏面2側面がイキ、小舞痕あり
21-15	壁土	フク土 破片	5.10	4.40	5.40		ナデB、凸凹の小舞痕
21-16	壁土	フク土 破片	5.50	5.20	4.20		ナデA、小舞の半截凸圧痕
21-17	壁土	フク土 破片	6.10	5.80	4.30		小舞の凸圧痕
21-18	壁土	フク土 破片	6.00	8.70	4.90		ナデA、タテナデに対して直交する小舞痕がある、ナデAは1に類似、小舞の幅2.7cm
21-19	壁土	フク土 破片	7.10	4.00	3.70		ナデA、小舞の半截凸圧痕
21-20	壁土	フク土 破片	4.80	3.60	5.10		ナデA、小舞の半截凸圧痕
21-21	壁土	フク土 破片	4.60	3.10	2.90		凸と凹2面の小舞痕がある、大は幅3cm
21-22	壁土	フク土 破片	3.90	3.70	3.20		半截された小舞の凸圧痕、節の部分
21-23	壁土	フク土 破片	4.10	3.00	3.10		丸いままの小舞痕
21-24	壁土	フク土 破片	3.70	2.90	2.00		半截された小舞の凸圧痕、節の部分
21-25	壁土	フク土 破片	4.10	3.10	4.00		半截された小舞の凸圧痕
21-26	壁土	フク土 破片	4.00	3.10	2.50		ナデA、スサ多混、半截された小舞の凸圧痕
21-27	壁土	フク土 破片	4.20	2.10	2.50		半截された小舞ので小圧痕、裏面ナデAタテ

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
21-28	壁土	フク土 破片	3.70	2.10	2.00		ナデA、半截された小舞の凸圧痕
21-29	壁土	フク土 破片	6.00	3.70	1.90		ナデA、半截された小舞の凸圧痕
21-30	壁土	フク土 破片	3.80	7.00	4.70		半截された小舞の凹圧痕、スサ多混
21-31	壁土	フク土 破片	4.90	5.00	2.90		小舞の凹圧痕
21-32	壁土	フク土 破片	4.80	4.10	2.90		小舞の凹圧痕
21-33	壁土	フク土 破片	3.30	4.70	3.60		小舞の凹圧痕、ナデCの可能性はある
21-34	壁土	フク土 破片	3.70	3.30	2.70		小舞の凹圧痕、ナデCの可能性はある
21-35	壁土	フク土 破片	3.30	3.70	2.70		小舞の凹圧痕、ナデCの可能性はある
21-36	壁土	フク土 破片	3.80	3.30	2.40		小舞の凹圧痕
21-37	壁土	フク土 破片	4.20	2.10	2.30		小舞の凹圧痕、スサは塊状
21-38	壁土	フク土 破片	3.20	2.90	2.10		小舞の凹圧痕
21-39	壁土	フク土 破片	2.50	2.40	3.10		小舞の凹圧痕
21-40	壁土	フク土 破片	8.70	5.40	3.80		小舞の凸圧痕、スサ多混、小舞の幅2.5cm
21-41	壁土	フク土 破片	4.90	2.30	3.10		ナデA、丸いままの小舞の凸圧痕
21-42	壁土	フク土 破片	3.60	5.40	2.40		半截された小舞の凸圧痕
21-43	壁土	フク土 破片	6.00	4.20	3.50		ナデA、小舞の凸圧痕、小舞の幅3cm
21-44	壁土	フク土 破片	5.10	5.00	3.60		小舞の凸圧痕

和田山天神前遺跡 97号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	かわらけ 杯	フク土 口縁～底	1.6	7.0		粗	酸化 淡黄	ロクロ回転、底部ヘラケズリ
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
2	釘	6 略完	9.8	0.4	0.6	12.5	平釘	
3	釘	1 完	7.9	0.4	0.5	7.2	平釘	
4	釘	3 完	8.7	0.4	0.5	9.2	平釘、脚端部曲折	
5	釘	2 略完	5.0	0.4	0.4	4.8	平釘	
6	釘	4 脚欠	5.2	0.5	0.6	7.9	平釘	
7	釘	5 脚欠	5.2	0.5	0.4	6.0	平釘	
8	釘	フク土 完	2.5	0.3	0.3	0.30.9	平釘	

和田山天神前遺跡 98号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	14 胴部	10.0			粗 繊維	酸化 茶褐	上胴部、3条前後の平行沈線で菱形に区画、頂点に円形文、下胴部は縄文
2	深鉢	6 口縁部	4.7			粗 繊維	酸化 黒褐	波状口縁、平行爪形文による菱形区画の一部
3	深鉢	3 口縁部	4.5			粗 繊維	酸化 赤褐	単口縁、口唇部薄く強く反る、RL無節、補修孔
4	深鉢	10 胴部	5.9			粗 繊維	酸化 褐	下胴部、LR、RL単節羽状縄文

和田山天神前遺跡 99号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	94、97 102、107 口縁～胴	32.5	49.0		粗 繊維	橙～褐	波状口縁、口唇沿いと頸部を平行爪形文で区画、その間に平行爪形文で菱形区画、胴部RL、LR羽状縄文
2	深鉢	90 略完	21.6	17.0	6.0	粗 繊維	橙～褐	単口縁、わずかに波打つ、口唇沿いと頸部を平行沈線で区画、その間を平行爪形文で菱形区画、胴部RL、LR羽状縄文
3	深鉢	105 口縁～胴	23.0	24.6		粗 繊維	褐	波状口縁、大小4単位、口唇部からLR、RL羽状縄文
4	深鉢	96 口縁～胴	20.8	27.0		粗 繊維	砂粒多 褐	単口縁、LR、RL羽状縄文
5	深鉢	105 胴～底部			9.2	粗 繊維	砂粒多 赤橙	羽状縄文
6	深鉢	101 口縁～胴	14.7			粗 繊維	褐	単口縁、LR単節
7	深鉢	24 口縁～頸	11.5			粗 繊維	赤褐	単口縁、頸部緩く屈曲し外反、厚手、内面滑、RL
8	深鉢	59、60 口縁部	10.0			粗 繊維	黄橙	波状口縁、わずかにくびれ、内面滑、RL単節
9	深鉢	94 底部	9.4		9.0	粗 繊維	砂粒多 黄橙	平底、内面スス付着
10	深鉢	19 底部	7.9		9.3	粗 繊維	赤褐	平底、わずかにくぼむ、内面スス付着
11	深鉢	95 底部	7.8		6.9	粗 繊維	赤褐	平底、わずかにくぼむ、LR、RL単節羽状縄文
12	深鉢	92 底部	3.0		10.2	粗 繊維	赤褐	平底、わずかにくぼむ、LR、RL単節羽状縄文
13	深鉢	90、98 底部	11.3		8.2	粗 繊維	赤褐	平底、接合帯から大きく外反、波状口縁か、内面スス付着
14	深鉢	98 底部	2.6		9.5	粗 繊維	褐	平底、わずかにくぼむ、LR、RL単節羽状縄文
15	深鉢	37 底部	4.4		8.5	粗 繊維	白色大砂粒 暗褐	平底、外面滑、LR、RL無節羽状縄文
16	深鉢	16、41 底部	5.1		8.5	粗 繊維	白色微粒 赤橙	平底、外面滑、LR、RL単節羽状縄文
17	深鉢	29 底部	3.7		8.8	粗 繊維	褐	平底、端部つまみ出し、内面スス付着、LR、RL単節羽状
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				重 量	特 徴
			長さ	幅	厚さ			
18	スクレイパー	51 完	6.0	6.4	1.3	61.0	細粒輝石安山岩、縁辺を刃部とする	
19	スクレイパー	102 完	6.1	9.1	1.6	91.0	黒色頁岩、横広剥片の縁辺に調整を施して刃部とする	
20	スクレイパー	フク土 完	6.4	5.4	1.2	56.3	黒色頁岩、縦長剥片の両側縁を刃部とする	
21	石鏃	フク土 一部欠	2.2	2.1	0.4	1.1	黒曜石、V字状の抉りをもつ三角鏃	

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
22	すり石	フク土 完	11.1	8.2	4.0	560.0	粗粒輝石安山岩、全体に摩耗、裏面平滑、上端と側面に敲打痕

和田山天神前遺跡 100号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	常滑 大甕	フク土 破片	60.0	39.0	16.0	白色砂粒 多	焼締 灰	口縁～底部まで20点、口縁～上胴、底部に接合例、土坑 周辺にも破片が散在

和田山天神前遺跡 101号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 口縁部	6.8			粗 繊維	褐	波状口縁の一部、平行爪形文による菱形区画文
2	深鉢	フク土 胴部	5.2			粗 繊維	赤橙	下胴部、厚手、L R, R L無節羽状縄文

和田山天神前遺跡 102号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	2、フク土 口縁部	7.5			粗 繊維	褐	波状口縁、櫛歯状工具の縦列刺突による菱形区画
2	深鉢	フク土 口縁部	4.5			粗 繊維	褐	1の同一個体
3	深鉢	3 胴部	10.8			粗 繊維	褐	羽状縄文、L R, R L単節

和田山天神前遺跡 103号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	厚さ	重 量			
1	火鉢	フク土 底部	4.8			粗 砂粒	灰黒	軟質	
2	甕	フク土 胴部	7.2			砂粒少混	焼締 灰	常滑	
3	甕	フク土 胴部	3.2			砂粒多混	焼締 灰	常滑	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
4	鉦	1 破片	2.30	3.10	0.20	9.10			銅製、断面くの字状の口縁に円孔があく、耳が付く
5	銭	フク土	2.31	2.33	0.13	2.90			熙寧元宝

和田山天神前遺跡 104号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 甕	1 胴部	17.5			硬	酸化 赤橙	厚手、内面ナデ
2	深鉢	フク土 口縁部	7.0			粗 繊維	黒褐	波状口縁の一部、平行爪形文による菱形区画文、厚手縄 文土器黒浜式
3	深鉢	フク土 口縁部	6.1			粗 繊維	褐	波状口縁の一部、櫛歯状工具の刺突による菱形区画文 縄文土器有尾式
4	深鉢	フク土 胴部	5.3			粗 砂粒多	褐	下胴部、縄文土器黒浜式、L R, R L単節羽状縄文
5	深鉢	フク土 胴部	3.8			粗 砂粒多	黄橙	きざみ目を施す、曲線文、縄文土器黒浜式

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
6	釘	4 完	4.90	0.4	0.4	2.10	平釘
7	釘	3 脚欠	3.70	0.4	0.4	2.20	平釘、脚端部欠損
8	釘	フク土 略完	4.90	0.5	0.5	2.70	平釘、U字形に折れる
9	飾金具	フク土 破片	1.20	3.60	0.20	6.80	銅製、雲居形、外側にふくらみを持ち内側にタテ爪状の突起がある
10	銭	フク土 完	2.33	2.38	0.10	2.30	開元通宝
11	銭	フク土 一部欠	2.51	2.15	0.12	1.40	天聖通宝
12	銭	フク土 完	2.46	2.47	0.12	2.10	景祐通宝
13	銭	フク土 完	2.42	2.41	0.10	6.50	皇宋通宝、2枚
14	銭	フク土 完	2.37	2.39	0.13	3.10	元豊通宝
15	銭	フク土 略完	2.21	2.25	0.15	2.00	紹聖元宝
16	銭	フク土 完	2.24	2.19	0.10	1.90	無文銭

和田山天神前遺跡 105号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	1 口縁部	5.1			粗 繊維	暗褐	単口縁、附加条
2	深鉢	2 胴部	8.7			粗 繊維	褐	下胴部、L R, R L単節羽状縄文
3	深鉢	2 胴部	5.7			粗 繊維	褐	2と同一個体
4	深鉢	2 胴部	8.2			粗 繊維	赤橙	下胴部、L R, R L単節羽状縄文
5	深鉢	フク土 口縁部	4.5			粗 繊維	褐	単口縁、口唇部に櫛歯状工具の縦列刺突、以下菱形区画
6	深鉢	フク土 口縁部	4.7			粗 繊維	片岩粒 暗褐	櫛歯状工具の刺突による区画文
7	深鉢	フク土 口縁部	4.0			粗 繊維	褐	平行爪形文による菱形区画
8	深鉢	フク土 口縁部	3.4			粗 繊維	褐	7と同一個体
9	深鉢	フク土 口縁部	5.3			粗 繊維	灰褐	波状口縁の一部、波頭に沿って平行沈線文を施す
10	深鉢	フク土 口縁部	5.7			粗 繊維	砂粒 黒褐	9と同一個体か
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
11	スクレイパー	S 1 完	7.0	4.2	1.2	45.8	黒色頁岩、剝片の両側に調整を施し刃部とする	
12	スクレイパー	フク土 完	9.1	5.0	1.4	60.0	黒色頁岩、縦長剝片の両側に調整を施し刃部とする	
13	石皿	S 2 破片	14.2	11.6	8.4	1720.0	粗粒輝石安山岩、裏面に凹穴がある、側面は故意に打ち割り破棄	

和山天神前遺跡 107号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	1、フク土 口縁～胴	24.5			粗 繊維	赤褐	口唇部欠損、口縁部は平行沈線による菱形区画文、胴部 LR、RL羽状縄文
2	深鉢	フク土 胴部	4.8			粗 繊維	黒褐	1と同一個体
3	深鉢	フク土 胴部	4.3			粗 繊維	褐	1と同一個体
4	深鉢	4 口縁部	5.3			粗 繊維	砂粒多 赤橙	波状口縁、RL
5	深鉢	フク土 胴部	4.3			粗 繊維	黒褐	2条単位の平行爪形文で菱形区画、胴部に縄文施文

和山天神前遺跡 108号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
1	銭		2.10	2.06	0.07	0.90	無文

和山天神前遺跡 111号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	15、16 口縁部	5.5			粗 繊維	褐	単口縁、RL、LR羽状縄文
2	深鉢	フク土 胴部	5.0			粗 繊維	褐	RL、LR羽状縄文
3	深鉢	10 頸部	5.5			粗 繊維	黄褐	緩く屈曲、平行沈線間に櫛歯状工具による刺突、胴部LR
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重量		
4	石斧	フク土 略完	9.6	4.5	2.4		緑色片岩、磨製、刃部敲打痕を残す	
5	鉄器	1 破片	5.2	2.4	0.4	8.8	木の葉状の形状、上方にむかって幅広、うすい	

和山天神前遺跡 113号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 口縁～胴	30.0	32.8		粗 繊維	褐	波状口縁、内面滑、下部にスス付着、LR、RL羽状縄文

和山天神前遺跡 114号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			タテ	ヨコ	厚さ			
1	形象埴輪	フク土	18.5	13.5	1.0	C	橙	1～6同一個体、外ハケ(6/1cm)後両側面に幅1cm強の 突帯を貼付して区画、その表面にハの字状に同じく突帯 を貼付、5は突帯幅8cm器台との境になるか
2	形象埴輪	フク土	16.1	6.5	1.2	C	橙	
3	形象埴輪	フク土	6.1	6.6	0.9	C	橙	内：タテの指ナデ後、上半部についてナナメハケ、さら にヨコハケを重ねる
4	形象埴輪	フク土	7.8	13.5	0.9	C	橙	外：タテハケ後鋸歯文、赤彩 内：ナデ
5	形象埴輪	フク土	8.5	10.2	1.5	C	橙	外：幅広の粘土帯貼付 内：タテハケ
6	形象埴輪	フク土	11.0	6.0	1.1	C	橙	外：タテハケ 内：ナナメハケ
7	円筒埴輪	フク土 口縁部	7.5	4.4	1.0	C	にぶい橙	外：ハケ(6/1cm) 内：ナナメハケ(6/1cm)、カマ印

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			タテ	ヨコ	厚さ			
8	円筒埴輪	フク土 口縁部	7.6	7.5	0.9	C	赤橙	外：ハケ (6/1cm) 内：ナナメハケ後タテとナナメのハケを重ねて施す
9	円筒埴輪	フク土	9.5	8.8	1.1	C	赤橙	外：ハケ (6/1cm) 後M1突帯、円形のスカシ孔 内：指ナデ、9～11同一個体
10	円形埴輪	フク土	15.5	11.0	1.0	C	赤橙	外：タテハケ後三角突帯貼付 内：指ナデ後一部にナナメハケ
11	円形埴輪	フク土 基底部	7.0	6.8	1.6	C	赤橙	外：タテハケ後三角突帯貼付 内：指ナデ後一部にナナメハケ

和田山天神前遺跡 115号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 口縁～胴	25.0	22.8		粗 繊維	砂粒多 明褐	単口縁、楕円形、L R, R L羽状縄文
2	深鉢	フク土 胴部	16.5			粗 繊維	砂粒多 赤橙	胴部最大径の破片、下部内面スス付着、L R, R L羽状縄文
3	深鉢	フク土 胴部	7.6			粗 繊維	褐	羽状縄文
4	深鉢	フク土 胴部	9.8			粗 繊維	黄灰	羽状縄文
5	深鉢	フク土 胴部	5.0			粗 繊維	浅黄	羽状縄文
6	深鉢	フク土 口縁	5.5			粗 繊維	橙褐	波状口縁、口唇部平坦面に棒状工具をあて沈線 7と同一個体か
7	深鉢	フク土 口縁部	6.5			粗 繊維	褐	波状口縁
8	深鉢	フク土 口縁	8.5			粗 繊維	暗褐	波状口縁、波頭に沿って平行爪形文を菱形に施す 9と同一個体か
9	深鉢	フク土 口縁部	5.8			粗 繊維	砂粒 明褐	波状口縁、波頭に沿って平行爪形文を菱形に施す
10	深鉢	フク土 口縁部	5.5			粗 繊維	黒褐	波状口縁、波頭に沿って4条の平行爪形文、以下菱形区 画
11	深鉢	2 胴部	6.3			粗 繊維	暗褐	頸部に櫛歯状工具による横位刺突、以下羽状縄文
12	深鉢	3 胴部				粗 繊維	黄褐	平行沈線間に櫛歯状工具で刺突
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
13	すり石	2 完	11.8	8.3	3.9	580.0	粗粒輝石安山岩、表裏平滑、上下両端に敲打痕	
14	凹石	フク土 完	11.9	7.0	3.8	500.0	粗粒輝石安山岩、表1穴、裏2穴、全体に摩耗しススけている	
15	石斧	2 完	6.3	4.2	1.1		ホルンフェルス、片刃	

和田山天神前遺跡 119号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			タテ	ヨコ	厚さ			
1	形象埴輪	フク土 破片	9.7	8.3	1.4	C	にぶい橙	盾ヒレの下端の破片、外、ナデ一部赤彩 内面、指ナデ

和田山天神前遺跡 121号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 口縁部	4.6			粗 繊維	褐	波状口縁、波頭に沿って平行爪形文をめぐらす
2	深鉢	フク土 口縁部	4.8			粗 繊維	暗褐	平行爪形文で菱形区画

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
3	深鉢	フク土 胴部	7.6			粗 繊維	褐	2と同一個体
4	深鉢	フク土 頸部	4.5			粗 繊維	暗褐	くの字に屈曲、口縁部平行沈線の菱形区画、胴部LR縄文
5	深鉢	フク土 口縁部	5.0			粗 繊維	砂粒多 黒褐	単口縁、直線的に外反、LR
6	深鉢	フク土 胴部	9.2			粗 繊維	褐	LR, RL羽状縄文、下胴部
7	深鉢	1 胴部	8.5			粗 繊維	褐	下胴部、内面スス付着、LR, RL羽状縄文
8	深鉢	フク土 胴部	5.5			粗 繊維	赤橙	内面滑、LR, RL羽状縄文
9	深鉢	フク土 底部	3.0		11.2	粗 繊維	褐	羽状縄文
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
10	スクレイパー	2 完	11.5	8.2	1.5	68.3	黒色頁岩、縁辺に細かな調整を施して刃部とする	
11	凹石	4 完	11.4	9.1	3.3	560.0	粗粒輝石安山岩、表裏に2穴、すり石に転用	

和田山天神前遺跡 124号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	30,31,32 25口~胴	22.5	34.0		粗 繊維	明褐	単口縁、底部から直線的に外反、内面滑、LR, RL羽状縄文
2	深鉢	29 口縁部	7.0	18.0		粗 繊維	黄褐	単口縁、底部から直線的に外反、LR, RL羽状縄文
3	深鉢	2 口縁部	5.0			粗 繊維	黒褐	単口縁、羽状縄文
4	深鉢	34 口縁部	4.8			粗 繊維	褐	波状口縁の波頭部
5	深鉢	28 胴部	6.2			粗 繊維	褐	頸部にかけて平行爪形文、以下LR, RL羽状縄文
6	深鉢	フク土 胴部	6.1			粗 繊維	橙	羽状縄文
7	深鉢	24 口縁部	5.2			粗 繊維	赤橙	波状口縁、波頭に沿って平行爪形文
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
8	石斧	フク土 一部欠	6.6	3.9	1.0	29.0	細粒輝石安山岩、薄手小型、先端刃部を欠損	
9	スクレイパー	4 完	8.8	3.1	1.0	38.8	黒色頁岩、縦長剥片の両縁辺を刃部とする	

和田山天神前遺跡 125号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 口縁部	5.0			粗 繊維	暗褐	単口縁、LR, RL羽状縄文
2	深鉢	フク土 胴部	5.7			粗 繊維	微粒 橙	LR, RL羽状縄文

和田山天神前遺跡 126号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	15 口縁部	5.7			粗 繊維	黒褐	波状口縁、口唇直下に櫛歯状工具の縦列刺突、以下平行沈線の菱形区画、沈線間に横位刺突

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
2	深鉢	13 口縁部	7.8			粗 繊維	黄褐	波状口縁、口唇に沿って平行沈線文と平行爪形文を施文
3	深鉢	3 口縁部	7.7			粗 繊維	黒褐	波状口縁、波頭部に沿って平行爪形文、以下平行爪形文 による菱形区画
4	深鉢	3 口縁部	4.7			粗 繊維	褐	波状口縁、波頭に沿って平行爪形文で菱形区画
5	深鉢	9 口縁部	8.2			粗 繊維	赤橙	波状口縁、波頭に沿って平行沈線文をめぐらし、以下菱 形区画
6	深鉢	12 口縁部	4.3			粗 繊維	暗褐	単口縁、R L
7	深鉢	19 胴部	5.3			粗 繊維	暗褐	単口縁、L R
8	深鉢	フク土 胴部	6.7			粗 繊維	暗褐	下胴部、L R
9	深鉢	1 胴部	4.4			粗 繊維	褐	上胴部、L R, R L羽状縄文
10	深鉢	4 胴部	5.5			粗 繊維	赤橙	下胴部、L R
11	深鉢	18 胴部	4.3			粗 繊維	褐	上胴部、補修孔あり、L R

和田山天神前遺跡 127号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	胴部	3.6			粗 繊維	褐	上胴部、羽状縄文

和田山天神前遺跡 128号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	68 口縁～胴	15.0	25.0		粗 繊維	灰白色砂 褐	単口縁、口唇部に工具圧痕、内面滑、L R, R L無節羽状
2	深鉢	46、48、62 58、63				粗 繊維	黄褐	2点、7と8同一個体、波状口縁、平行爪形文の菱形区 画文、胴部L R, R L単節羽状
3	深鉢	71、72、75 78頭～胴	12.0			粗 繊維	褐	頸部屈曲、平行爪形文を施す、胴部L R, R L単節羽状、 内面滑
4	深鉢	42 胴部	6.6		9.4	粗 繊維	砂粒 黒褐	やや上げ底、L R, R L単節羽状
5	深鉢	68 口縁部	11.0			粗 繊維	黄橙	波状口縁、波頭に沿って平行爪形文で菱形区画、補修孔
6	深鉢	23 口縁部	6.3			粗 繊維	褐	波状口縁、波頭部破片、波頭に沿って平行爪形文で菱形 区画、やや薄手、内面滑
7	深鉢	12、20、45 口縁部	5.8			粗 繊維	褐	2点、波状口縁、口唇と頸部
8	深鉢	15 口縁部	6.6			粗 繊維	褐	平行爪形文による菱形区画文
9	深鉢	18 口縁部	6.1			粗 繊維	黄橙	波状口縁の波頭部、波頭に沿って平行沈線文、内面滑
10	深鉢	13 口縁部	5.8			粗 繊維	黄橙	9と同一個体
11	深鉢	フク土 胴部	10.9			粗 繊維	黒褐	底部から直線的に外反する下胴部、L R, R L単節羽状、 内面滑
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
12	石匙	S 1 完	3.3	5.2	0.3	6.8	横型、横広剥片の一方につまみをつけ、下縁辺を加工して刃部とする	
13	すり石	15 完	11.0	8.8	5.2	790.0	表裏摩耗、中央に敲打痕	
14	すり石	37 完	12.3	7.7	4.3	580.0	表と側面の一部敲打剥落、磨面平滑	

和田山天神前遺跡 129号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	11、17、22 18口～底	31.2	41.0	(14.6)	粗 繊維	暗褐～褐	単口縁、底部から口縁部に向かって大きく外反 内面滑
2	深鉢	6 口縁部	11.0			粗 繊維	黄橙	波状口縁、波頭と頸部を平行爪形文で区画し中に菱形文 を施す
3	深鉢	4 頸部	4.5			粗 繊維	砂粒 明褐	緩く屈曲、平行爪形文を密に施す、以下縄文
4	深鉢	33 口縁部	5.5			粗 繊維	赤褐	波状口縁、無文、口唇部は工具圧痕による波頭状
5	深鉢	19 頸	6.6			粗 繊維	明褐	緩く屈曲、平行沈線間を櫛歯状工具で横位に刺突
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
6	石斧	4 完	7.6	5.4	1.1	54.5	黒色頁岩、縦長剥片の縁辺に粗い調整、撥形、両刃	

和田山天神前遺跡 130号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	9 頸部	6.0			粗 繊維	褐	くの字に屈曲、屈曲節に櫛歯状工具で縦列刺突
2	深鉢	6 胴部	6.0			粗 繊維	明褐	単口縁、L R, R L状縄文、3～7・11と同一個体
3	深鉢	フク土 口縁部	3.3			粗 繊維	明褐	単口縁
4	深鉢	4 胴部	5.3			粗 繊維	明褐	
5	深鉢	9 胴部	3.2			粗 繊維	褐	
6	深鉢	8 胴部	3.5			粗 繊維	明褐	
7	深鉢	フク土 胴部	2.7			粗 繊維	明褐	
8	深鉢	フク土 胴部				粗 繊維	暗褐	
9	深鉢	2 胴部	4.5			粗 繊維	茶褐	
10	深鉢	3 胴部	3.8			粗 繊維	浅黄	
11	深鉢	5 胴部	9.0			粗 繊維	明褐	胴部中位
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
12	石斧	4 完	7.2	4.7	1.6	68.4	黒色頁岩、厚い剥片に粗く調整、片刃	

和田山天神前遺跡 131号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	21 口縁部	10.5	30.4		粗 繊維	黄褐	2対の小突起をもつ単口縁、口唇直下に櫛歯状工具の縦 列刺突、以下2条単位の平行爪形文で菱形文を施す
2	深鉢	1 頸～胴部	9.5			粗 繊維	砂粒多 黄褐	2と3同一個体、頸部の屈曲部に平行爪形文、以下 L R, R L羽状縄文
3	深鉢	胴部	10.6			粗 繊維	黄橙	2と同一個体
4	深鉢	40 口縁部	5.8			粗 繊維	赤橙	単口縁、平行沈線で菱形に区画し沈線間を櫛歯状工具で 刺突、菱形の接点に縦列刺突
5	深鉢	21 口縁部	3.8			粗 繊維	橙	波状口縁、口縁に平行して2条以上の平行爪形文、波頭 部は縦の沈線

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
6	深鉢	21	8.7			粗 繊維	砂粒 褐	直立外反、櫛歯状工具による2条の刺突を境にして上は刺突による三角文、下は縄文
7	深鉢	10 口縁部	5.7			粗 繊維	橙	波状口縁、波頭に沿ってLR縄文帯、以下平行沈線文
8	深鉢	21 口縁部	11.8			粗 繊維	砂粒多 赤橙	波状口縁、口唇2条・頸部1条の平行沈線文で区画 中を菱形に施す
9	深鉢	28 口縁部	7.0			粗 繊維	明褐	単口縁、わずかに波打つ、内面滑、LR, RL羽状縄文
10	深鉢	17 胴部	5.3			粗 繊維	黒	10と11同一個体
11	深鉢	16 胴部	5.0			粗 繊維	黒	LR, RL羽状縄文

和田山天神前遺跡 132号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	3、4、6 12、13、14 口縁～胴	24.5			粗 繊維	橙～暗褐	6点、波状口縁の大型深鉢、口縁は波頭に沿って平行爪 形文による菱形区画、胴部RL
2	深鉢	5 口縁部	7.5			粗 繊維	橙	波状口縁、平行沈線で菱形に区画し櫛歯状工具の刻み様 の刺突
3	深鉢	フク土 胴部	5.7			粗 繊維	砂粒多 橙	上胴部、内面スス付着、RL
4	深鉢	フク土 胴部	4.2			粗 繊維	黒褐	下胴部、LR
5	深鉢	19 胴部	6.0			粗 繊維	赤褐	底部立ち上がり、RL
6	深鉢	フク土 胴部				粗 繊維	褐	羽状縄文

和田山天神前遺跡 133号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 口縁部	12.0			硬	砂粒多 赤褐	単口縁、口縁は貼付隆帯で楕円区画しLR縄文、胴部は 2条の沈線を垂下しRL縄文
2	深鉢	フク土 口縁部	10.5				砂粒多 褐	単口縁、口縁は貼付隆帯で楕円区画、隆帯の一方は渦巻、 中はRL縄文、胴部は2条の沈線を垂下しLR施文
3	深鉢	フク土 口縁部	9.0				砂粒多 赤橙	口唇部欠損、2と同一個体
4	深鉢	フク土 口縁部	5.5				砂粒多 橙	波状口縁、貼付隆帯で楕円区画、LR縄文
5	深鉢	フク土 胴部	5.5				砂粒多 褐	1と同一個体
6	深鉢	フク土 胴部	4.5				微粒 赤褐	5条以上の集合沈線施文後、2本の沈線を垂下し磨消無 文帯とする

和田山天神前遺跡 134号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	6、8 口縁～胴	20.7			粗 繊維	砂粒 明橙	単口縁、口縁は平行爪形文、胴部は羽状縄文
2	深鉢	5 口縁部	9.3			粗 繊維	褐	単口縁、2条単位の平行爪形文を口唇部直下と頸部に施 す、口唇部は半截工具背面の圧痕
3	深鉢	フク土 口縁部	6.0			粗 繊維	褐	口唇部欠損、平行沈線1条、有節平行線文2条を菱形に 施す
4	深鉢	7 頸部	8.5			粗 繊維	褐	くの字に屈曲、羽状縄文
5	深鉢	8 口縁部	8.5			粗 繊維	橙	波状口縁、RL

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
6	深鉢	4 胴部	7.8			粗 繊維	赤橙	下胴部、底部から直線的に大きく外反、L R, R L羽状縄文
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
7	石匙	フク土 完	5.9	3.2	0.6	15.1	黒色頁岩、横長剥片の左縁辺を刃部とする、縦型	

和田山天神前遺跡 136号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	1 下胴部	7.8		10.7	粗 繊維	黄橙	R L、内面スス付着、平底
2	深鉢	フク土 口縁部	7.2			粗 繊維	褐	単口縁、L R, R L羽状縄文
3	深鉢	フク土 胴部	6.5			粗 繊維	淡橙	L R, R L無節羽状縄文
4	深鉢	フク土 下胴部	7.2			粗 繊維	橙	L R, R L羽状縄文、平底、内面炭化物付着
5	深鉢	フク土 口縁部	4.3			粗 繊維	黒褐	口唇部欠損、縄文地の上に平行沈線文
6	深鉢	フク土 口縁部	5.9			粗 繊維	褐	波状口縁、口唇直下に櫛歯状工具の縦列刺突、以下無文地に平行沈線間に刺突
7	土製円盤	フク土 略完				硬	淡橙	3.7×3.9、深鉢胴部を転用、周縁部打ち欠く

和田山天神前遺跡 137号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	2 胴部	(12.7)			粗 繊維	淡橙	下胴部、L R, R L羽状縄文
2	深鉢	フク土 口縁部	(11.0)			粗 繊維	砂粒 暗褐	単口縁、L R、内面滑
3	深鉢	フク土 口縁部	(4.6)			粗 繊維	暗褐	2と同一個体
4	深鉢	フク土 口縁部	(4.6)			粗 繊維	黒褐	波状口縁、L R
5	深鉢	2、3 胴部	(9.6)			粗 繊維	赤褐	底部から直線的に緩く外反、L R, R L羽状縄文
6	深鉢	フク土 胴部	(10.2)			粗 繊維	橙	緩やかに外反する下胴部、L R, R L羽状縄文
7	深鉢	フク土 胴部	(5.2)			粗 繊維	赤橙	下胴部、内面炭化物付着、L R無節
8	深鉢	フク土 胴部	(6.3)			粗 繊維	褐	7と同一個体
9	深鉢	フク土 胴部	(11.6)			粗 繊維	褐	上胴部、L R, R L羽状縄文
10	深鉢	1、フク 土口縁部				粗 繊維	暗褐	単口縁、平行爪形文で菱形区画、平行爪形文を口唇と頸部にめぐらしその間を大小の菱形区画で充填、胴部L R, R L羽状縄文

和田山天神前遺跡 138号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	8 口縁部	(7.5)			粗	黄橙	波状口縁、3条単位の平行爪形文を菱形に施す
2	深鉢	10 口縁部	(6.5)			粗	赤褐	単口縁、羽状縄文
3	深鉢	3 口縁部	(8.8)			密	橙	単口縁、貼付隆帯が楕円形に区画した中に太めのハの字状沈線を充填

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
4	深鉢	1 胴部	(11.5)			密	淡橙	2条の隆帯で区画した中にRL単節縄文、被熱赤変、内面スス付着
5	深鉢	2 胴部	(10.5)			密	黄橙	2条の沈線で区画した中にRL単節縄文

和田山天神前遺跡 139号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	18、20 口縁～胴	(26.0)	27.0		粗 繊維	褐	単口縁、胴部中位に最大径、LR、RL羽状縄文
2	深鉢	4 口縁～胴	(30.0)	34.0		粗 繊維	砂粒多 黄褐	単口縁、頸部でくびれ外反、口縁と頸部に2条単位の平行爪形文で区画し中を菱形文に施す
3	深鉢	5 口縁～胴	(12.0)	15.0		粗 繊維	黄褐	単口縁、直立に外反、口唇部工具痕、口唇下と上胴部に長さ1cmの隆帯貼付
4	深鉢	3 口縁部	(6.5)			粗 繊維	褐	単口縁、頸部にくびれ、LR、RL羽状縄文
5	深鉢	フク土 口縁部	(4.5)			粗 繊維	暗褐	単口縁、直立に外反、LR
6	深鉢	フク土 口縁部	(6.1)			粗 繊維	暗褐	波状口縁、L
7	深鉢	9 胴部	(13.5)			粗 繊維	赤橙	頸部がくびれる深鉢の下胴部、LR、RL羽状縄文、内面スス付着
8	深鉢	17 胴部	(8.1)			粗 繊維	暗褐	LR、RL羽状縄文
9	深鉢	8 胴部				粗 繊維	赤橙	頸部がくびれる深鉢、LR、RL羽状縄文
10	深鉢	19 胴部				粗 繊維	黄橙	LR、RL羽状縄文
11	深鉢	21 胴部	5.5			粗 繊維	赤褐	LR、RL羽状縄文
12	深鉢	18 胴部	14.0			粗 繊維	褐	頸部に2条の平行爪形文をめぐらし屈曲、胴部は無文地に1条の平行爪形文を菱形に施す、内面滑
13	深鉢	7 口縁部	9.0			粗 繊維	赤褐	波状口縁、波頭に沿って4条の平行爪形文
14	深鉢	フク土 口縁部	5.0			粗 繊維	赤褐	平行爪形文を密に施す
15	深鉢	22 胴部	5.5			粗 繊維	明褐	無文地に平行爪形文
16	深鉢	フク土 口縁部	4.8			粗 繊維	黒褐	無文地に平行沈線で区画し櫛歯状工具を刺突
17	深鉢	フク土 口縁部	7.2			粗 繊維	明褐	2条単位の平行爪形文を菱形に施す
18	深鉢	フク土 口縁部	5.5			粗 繊維	暗褐	2条単位の平行爪形文を菱形に施す
19	深鉢	15 口縁部	5.0			粗 繊維	褐	波状口縁、波頭に沿って2条単位の平行沈線文
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
20	凹石	7 完	10.9	8.9	4.1	580.0	粗粒輝石安山岩、表裏平滑で2穴、上端に敲打痕	
21	すり石	フク土 完	6.0	7.5	2.6	180.0	粗粒輝石安山岩、裏面平滑な磨面、ススけている、表の両側から剝離	

和田山天神前遺跡 140号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土				粗 繊維	片岩微粒 暗褐	1～3同一個体、上胴部
2	深鉢	フク土 胴部	7.5			粗 繊維	赤橙	LR、RL羽状縄文、上胴部

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量		
3	深鉢	胴部	7.6			粗 繊維	暗褐	上胴部
4	深鉢	フク土 口縁部	5.3			粗 繊維	暗褐	単口縁、直立外反、附加条
5	深鉢	頸部	3.2			粗 繊維	明褐	5~10同一個体、平行爪形文がめぐる
6	深鉢	14 胴部	7.3			粗 繊維	褐	L R, R L羽状縄文
7	深鉢	胴部	7.4			粗 繊維	褐	
8	深鉢	フク土 胴部	4.5			粗 繊維	暗褐	
9	深鉢	フク土 胴部	8.3			粗 繊維	褐	
10	深鉢	フク土 胴部	5.5			粗 繊維	褐	上胴部
11	深鉢	胴部	10.1			粗 繊維	赤橙	L R, R L羽状縄文、上胴部
12	深鉢	フク土 口縁部	4.8			粗 繊維	黒褐	単口縁、押引文、平行沈線間に櫛歯状工具による横位の 刺突
13	深鉢	15 口縁部	5.0			粗 繊維	黒褐	平行爪形文による菱形意匠文の一部
14	深鉢	フク土 胴部	5.8			粗 繊維	褐	無文地に櫛歯状工具で菱形に刺突
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
15	凹石	フク土 完	7.3	5.9	1.1	100.0	粗粒輝石安山岩、表裏1穴、表裏とも摩耗	

和田山天神前遺跡 141号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	10-1 口縁部	7.8			粗 繊維	橙	単口縁、内面滑、R L, L R無節を交互に施文
2	深鉢	フク土 胴部	4.6			粗 繊維	赤橙	R L
3	深鉢	フク土 胴部	5.9			粗 繊維	赤橙	下胴部、R L

和田山天神前遺跡 142号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 口縁部	5.0			粗 繊維	橙	くの字に外反する口縁の一部、平行爪形文で菱形に区画 し中にも施す
2	深鉢	フク土 口縁部	6.0			粗 繊維	橙	平行爪形文
3	深鉢	フク土 胴部	3.8			粗 繊維	褐	平行沈線間に櫛歯状工具で刺突
4	深鉢	フク土 胴部	4.2			粗 繊維	黄褐	3~4条の平行沈線で菱形に区画、沈線間に櫛歯状工具 を刺突、厚手
5	深鉢	フク土 胴部	7.0			粗 繊維	黄褐	薄手、R L
6	深鉢	フク土 胴部	6.6			粗 繊維	赤橙	厚手、R L
7	深鉢	フク土 胴部	4.5			粗 繊維	赤橙	薄手、R L、5と同一個体

和田山天神前遺跡 143号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	口縁～胴	20.0	29.1		粗 繊維	片岩多 赤褐	波状口縁、波頭と頸部に3条の平行爪形文をめぐらし区画、その間を2条の平行爪形文を三角に施す

和田山天神前遺跡 144号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	1 口縁部	2.6			粗 繊維	赤橙	単口縁、内傾、薄手、RL
2	深鉢	フク土 口縁部	3.4			粗 繊維	褐	単口縁、LR
3	深鉢	フク土 胴部	5.0			粗 繊維	暗褐	頸部屈曲部に近い上胴部、RL
4	深鉢	フク土 胴部	5.1			粗 繊維	暗褐	胴部中位ふくらみあり、RL
5	深鉢	フク土 胴部	4.3			粗 繊維	黒褐	平行沈線間を櫛歯状工具で横位に刺突

和田山天神前遺跡 145号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 口縁部	14.5			粗 繊維	暗褐	波状口縁、波頭に沿って平行爪形文で菱形に区画 内面滑
2	深鉢	フク土 口縁部	6.3			粗 繊維	暗褐	平行爪形文で菱形に区画
3	深鉢	フク土 口縁部	5.3			粗 繊維	暗褐	平行爪形文で菱形に区画
4	深鉢	フク土 口縁部	4.2			粗 繊維	淡橙	波状口縁、RL
5	深鉢	フク土 胴部	7.7			粗 繊維	褐	直線的に外反、LR, RL羽状縄文
6	深鉢	フク土 胴部	8.0			粗 繊維	赤橙	直線的に外反、内面スス付着、LR
7	深鉢	フク土 胴部	4.6			粗 繊維	褐	LR, RL羽状縄文

和田山天神前遺跡 147号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 口縁部	5.0			粗 繊維	黄褐	波状口縁、波頭に沿って平行爪形文で菱形に区画
2	深鉢	フク土 口縁部	3.7			粗 繊維	黄褐	単口縁、内傾、LR
3	深鉢	フク土 口縁部	4.5			粗 繊維	赤橙	単口縁、RL
4	深鉢	フク土 胴部	4.0			粗 繊維	黄橙	LR, RL羽状縄文
5	深鉢	フク土 胴部	5.0			粗 繊維	赤橙	4と同一個体

和田山天神前遺跡 152号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	18、21、23 26口～胴	18.0	21.5		粗 繊維	砂粒多 赤褐	単口縁、底部から直線的に外反、LR、半身に被熱赤変
2	深鉢	17 胴部	15.5			粗 繊維	砂粒多 暗褐	LR, RL羽状縄文

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
3	深鉢	29 胴～底部	7.1			粗 繊維	暗褐	波状口縁小型の深鉢、LR、RL羽状縄文
4	深鉢	24 頸部	6.0			粗 繊維	暗褐	波状口縁、波頭に沿って平行沈線で菱形に区画し沈線間を櫛歯状工具で横位に刺突、胴部LR、RL羽状縄文
5	深鉢	21 胴～底部	4.6		7.3	粗 繊維	赤橙	底部から直線的に外反、上げ底、LR、RL無節羽状縄文
6	深鉢	25 底部	3.4		9.0	粗 繊維	赤橙	厚手、RL無節
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
7	石斧	S 5 完	7.7	5.3	1.6	70.0	黒色頁岩、縦剥剝片の縁辺に調整を施す、片刃、反り身あり	
8	スクレイパー	S 4 完	5.3	6.8	1.0	39.1	黒色頁岩、横剥剝片の下縁辺を刃部とする	
9	スクレイパー	S 11 完	5.8	8.4	1.1	72.9	黒色頁岩、横剥剝片の下縁辺を刃部とする、片刃	
10	スクレイパー	フク土 完	5.6	8.9	1.0	70.2	黒色頁岩、横剥剝片の下縁辺を刃部とする、片刃	
11	すり石	S 1 完	9.9	8.3	1.0	480.0	粗粒輝石安山岩、表裏平滑、上下両端にわずかな敲打痕	
12	凹石	S 7 完	15.2	9.5	4.8	1020.0	粗粒輝石安山岩、表裏1穴、右側面に紐がけ様敲打	
13	凹石	18 完	9.3	8.3	4.6	440.0	粗粒輝石安山岩、表は3穴以上が連結、裏は1穴、側面に紐がけ様敲打痕	
14	スクレイパー	S 14 完	5.1	8.1	1.1	49.8	黒色頁岩、横長剥剝片の下縁辺を刃部とする	

和田山天神前遺跡 153号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	13 口縁部	13.2	27.2		粗 繊維	褐	単口縁、直線的に外反、LR、RL羽状縄文
2	深鉢	10 口縁部	7.6			粗 繊維	黒褐	単口縁、LR、RL羽状縄文、1と同一個体
3	深鉢	38、フク 土口縁部	6.8			粗 繊維	橙	波状口縁、波頭に沿って平行爪形文で菱形に区画
4	深鉢	34 口縁部	4.7			粗 繊維	黒褐	波状口縁、波頭に沿って3条の刺突文をめぐらし波頂部に渦巻状刺突
5	深鉢	フク土 口縁部	4.5			粗 繊維	赤褐	単口縁、鐔付、鐔の下に櫛歯状工具による横位の刺突
6	深鉢	30、31 胴～底部	9.4		9.1	粗 繊維	赤橙	底部から直線的に外反、RL

和田山天神前遺跡 154号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	9、11、19 胴～底部	19.6		9.6	粗 繊維	砂粒 赤橙	底部から直線的に外反、RL
2	深鉢	9、31、122 口縁～胴	18.7	31.8		粗 繊維	黒褐	単口縁、底部から直線的に外反、頸部わずかに屈曲し口縁外反、LR

和田山天神前遺跡 156号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	6、16 胴部	15.2			粗 繊維	赤橙	下胴部、底部から直線的に外反、内面スス付着、羽状縄文
2	深鉢	6 頸部	6.5			粗 繊維	白色粒多 明褐	緩く屈曲、LR

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
3	深鉢	5 口縁部	4.3			粗 繊維	明褐	単口縁、羽状縄文
4	深鉢	フク土 口縁部	6.4			粗 繊維	赤褐	波状口縁、平行沈線の上端に沈線区画して平行爪形文口 唇との間に櫛歯状工具の縦列刺突
5	深鉢	フク土 底部	4.0		9.2	粗 繊維	淡橙	上げ底、羽状縄文、内面スス付着
6	深鉢	14 底部	2.8		6.0	粗 繊維	赤褐	上げ底、羽状縄文、内面炭化物付着
7	深鉢	10 底部	2.8		10.1	粗 繊維	赤褐	上げ底、羽状縄文
8	深鉢	7 底部	2.2		6.0	粗 繊維	暗褐	上げ底、羽状縄文
9	深鉢	把手	2.5			粗 繊維	黄橙	ボタン状把手、平坦面にLR

和田山天神前遺跡 157号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	一括 口縁部	5.0			粗 繊維	黄褐	波状口縁、櫛歯状工具による集合沈線で波頭に沿って菱 形区画、沈線の1条に刺突文
2	深鉢	16J-3 胴部	5.3			粗 繊維	褐	胴部中位、内面滑、LR、RL単節羽状縄文
3	深鉢	1 底部	2.5		8.0	粗 繊維	褐	上げ底、成形時へら状のものでナデ後縄文施文

和田山天神前遺跡 158号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	2 口縁部	5.8			粗 繊維	橙褐	波状口縁、波頭に沿って平行沈線区画が菱形区画
2	深鉢	フク土 胴部	3.4			粗 繊維	赤橙	下胴部、RL羽状縄文
3	深鉢	1 底部	4.0			粗 繊維	黄褐	平底、底部から直線的に外反
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)			特 徴		
4	石鏃	フク土 略完	長さ	幅	厚さ	重 量	黒曜石、浅いU字状の抉りをもつ三角鏃、両脚の端部欠損	
			1.9	1.5	0.4			

和田山天神前遺跡 159号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	フク土 口縁部	5.5			粗 繊維	暗褐	波状口縁、波頭部破片、平行沈線文と刺突文で菱形区画、 やや薄手、内面滑
2	深鉢	フク土 口縁部	5.3			粗 繊維	暗褐	波状口縁、波頭に沿って平行爪形文で菱形区画
3	深鉢	フク土 口縁部	7.2			粗 繊維	赤褐	波状口縁、LR無節
4	深鉢	フク土 口縁部	4.8			粗 繊維	黄灰	波状口縁、RL単節
5	深鉢	フク土 胴部	3.3			粗 繊維	微砂粒多 褐	胴部最大径の部位、RL単節
6	深鉢	フク土 胴部	5.7			粗 繊維	黒褐	頸部に近い上胴部、RL
7	深鉢	フク土 胴部	3.4			粗 繊維	橙褐	下胴部

和田山天神前遺跡 162号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	1 口縁部	7.1			粗 繊維	砂粒多 赤褐	単口縁、1～5同一個体
2	深鉢	2、9 胴部	10.7			粗 繊維	赤褐～橙	
3	深鉢	3 胴部				粗 繊維		
4	深鉢	4、5 胴部	11.7			粗 繊維	褐～黒褐	
5	深鉢	8 胴部	4.8			粗 繊維	黄褐	

和田山天神前遺跡 164号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	1、5 胴部	8.7			粗 繊維	暗褐	下胴部、附加条
2	深鉢	フク土 胴部	3.2			粗 繊維	赤褐	下胴部、附加条
3	深鉢	1 胴部	4.6			粗 繊維	褐	頸部近くの上胴部、厚手
4	深鉢	フク土 胴部	3.7			粗 繊維	暗褐	羽状縄文
5	深鉢	フク土 胴部	6.6			粗 繊維	砂粒多 赤褐	下胴部

和田山天神前遺跡 165号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量			
1	のし瓦	完	34.2	13.0	2.3	1860.0		良 灰白	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
2	のし瓦	完	34.2	13.7	2.1	1540.0		良 灰白	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
3	のし瓦	完	33.5	13.9	2.3	1740.0		良 灰	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
4	のし瓦	完	34.1	13.1	2.2	1580.0	黒色粒	良 灰白	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
5	のし瓦	3/4	27.5	12.6	2.0	1220.0		良 灰	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
6	のし瓦	1/2	17.4	12.6	2.1	820.0	黒色粒	良 灰白	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
7	のし瓦	1/2	17.7	10.8	1.9	590.0		良 灰	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
8	のし瓦	1/2	17.8	11.9	1.8	615.0		良 灰	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
9	のし瓦	1/2	15.6	13.0	2.1	700.0		良 灰白	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
10	のし瓦	1/2	13.3	12.0	2.1	540.0		硬良 灰白	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
11	のし瓦	略完	31.8	11.2	2.4	1400.0		やや軟 灰	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
12	のし瓦	破片	24.6	11.2	1.7	740.0		良 青灰	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子タタキ 端部ヘラ切
13	平瓦	破片	16.0	23.2	2.4	980.0		良 灰	外面ナデ、内面格子タタキ後ナデ、端部ヘラ切
14	平瓦	破片	15.4	8.7	2.4	460.0		良 青灰	外面ナデ、内面ナデ、端面ヘラ切
15	軒丸瓦	破片	11.2	9.0	2.2	500.0	微砂混	良 黄灰	三巴文、瓦当部頸部貼付、外面ヘラナデ 内面布目、接合部ナデ

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
16	鬼瓦	破片						大小19点、縁と頬、口の各破片、端部ヘラナデ裏面糸切目	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴		
17	刀子	下面B混土	11.6		0.2	21.4	刃長9.5cm、刃幅2.2~2.6cm、左側直線的、右側わずかに内反り木質錆着、茎2.1cm、基部欠損		
18	釘	フク土略完	6.3	0.5	0.5	9.0	角釘、脚端欠損		
19	釘	フク土略完	5.9	0.4	0.3	5.3	平釘		
20	釘	フク土完	5.9	0.5	0.4	4.9	角釘		

和田山天神前遺跡 170号出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	中国磁器瓶	体部小片				灰白色	不良	青白磁梅瓶であろう、釉が不透明のため蓮華文が不明瞭、2片が接合し1片は被熱している

和田山天神前遺跡 175号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
1	釘	フク土脚欠	5.3	0.3	0.2	1.6	角釘、脚端部欠損

和田山天神前遺跡 176号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	1 口縁部	5.3			粗 繊維	褐	口唇下に幅広の櫛歯状工具の縦列刺突
2	深鉢	2 頸部	4.2			粗 繊維	黄褐	緩く屈曲、L R、R L羽状縄文
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
3	スクレイパー	S 4 完	7.6	3.4	1.3	48.5	黒色頁岩、厚い剝片の両側縁を刃部とする	

和田山天神前遺跡 177号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	浅鉢	1 胴部	6.1			硬	灰褐	無文、ナデ後内外面ヘラミガキ
2	浅鉢	2 胴部	6.2			硬	淡褐	1と同一個体

和田山天神前遺跡 178号土坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	深鉢	3 口縁部	5.5			粗 繊維	赤橙	波状口縁、波頭に沿って縄文施文の隆帯、口唇との間に縦の沈線を施す
2	深鉢	フク土 口縁部	4.2			粗 繊維	橙	波状口縁、口唇下に櫛歯状工具の縦列刺突、以下横位の刺突で菱形区画
3	深鉢	2 胴部	4.3			粗 繊維	橙	平行沈線で菱形区画、沈線間を櫛歯状工具で横位の刺突
4	深鉢	4 口縁部	4.0			粗 繊維	褐	波状口縁、波頭部に凹み、L R

和田山天神前遺跡 1号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	須恵器 甕	北堀 口縁		31.0		硬	還元 灰褐	口縁～胴部破片9点、内面青海波文、口縁2条単位の沈線で区画した中に2条単位の波状文、胴部外面平行タタキ
2	須恵器 蓋	南堀 口縁	2.0	6.6		硬	還元 灰	口縁形成後、天井部手持ちヘラケズリ
3	土師器 杯	フク土 口～体	2.9	6.0		密	酸化 褐	口縁ナデ、体部ヘラケズリ
4	土師器 手づくね	南堀 3/4	2.0	7.5		粗	酸化 灰黄	口縁内外面ナデ、底部回転ヘラ切り
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
5	大刀	玄室略完	84.3			720.0	平造、刀身部73.9cm、茎長11.0cm、両関、木質付着	
6	鏝	玄室略完	8.6	7.6	0.4	27.1	倒卵型、8%角の孔が8個あく、縁幅8%	
7	貴金具	玄室略完	6.0	4.4	0.7	13.7	卵型、長径4.7cm、短径3.5cm	
8	小刀	刀身欠損	15.5	1.4	1.0	101.5	外反り	
9	鎌	一部欠損	5.5	0.9	0.4	3.9	両丸広鋒三角脇式	
10	鎌	一部欠損	4.3	0.6	0.3	3.5	両丸広鋒三角脇式	
11	鎌	一部欠損	5.2	0.7	0.4	5.1	両丸広鋒三角脇式	
12	鎌	茎の一部	2.7	0.7	0.3	0.9		
13	釘	完	13.1	0.5	0.5	2.6	平釘	
14	釘	完	13.8	0.4	0.5	2.4	平釘	
15	釘	略完	10.0	0.4	0.5	2.2	平釘	
16	釘	完	7.8	0.5	0.6	2.3	平釘	
17	釘	下部欠	6.2	0.5	0.5	1.2		
18	釘	下部欠	6.6	0.4	0.5	1.7	笠折曲	
19	釘	下部欠	4.6	0.4	0.5	1.2	笠方頭	
20	釘	完	9.0	0.3	0.5	1.5		
21	釘	下部欠	5.1	0.5	0.5	1.5		
22	釘	下部欠	2.6	0.5	0.5	0.5		
23	釘	下部欠	7.4	0.4	0.3	1.0		
24	釘	両端欠	6.2	0.4	0.4	1.2		
25	釘	上部欠	4.4	0.3	0.3	0.5		
26	釘		3.4	0.4	0.2	0.4		
27	釘		7.2	0.5	0.3	1.0	鉄か	
28	銭		2.8	2.7	0.10	3.3	文久永宝	

和田山天神前遺跡 2号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
1	刀子	柄	5.7	0.7	0.6	6.2	柄は断面方形、幅6%、厚3%、刀身部は横側に形状を残すがほかは剥落、銀装留金具は幅3%、卵形、木質を残す
2	釘	下部欠	2.7	0.4	0.6	1.3	断面方形
3	釘	下部欠	2.9	0.5	0.6	1.5	断面方形
4	釘	略完	3.2	0.4	0.4	1.1	断面方形
5	釘	上下欠	1.8	0.5	0.5	0.8	断面方形
6	釘	下部欠	1.6	0.3	0.4	0.4	断面方形
7	釘	笠部欠	2.7	0.4	0.4	0.6	断面方形
8	釘	中位欠	3.0	0.3	0.3	0.5	断面方形 木質付着
9	釘	上部欠	1.7	0.3	0.3	0.2	断面方形
10	釘	上部欠	2.3	0.3	0.4	0.4	断面方形 木質付着
11	釘	下部欠	0.8	0.3	0.3	0.1	断面方形 木質付着

和田山天神前遺跡 3号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 杯	フク土 口縁	4.3	15.0		密	酸化 赤褐	口縁ナデ、胴部外面ヘラナデ、内面放射暗文
2	土師器 杯	東南墳丘 口縁	3.7	15.2		密	灰	口縁ナデ、胴部外面ヘラケズリ

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
3	須恵器 甕	P-1前庭 部 胴				硬	還元 灰褐	外面平行タタキ、内面青海波文、大甕、9点
4	須恵器 甕	墳丘前庭 口～底部		12.0		硬	還元 灰褐	口縁ナデ、胴部外面格子目タタキ、内面青海波文 丸胴
5	須恵器 提瓶	前庭部	20.3	胴径 17.5		硬	還元 灰	
6	弥生 台付甕	北堀 口縁～脚	16.0	10.7	脚 位 7.1	粗	酸化 赤褐	口縁部波状文、頸部簾状文、上胴部波状文、赤彩
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重量		
7	釘	かく乱 頭欠	2.7	0.7	0.6	5.3	平釘か、コの字状に曲折	

和田山天神前遺跡 4号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	円筒	P74 前庭	32.5	24.4	14.2	C	橙 7.5YR8/8	2条突帯、外面タテハケ(4/1cm)後、M1突帯貼付 内面口縁部ナナメハケ、以下ナデ
2	円筒	76、43、48 141、102 53	19.5	23.5	厚1.2	B	明赤褐 2.5YR5/8	3条突帯、外面タテハケ(5/1cm)後、M1突帯貼付 内面口縁部～第2段ナナメハケ、以下ナデ
3	円筒	44、52	30.8	24.4	厚1.2	B	2.5YR5/8	3条突帯、外面ハケ(5/1cm)後、M1突帯貼付 2段の透孔、内面ナデ→ハケ
4	円筒	玄室 前庭部	(27.2)	(27.1)	厚1.5		橙 2.5YR6/6	2条突帯、外面ハケ後、M1突帯貼付 透孔カマ印、内面ナデ後ハケ
5	円筒	玄室9、フ ク土、羨道	(12.2)	(27.2)	厚1.3		橙 2.5YR6/6	4と同一手法
6	円筒	119、南墳 丘西周堀	(33.7)	厚1.6	(14.0)		橙	形象の基台、外面ハケ後M1突帯貼付、ハケ(5～6/1cm) 基底部外面板状のタタキ調整
7	円筒	320、321 羨道	(10.3)		厚1.6		橙 2.5YR6/6	4と同一手法
8	円筒	北東墳丘 北東周堀	(17.7)	厚1.5	(13.7)		橙 2.5YR6/6	外面タテハケ後三角突帯貼付、ハケ(5～6/1cm) 内面指ナデ
9	円筒	北東墳丘 北東周堀	(20.6)	厚1.6	(17.1)		橙 2.5YR6/6	ハケ(4～5/1cm)後、M1突帯貼付 内面タテハケ
10	円筒	122 南西堀	(17.5)		厚1.4		橙 2.5YR6/6	ハケ(4～5/1cm)後、M2突帯貼付 内面2、3段までハケ後タテナデ、カマ印
11	円筒	北西堀	(17.1)	厚1.4	(11.8)		橙	12と接合、6と調整が類似 ハケ(5/1cm)
12	円筒	北西堀	(11.5)	厚1.4	(14.0)		橙	基底部板状のタタキ 内面けヘラナデ
13	円筒	60、106 107前庭	(14.5)	(19.5)	厚1.2	C	7.5YR7/6	ハケ(8～9/1cm)、台1突帯貼付 内面ナデ、ハケ、ナデ
14	円筒	130～105 109	(19.6)		厚1.3	砂粒多 C	7.5YR7/6	ハケ後、台3突帯貼付 内面ナデ後ハケ
15	円筒	12北西堀	(18.2)		厚1.3	C	5YR7/6	ハケ(7/1cm)後、台2突帯貼付 内面タテナデ、タテハケ
16	円筒	北東墳丘	(11.0)		厚1.3	B	5YR7/6	ハケ(7/1cm)、突帯台2貼付 内面ナデ、ハケ、ナデ
17	朝顔	北西堀	(17.6)		厚0.9	C	5YR6/6	ハケ(7～8/1cm)、台1突帯貼付 内面ナデ
18	円筒	西堀	(13.2)		厚1.2	砂粒多 C	5YR6/6	ハケ(7～8/1cm)、突帯台1貼付 内面ナデ
19	円筒	堀	(8.6)		厚1.2	B	5YR6/6	ハケ(7/1cm)、台2突帯貼付 内面ナデ、ハケ
20	円筒	北東堀 P-1	(21.2)	厚1.7	(12.7)	C	浅黄 2.5Y7/4	ハケ(7/1cm)、突帯台1貼付 内面基底部に粗いヨコハケ調整
21	朝顔	21-108	(32.4)		厚1.6	C	5YR6/6	ハケ(5/1cm)後、台1突帯貼付、くびれ部と突帯赤彩 内面けナデ、くびれ以上ナナメハケ

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	
			器高	口径	底径				
22	朝顔	南西堀	(15.4)		厚1.5	C	橙	23と同一個体、ハケ (7/1cm)、台1突帯貼付 内面ナデ後タテハケ	
23	朝顔	117、西堀 北西堀 墳丘	(13.1)	(31.0)	厚1.4	砂粒多 C	黄橙 5YR6/6	外面タテハケ 内面タテナデ、ハケ カマ印あり	
24	形象 基台	22～24 東南墳丘	(23.2)		厚1.0	(19.5)	C	黄橙	外面タテハケ 内面タテナデ後ハケ調整
25	形象 基台	83 東南墳丘	(29.3)		厚1.3	(17.2)	C	にぶい橙	外面タテハケ 内面タテナデ後底部にタテハケ
26	形象 基台	前庭部59 61、63、92	(19.8)		厚1.7	(18.0)	C	橙	外面タテハケ 内面タテナデ後底部にヨコハケの調整
27	円筒	北東堀 墳頂部 北東墳丘	(17.1)		厚1.5	(16.2)	C	橙	外面タテハケ 内面タテナデ
28	形象 基台	37、324 前庭、羨 道、玄室	(33.6)		厚1.5		C	橙	外面タテハケ、台1突帯貼付、透孔楕円 内面タテナデ後タテハケ
29	形象 基台	玄室6 前庭	(27.8)		厚1.4	(15.7)	C	にぶい橙	外面タテハケ、透孔円 内面タテのユビナデ
30	形象 基台	東南墳丘 22	(23.5)		厚1.5		C	橙	外面タテハケ、台1突帯貼付 内面ナデ後ハケ
31	形象 基台	西堀	(20.0)		厚1.4		C	にぶい橙	外面タテハケ 内面タテナデ
32	形象 基台	東北堀98	(19.9)		厚1.6	(16.4)	C	橙	外面タテハケ 内面タテナデ
33	形象 基台	51、前庭	(12.0)		厚1.5	15.2	C	5YR7/6	外面タテハケ (6～7/1cm) 内面タテナデ→指ナデ
34	形象 基台	東南墳丘 玄室内 羨道	(21.8)		厚1.5	14.2		5YR7/6	外面タテハケ (6～7/1cm) 内面ハケ、ナデ
35	形象 基台	75、116	(13.3)		厚1.3		C	5YR7/6	外面タテハケ (6～7/1cm) 内面ハケ、ナデ
36	形象 基台	120 南西堀	(12.5)		厚1.5		C	5YR7/6	外面タテナデ後、台1突帯貼付、透孔楕円 内面ナデ後タテハケ
37	形象 基台	周堀2 東北堀7	(22.0)		厚1.3	14.4	B	5YR7/4	外面タテナデ (6～7/1cm) 後、台2突帯貼付 内面ナデ整形後、ハケ密
38	円筒	周堀2	(10.2)		厚1.2	14.0	C	5YR7/6	外面タテナデ、底部板状のタタキ 内面底部粗いヨコハケ調整後、タテの指ナデ
39	円筒	北東墳丘 墳頂	(11.0)			厚1.8	B	5YR7/6	外面タテナデ後、底部板状のタタキ 内面底部粗いヨコハケ調整後、タテのハケと指ナデ
40	円筒	前庭	(10.5)		厚1.8 ～2.0	15.0	C	2.5YR6/6	外面タテナデ (4/1cm) 後、底部板状のタタキ 内面ナデ後、ハケ
41	人物	83、116 北西墳丘 東南墳丘	(23.2)		厚1.4	15.0	C	橙 2.5YR7/6	基台から裾のかけての部分、外面ハケ(6～7/1cm)、裾の 付け根に強いナデ、隅丸長方形の透孔、内面指ナデ
42	帽子	123～125 前庭南堀	(27.6)		幅 28.3	厚1.5		橙	本文P88参照
43	形象 基台	1、2	(15.8)		厚 1.8	13.7	C	2.5YR6/8	ハケ (7～8/1cm)、底部部やや厚い 外面ハケ、内面ナデ
44	馬	東墳丘						橙	本文参照、面繫、鞍、尻繫、足などの部位の破片がある
45	馬	東墳丘					砂粒多	浅黄橙	5点、ハケ (7/1cm) 44に比べて砂粒が多い
46	家	墳丘	(26.6)		上部 (55.7)	下部 (23.8)			46～48同一個体、本文P88参照、入母屋の上屋部分
47	家	19C-9	(15.3)		厚1.6		砂粒多	橙 2.5YR7/6	四柱部の一部、横の突帯を2段縦の突帯を1列貼付その 周りをハケ、やや丸みもち隅寄りの位置と推定される、 内面ハケとナデ

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
48	家	墳丘	(12.3)		厚1.8		橙 2.5YR7/6	四柱部の基台部、床をあらわす横の突帯を1段、四柱と推定される縦の突帯を1列貼付、内面横の粗いハケ後タテハケ
49	大刀	19C-8	(14.9)		厚1.6	砂粒多	橙 2.5YR7/6	鞘部と柄との接合部で剥離、外面に柄の剥落痕が残る
50	大刀	東南墳丘	(6.0)		厚2.2		にぶい橙	台形状の柄頭の一部、粗いハケ調整、側面に細い帯状の赤彩、2個体の可能性もある
51	大刀	P-31	(12.7)		厚1.8	砂粒多	橙	柄の勾金部分幅6cm、ハケ(3~4/1cm)後、半円形に粘土紐貼付、赤彩、裏面に接合の粘土塊
52	大刀		(6.7)		厚1.9	砂粒多	橙	柄の勾金部先端の一部、方台形、三輪玉形の粘土を貼付、帯状に赤彩、裏面接合痕
53	靱	東南墳丘						56、60、61、75と接合、本文P88参照
54	靱	P-32	(11.9)	幅 11.8	厚2.2	砂粒多	にぶい橙	矢筒上端、接合部で折損、線刻により鎌と矢柄と表現両側端に隆帯を貼付、裏面接合痕
55	靱		(3.6) (2.8)	(4.0) (3.2)	(1.8) (1.0)		にぶい橙	2点 矢筒上端部の破片、54と同じく線刻で鎌と矢柄を表現
56	靱							53、60、61、75と接合
57	靱	東南周堀	(9.2)		厚1.5		橙 2.5YR5/6	矢筒部の中段にある横帯の部分、貼付した隆帯上に線刻による鋸歯文がある
58	靱		(16.7) (9.2)		厚1.2 1.3		橙	2点、基台の紐飾りの部分、ハケ調整された上に幅2cm前後の粘土紐を貼付する
59	靱						明橙	本文参照、破片20点から復元する、表にはハケ後三角形の線刻、赤彩がある
60	靱							53、56、61、75と接合
61	靱							53、56、61、75と接合
62	盾	P344 前庭	(21.0)		厚1.1	1~5% 砂粒多	橙 2.5YR6/6	盾部の筒とヒレの一部、鋸歯文と思われる線刻がある外面ナデ、ハケ、内面ナデ
63	盾	北西周堀	(9.5)		厚1.5	砂粒多	橙 2.5YR6/6	4点、盾部のヒレの一部、ナデとハケの整形後線刻による鋸歯文
64	盾	P-29	(14.2)		厚1.1	砂粒多	橙 2.5YR6/6	盾部の筒とヒレの一部、ナデ後線刻による鋸歯文、
65	盾	墳丘	(15.3)		厚1.8			盾部ヒレ上端部から筒の一部、ヒレ部には線刻による鋸歯文がある
66	盾	玄室羨道	(21.4)		厚1.3	砂粒多		ヒレは2cm弱と張りが少ない、幅1cmの赤彩の帯が2本、下端に鋸歯状の線刻、ヒレの下に円形の透孔
67	靱	P67、96 前庭	(17.4)		厚1.1	砂粒多 やや硬	にぶい橙 5YR7/4	矢筒部のヒレ基部、上下2本の帯で区画、中に3本の赤彩の帯、下の帯には線刻による鋸歯文と赤彩がある
68	盾	東南墳丘 羨道	(22.1)		厚1.8	砂粒多	にぶい橙 5YR7/4	盾部のヒレの一部、ハケ、ナデ後線刻による鋸歯文裏面ハケ
69	盾	P95 墳丘	(14.0)		厚1.7	砂粒多	にぶい橙 5YR7/4	盾部ヒレ上端部、表ハケ後一条と2条線刻による鋸歯文赤彩あり、縁取の紐とじ孔
70	盾	東周堀	(10.8)		厚2.0	砂粒多	にぶい橙 5YR7/4	盾部ヒレ上端部、表ハケ後線刻による鋸歯文、赤彩縁に紐とじ孔列、裏ハケ後ナデ
71	盾	西堀 南西堀	(9.0) (5.3)		厚1.2 1.3		にぶい橙	2点、盾部のヒレの一部、表ナデ後線刻による鋸歯文、赤彩側縁に紐とじ孔、裏タテハケ
72	盾	19E-5 墳丘下 東南墳丘	(8.1) (4.4) (6.8)		厚1.8 1.8 1.6	砂粒多	にぶい橙	3点 70と同一個体、表ナデ後線刻による鋸歯文三角形の赤彩、縁に紐とじ孔、裏ハケ
73	盾	P-38 東墳丘下	(14.2)		厚1.5	砂粒多	にぶい橙	65と接合、盾部の円筒とヒレの一部、表ハケ後ナデ線刻による鋸歯文、裏ハケ、内面ナデ後ハケ
74	靱	墳頂部	(16.4)		厚1.3	砂粒多	にぶい橙	矢筒部のヒレ部分、表裏ヨコハケ上端部に線刻による鋸歯文、鋸歯文は赤彩
75	靱							53、56、58、60、61と接合
76	盾	50	(12.7)		厚1.5		にぶい橙	ヒレ部分、表裏タテハケ、表に鋸歯文、端部刺突厚さ1.6cm~2.2cm

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
77	盾	玄室内	(10.1)		厚1.5		にぶい橙	円筒部、ハケ後線刻、鋸歯状の赤彩が見られる
78	盾	主体部 かく乱	(8.6)		厚1.4		橙	ヒレ部分、表斜位ハケ帯状に線刻、赤彩、裏タテハケ厚 さ1.3cm
79	靱		(19.2) (5.8)		厚1.3 1.2		橙	2点、表裏タテハケ、粘土帯を貼付、さらにボタン状の 粘土粒を重ねて貼付、帯状に赤彩
80	馬	P-79	(9.3)		厚1.4		橙	鞍の一部、表裏タテハケ、表と縁に帯状の赤彩
81	靱	西周堀	(7.4)		厚1.3		橙	ハケ後ナデあり、赤彩で区画裏面剥落、接合のためのハ ケ目がある
82	靱	P-27	(11.2)		厚1.4		橙	83、89同一個体、弱いハケ、幅2.5cmの帯を貼付一部赤彩、 内面密なハケ
83	靱	周堀	(5.7)		厚1.5		橙	幅2cmの帯を貼付、内面斜位のハケ後ナデ
84	靱	東南周堀	(8.5)		厚1.3	砂粒多	橙	ハケ斜位、幅3.5cmの帯を貼付、その上に円形の粘土粒を 7.5YR7/6 貼付している
85	人物	フク土 破片			厚1.2	砂粒多	橙	首から上胴部、タテハケ後弱いナデ、首に赤彩 胸に剥落の跡あり
86	靱	フク土 破片	(8.0)		厚1.5 ~1.7		赤橙	3点、ハケ後鋸歯文、端部タテハケ赤彩
87	靱	フク土 破片	(7.5)		厚1.7		赤橙	ハケ、鋸歯文と帯状の赤彩、端部にも赤彩
88	靱	フク土 破片	(7.0)		厚1.7		橙	ハケ後弱いナデ、鋸歯文、赤彩、縁に刺突
89	靱	フク土 破片					橙	82、83と同一個体
90	人物	フク土 破片	(4.0)		厚1.2		にぶい橙	首の破片、玉をつけ赤彩全周か
91	人物						にぶい橙	92、94、95、96と接合 男子立像の頭部、左右の振り分け髪が表現される
92	人物							男子立像の顔面鼻と目にかかる部分
93	人物 美豆良	東南墳丘	(6.4)		厚3.2	砂粒多	橙	右の美豆良、飾りの剥落痕あり、下端には前方に突き出 る突起がある
94	人物	東南墳丘	(11.4) (5.3)		厚2.5 ~0.8		橙	91、92、94、95、96と接合 男子立像の大刀、全体に帯状の赤彩
95	人物	東南墳丘	(9.8)		厚2.5		にぶい橙	91、92、94、95、96と接合 男子立像の左美豆良、飾りの剥落痕あり
96	人物	東南墳丘	(10.2)		厚2.1		にぶい橙	91、92、94、95、96と接合 男子立像の右美豆良、飾りの剥落痕あり
97	家 堅魚木	東南墳丘	7.7	幅3.0	厚2.1		にぶい橙	中央部にくびれ、断面円形、くびれに赤彩
98	家 堅魚木	東南墳丘	(3.3)	幅2.8	厚2.1		にぶい橙	97と同一個体、中央のくびれに赤彩
99	人物 右腕	東南墳丘	(4.0)	幅3.6	厚2.9	砂粒多	赤褐色	上腕部の破片
100	人物 大刀	東南墳丘	(4.5)	幅2.0	厚1.5		橙	柄頭の部分、柄尻と鞘に赤彩、鞘は2列の刺突
101	人物 大刀	東南墳丘 柄の一部	(3.3)	幅2.8	厚1.5		橙	柄頭と思われる、 穿孔は貫通していない
102	円筒	南西周堀	(5.0)		厚1.5		明橙	朝顔型のくびれ部破片、接合部で外れている 内面に接合のための線刻がある
103	円筒	南西周堀	(3.5)		厚1.3		明橙	朝顔型のくびれ部破片、接合部で外れている 内面に接合のための線刻がある
104	円筒	南西周堀	(3.0)		厚1.3		明橙	朝顔型のくびれ部破片、接合部で外れている 内面に接合のための線刻がある
105	須恵器 甕	周堀	(38.0) 30以上		厚0.7		5Y5/1	外面平行タタキ、口縁波状文 内面青海波文、頸部からタテ方向に幅1cm指ナデ
106	須恵器 甕	58、玄室 前庭	(9.5)		厚0.6		灰 5Y5/1	外面3条の沈線で区画した間に波状文 下胴部ヘラケズリ、内面ロクロ整形痕

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
107	須恵器 甕	周堀	(4.5)		厚0.5		灰白 5Y7/1	106と同一個体
108	ガラス小 玉	玄室内						27点、別表参照
109	ガラス小 玉	玄室 328						別表参照
110	ガラス小 玉	玄室 329						別表参照
111	土師器 杯	101 1/4	(4.0)	(13.4)		細	酸化 淡橙	口縁ヨコナデ、底部ヘラケズリと思われるが磨耗している
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
112	刀	一部	12.8	0.5	1.2	54.9	鏝と茎、目釘が残る、柄に木質付着	
113	刀	一部	7.2	1.0	2.1	17.0	112の刀身部剥落片、棟の一部が残る、厚さ5mm	
114	資金具	一部	2.6	0.3	2.4	5.8	112の一部か、幅2.5mm、厚さ2mm	
115	資金具	一部	4.3	0.3	4.1	9.2	112の一部か、幅4cm以上、厚さ3mm	
116	紋金具	一部	2.8	0.4	0.3	0.8	断面方形	
117	鏃	上部欠	15.7	0.4	0.5	11.0	茎は方丸	
118	鏃	茎の一部	5.5	0.5	0.4	2.0	断面方形、木質あり	
119	鏃	茎の一部	6.9	0.4	0.5	2.6	断面方形、木質あり	
120	鏃	茎の一部	6.0	0.5	0.4	2.5	断面方形、木質あり	
121	鏃	下半欠	5.8	0.6	0.3	4.0	鏃身部から茎	
122	鏃	上下欠	4.4	0.8	0.4	5.7	茎の一部	
123	鏃	上下欠	4.2	0.6	0.5	2.1	茎の一部、裏面剥落、断面方形	
124	鏃	上部欠	4.8	0.5	0.4	2.4	上端偏平幅広、断面方形、釘の可能性もある	
125	釘	略完	3.6	0.3	0.3	1.1	断面方形	
126	釘	下部欠	2.8	0.4	0.5	0.9	断面方形	
127	不明	一部	3.9	0.6	0.7	2.4	端部に小孔、断面方形、木質あり	
128	銭		2.21	2.20	0.08	1.7	寛永通宝	
129	銭		2.66	2.65	0.09	3.1	文久永宝	

和山天神前遺跡 5号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
2	大刀	略完	79.8				平造、刃部長68.6、刃幅3.6、刃厚0.5、柄長11.2、柄幅1.8、柄厚0.3
3	大刀	刀身	19.3	2.35	0.9	52.2	4と同一個体
4	大刀	柄	13.1	1.2	0.55	14.7	目釘残る
5	鏃	略完	12.7	0.9	0.25	5.9	
6	鏃	完	14.6	0.6	0.45	9.5	
7	鏃	茎	11.0	0.6	0.35	4.4	断面方形
8	鏃		3.05	0.7	0.25	1.4	鏃身断面紡錘形、茎断面方形
9	鏃		5.2	0.75	0.4	2.7	
10	鏃	茎	11.85	0.8	0.45	0.8	木質が良好に残る、カバ皮か
11	鏃	茎	11.7	0.9	0.8	7.6	鏃身部から茎の破片
12	鏃	茎	5.6	0.7	0.35	2.5	両側面にタテ方向の木質付着
13	鏃	茎	4.8	0.4	0.3	1.3	
14	鏃	茎の一部	3.6	0.55	0.3	1.7	断面方形
15	鏃	茎の一部	3.7	0.6	0.4	1.7	
16	鏃	茎の一部	2.1	0.6	0.4	1.3	断面方形
17	鏃	茎の一部	2.1	0.45	0.4	0.8	
18	鏃	茎の一部	2.3	0.45	0.25	0.8	茎の下部、断面方形
19	鏃	茎の一部	1.9	0.35	0.2	0.4	茎の下部
20	鏃	茎の一部	1.7	0.2	0.2	0.2	茎の下部
21	鏃	鏃身	1.6	1.9	0.35	1.3	鏃身部の上下欠、縞あり
22	鏃	茎	3.2	0.6	0.35	2.2	中程の断面方形
23	鏃	茎	1.0	0.55	0.3	0.3	中程の断面方形
24	鏃	茎	1.4	0.3	0.3	0.3	下端部の断面丸
25	不明		5.1	1.1	1.2	4.2	筒状、上端に向かって径が大きくなる
26	銭		2.29	1.56	0.12	1.4	元豊通宝か
27	銭		2.28	2.28	0.09	2.0	寛永通宝

和田山天神前遺跡 6号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	須恵器 甕	周堀 口縁	(5.0)		厚0.8	硬	還元 灰	口唇部下に1条、頸部に2条の凹線、その間に4条1単位の波状文帯3段
2	須恵器 甕	周堀 口縁	(5.3)		厚0.7	硬	還元 灰	2点、1と同一個体
3	須恵器 甕	周堀 胴部	(9.9)		厚1.3	硬	還元 灰	外面平行タタキ、内面青海波文 外面はタタキ後4段以上のカキ目条痕
4	須恵器 甕	周堀 底部	(10.8)		厚1.7	硬	還元 灰	外面平行タタキ、内面青海波文

和田山天神前遺跡 7号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	須恵器 甕	口縁～ 下胴	(72.0)	41.2	厚1.6	硬	還元 灰	口縁波状文、胴部外面平行タタキ 内面青海波文
2	ガラス小 玉	完					青	径0.4、孔径0.2
3	土師器 杯	前庭部 口縁	3.6	12.2		軟	酸化 橙	口縁ナデ、体部ヘラケズリ
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
4	釘	東周堀 脚欠	4.2	0.4	0.3	1.3	角釘、頭打設によりやや扁平	
5	釘	東周堀 脚欠	3.6	0.5	0.4	1.8	角釘、頭打設によりやや扁平	
6	釘	東周堀 脚欠	2.7	0.4	0.3	1.4	角釘	
7	銭	フク土	2.26	2.25	0.12	2.5	寛永通宝	
8	不明		4.3	2.4	0.2	14.3	銅製か 現代の産物か不明	

和田山天神前遺跡 8号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 小型甕	羨道 口 ～底1/3	12.1	14.8		粗 砂	酸化 橙	内面外ヨコナデ 外面タテヘラケズリ
2	須恵器有 蓋台付壺	前庭ほか 胴～底	(13.0)		13.6	硬	還元 暗灰	内外面ロクロ痕、肩部に1条の沈線
3	須恵器 蓋	P4,18,19 21、略完	2.1	14.0	鈕部 4.2	硬	還元 暗灰	外面ロクロ整形後、ロクロによるヘラケズリ 内面ロクロナデ
4	須恵器 杯	前庭 2/3	3.7	14.6	9.2	硬	還元 暗灰	内外面ロクロ痕 底部外面縁辺ヘラケズリ
5	須恵器 蓋	前庭ほか 1/2	3.4	12.8	鈕部 4.0	硬	還元 暗灰	有蓋短頸台付壺、内外面ロクロ痕 2の蓋
6	須恵器 杯	前庭 底部のみ	(0.7)		(8.2)	硬	還元 暗灰	内外面ロクロ痕 底部回転ヘラ切り
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
7	鐵	茎下部欠	9.9	0.7	0.25	4.3	玄室	
8	鐵	茎	6.1	0.4	0.4	2.4	玄室	
9	鐵	茎	4.8	0.45	0.4	2.5	玄室、関	
10	鐵	茎欠	4.75	0.75	0.3	2.5	玄室	
11	鐵	茎の一部	3.65	0.4	0.35	1.6	玄室、断面方形	
12	鐵	鐵身	2.8	0.7	0.3	1.0	玄室、身の先端、片刃鐵	
13	鐵	鐵身	2.5	0.6	0.2	0.8	玄室、身の先端、片刃鐵	
14	鐵	鐵身	3.0	0.6	0.2	1.3	玄室、身の先端、片刃鐵	
15	鐵	茎	7.3	0.45	0.4	3.1	玄室、中央部	
16	鐵	茎	5.1	0.5	0.45	2.8	玄室	

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
17	鉄	茎	4.7	0.45	0.35	1.8	玄室
18	鉄	茎	3.4	0.4	0.6	1.5	玄室、木質付着
19	鉄	茎	3.0	0.6	0.3	0.7	玄室
20	釘	略完	7.35	0.7	0.75	9.8	玄室、脚端の一部欠損
21	釘	完	5.35	0.6	0.65	2.8	玄室
22	釘	略完	4.8	0.5	0.45	3.8	玄室、脚端の一部欠損
23	釘	脚欠	3.85	0.4	0.7	2.3	玄室
24	釘	脚欠	3.2	0.7	0.45	1.2	玄室
25	釘	脚欠	2.2	0.4	0.5	1.0	玄室
26	釘	両端欠	2.5	0.4	0.4	1.6	玄室、別個体錆着
27	鉄	茎	2.8	0.4	0.4	0.9	玄室、下端断面丸
28	鉄	茎	2.0	0.7	0.65	0.5	玄室、下端断面丸
29	釘	脚欠	0.95	0.4	0.35	0.3	玄室、笠頭丸
30	釘	脚欠	1.65	0.4	0.35	0.5	玄室、笠頭丸
31	釘	脚欠	1.55	0.35	0.3	0.5	玄室、笠頭丸
32	釘	脚欠	1.6	0.4	0.35	0.4	玄室、笠頭丸
33	鉄		2.25	0.4	0.4	0.8	玄室、茎の一部、断面方形
34	鉄		2.0	0.3	0.2	0.3	玄室、茎の一部、断面方形
35	鉄		1.7	0.35	0.3	0.5	玄室、茎の一部、断面方形
36	鉄		1.4	0.4	0.3	0.4	玄室、茎の一部、断面方形
37	鉄		2.35	0.45	0.3	0.5	玄室、茎の一部、断面方形

和天山天神前遺跡 9号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 丸胴甕	墳丘 口へ上胴	(9.5)	17.0		砂粒	酸化 橙	球形 口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ
2	土師器 長胴甕	前庭56 下胴へ底	(16.7)		7.8	粗	黄褐	外面ナナメヘラケズリ 内面ナデ、底部使用のため磨耗
3	土師器 甕	前庭 下胴へ底	(14.6)		9.7	粗	橙	外面タテヘラケズリ 内面ナデ

和天山天神前遺跡 10号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	円筒	4、5、15 南西堀	(23.2)	厚1.5	12.7		淡黄 2.5Y8/4	ハケ(5~6/1cm)後M2突帯貼付
2	円筒	1 北西堀	(20.0)	厚1.5	(14.5)		淡黄 2.5Y8/4	ハケ(5~6/1cm)後M2突帯貼付
3	円筒	周堀フク 土西堀	(13.0)	厚1.4	(7.6)		黄橙 7.5YR8/6	ハケ(5~6/1cm)後M2突帯貼付
4	円筒	6 E 20 13	(13.0)	厚1.4	(12.3)		浅黄 7.5YR8/4	3とハケ、突帯、底部調整同じ
5	円筒	P-6	(23.4)	厚1.3	(13.2)		橙 2.5Y6/8	直立する器形から形象の基台と思われる、調整丁寧 ハケ(9~10/1cm)、ハケ後、突帯貼付
6	朝顔型	P-1 北堀	(44.6)	厚1.4	(12.0)		黄橙 7.5YR8/6	ハケ8~9本
7	円筒	北墳丘 北東堀	(17.3)	厚1.4	(6.5)		橙 7.5YR7/6	ハケ後突帯貼付 ハケ(5~6/1cm)、内面タテの指ナデ
8	円筒	周堀 フク土	(13.3)	厚1.5		砂粒多	にぶい橙 5YR6/4	外面ハケ後突帯貼付 内面ハケ+指ナデ
9	形象 基台	周堀 フク土	(27.2)	厚1.4	(15.5)		淡黄 2.5Y8/4	外面ハケ(6~7/1cm) 内面部分的に斜ハケ後タテの指ナデ
10	家 堅魚木	周堀 フク土	(8.6)	3.6	厚3.6	C	淡黄 2.5Y8/4	断面円形、棟頂部との接合部に粘土塊
11	家	周堀 フク土	(10.3)	5.2	厚1.7	B	橙 7.5YR7/6	外面以下タテナデ、台1の突帯 内面指ナデ、16の整形に類似
12	家	周堀 フク土	(5.8)	10.2	厚1.3	B	赤橙 5YR7/6	外面以下タテハケ(5/1cm)後M1の突帯 内面指ナデ

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
13	家	周堀 フク土	(6.0)	9.6	厚1.3	C	赤橙 5YR7/6	外面以下ナナメハケ (5/1cm) 後M1の突帯 内面指ナデ後ナナメハケ (7/1cm)
14	家	周堀 フク土						11墳-3-6と接合
15	家	周堀 フク土	(4.8)	6.6	厚1.8	C	7.5YR7/6	外面スカシの部分、縁に突帯表面赤彩、短い単位のハケ、 内面指ナデ
16	盾	周堀フク 土18F-5	(8.8)	18.2	厚1.3	B	7.5YR7/6	2点、外面線刻による鋸歯文、赤彩 内面指ナデ
17	家	東堀 東北堀	(14.0) (3.2)	16.6	厚1.3	C		四柱部、外面タテハケ (8/1cm) 後、横に突帯貼付、その 上に方形スカシ、内面指ナデ後、ナナメの弱いハケ
18	盾	18、西堀 北西堀	(19.6)	11.2	厚1.6	C	赤橙	10点、ナデとハケで調整後線刻による鋸歯文、赤彩をほ どこす
19	盾	北西堀	(5.7)	5.2	厚1.3	C	橙 7.5YR7/6	外面ヨコハケ後タテハケ 内面ナデ後ナナメハケ
20	不明	北西堀	(8.3) (4.7)	3.6 4.2	厚1.7 1.8	B	橙 7.5YR7/6	2点、ナデ、端部にボタン状の貼付、端面赤彩 内面タテハケ
21	形象	北東堀 6E-18	(5.8) (5.2)	7.4 7.2	厚1.2 1.2	C	酸化浅黄橙 10YR8/4	2点、外面ナデ後楕円形の貼付 内面弱いヨコハケ
22	円筒	北西堀 口縁	(6.2)	8.6	厚1.0	C	酸化 にぶい黄橙	外面タテハケ、赤彩 内面ナナメハケ、10YR7/4
23	円筒	北西堀 口縁	(7.8)	8.0	厚1.2	C	酸化 にぶい黄橙	外面タテハケ (4/1cm) 後、三角の突帯、赤彩 内面ナナメハケ、10YR7/4
24	円筒	北西堀 口縁	(5.3)	5.0	厚0.9	C	酸化 橙 7.5YR7/6	外面タテハケ (5/1cm) 後、くずれた三角の突帯、赤彩内 面ナナメハケ
25	円筒	周堀 フク土	(6.4)	5.8	厚1.0	C	酸化 橙 7.5YR6/6	外面タテハケ (5/1cm) 後、M3突帯、赤彩 内面ナナメハケ
26	円筒	周堀 フク土	(6.1)	6.2	厚0.9	C	酸化 7.5YR7/6	24と同一個体、外面タテハケ (5/1cm) 後、M2突帯、赤 彩、内面ナナメハケ
27	形象	周堀 フク土	(5.7)	5.8	厚1.3	C	酸化 にぶい黄橙	外面タテハケ (5/1cm) 後、M3突帯、赤彩 内面ナナメハケ、10YR7/4
28	形象	西堀 P-2	(4.0)	5.5	厚0.9	C	酸化 にぶい黄橙	外面タテハケ (5/1cm)、線刻、赤彩 内面タテの指ナデ、10YR7/4
29	形象	北西堀	(6.8)	7.4	厚1.2	C	酸化 にぶい橙	外面タテハケ (8/1cm)、突帯のナデ部分に赤彩 内面タテの指ナデ、7.5YR7/3
30	形象	北堀	(5.2)	5.8	厚1.3	C	酸化 にぶい橙	外面ヨコハケ、タテに突帯貼付、赤彩 内面タテの指ナデ、7.5YR7/3
31	形象	表土	(6.0)	5.0	厚1.3	B	酸化 にぶい橙	外面タテハケ (5~6/1cm)、赤彩 内面ナデ、一部ナナメハケ、7.5YR7/6
32	形象	西堀	(5.8)	6.0	厚1.3	C	酸化 にぶい橙	外面タテハケ (5~6/1cm)、赤彩 内面弱いナナメハケ、2.5YR6/4
33	形象	表土	(5.6)	5.2	厚0.9	C	酸化 にぶい橙	外面幅2.1cmの突帯、赤彩 内面ナデ、2.5YR6/4
34	円筒	南西堀 口縁	(7.0)	7.8	厚1.3	B	酸化 浅黄 2.5Y8/3	外面タテハケ (5/1cm) 内面ヨコハケ、カマ印 \
35	円筒	西堀 口縁	(4.4)	4.0	厚1.0	B	酸化 橙 5YR7/6	外面タテハケ (5~6/1cm) 内面ナナメナデ、カマ印 \
36	円筒	北西堀 口縁	(4.5)	4.6	厚0.9	B	酸化 橙 5YR7/6	外面タテハケ (5~6/1cm) 内面ナナメハケ、カマ印 /
37	円筒	北西堀 口縁	(3.3)	5.0	厚1.1	B	酸化 橙 5YR7/6	外面タテハケ 内面ナナメハケ、カマ印 /
38	須恵器 高杯	北西堀 脚部	(6.8)		厚0.9	硬	還元 灰白~灰	外面回転痕 内面回転痕
39	須恵器 甕	北西堀 胴部	(6.4)	6.0	厚0.7	硬	還元 灰 5Y5/1	外面平行タタキ、自然釉、上胴部 内面ナデ
40	須恵器 甕	北堀 胴部	(6.2)	6.6	厚0.8	硬	還元 暗灰 5Y6/1	外面平行タタキ、自然釉、上胴部 内面ナデ
41	須恵器 甕	表土	(5.4)	10.0	厚1.3	やや硬 砂粒少	還元 灰 5Y6/1	ナデ後一部にタタキ、下胴部 内面輪積痕を残す
42	須恵器 杯	南西堀	3.1	13.4	7.7	やや軟 粗	還元 灰白 2.5Y8/2	内外面口クロ痕 底面ヘラ切り

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
43	釘	西堀 完	4.4	0.35	0.40	2.4	平釘、中世の混入か

和田山天神前遺跡 11号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 丸胴甕	周堀 口～底	25.5	12.4	5.0	密	酸化 橙	口縁ヨコナデ後タテミガキ、胴～底部ヘラケズリ後タテ ミガキ、内面ヘラナデ、頸部に刺突列
2	土師器 埴	周堀 口～胴	14.0			粗 砂粒多	酸化 黄橙	薄手、丸胴、ヘラナデ後棒状工具によるタテのミガキ頸 部、くの字、ハの字状刺突列
3	埴輪 家	周堀					にぶい橙	16点、本文P141参照、上屋と四注部の破片
4	埴輪 盾	南西堀 破片	(7.1)		厚1.1	粗 C	にぶい黄橙 10YR7/3	外面ナデとハケで整形、線刻による鋸歯文、赤彩 内面指ナデ後ナメハケ
5	埴輪 不明	東南堀 破片	(5.6)	4.0	厚1.5		にぶい橙	幅2.5～3cmの粘土帯を貼付、赤彩
6	埴輪 盾	南西堀	(3.7)	3.3	厚0.9	C	10YR7/3	4と同一個体、ナデ後赤彩
7	埴輪 盾	南堀	(5.6)	5.4	厚0.9	C	にぶい橙 5YR7/4	ハケ後幅1.8cmの突帯貼付 内面指ナデ
8	埴輪 不明	南西堀	(6.2)		厚1.0	C	にぶい橙 7.5YR7/3	外面ハケ、M1突帯貼付、突帯の上端赤彩 内面ナデ
9	朝顔	南西堀	(29.6)	33.0	厚0.8	C	赤橙	太めのハケ (5/1cm)、突帯三角、全体に赤彩 内面ヨコ、ナメのハケ
10	円筒	南西堀 P-1	(10.2)	33.0	厚0.9	C	浅黄 2.5Y7/4	外面ハケ (5/1cm)、M1突帯貼付、8点 内面ナデ後ナメハケ
11	円筒	南西周堀 口縁	(4.7)	6.6	厚0.8	粗砂粒多 C	酸化 赤橙 7.5YR7/6	外面タテハケ (5/1cm) 内面ナメハケ
12	円筒	南西周堀 胴	(6.3)	10.0	厚0.8	砂粒多 C	酸化 赤橙 7.5YR7/6	外面タテハケ (5/1cm) 後三角状突帯貼付 内面指ナデ後口縁部ナメハケ
13	円筒	南周堀 基底部	(4.2)	7.4	厚1.2	砂粒多 C	酸化 にぶい黄橙	外面縦ハケ 内面斜ユビナデ、10YR7/3
14	杯	口～底 1/2	3.4	15.2	8.2	粗	酸化 灰 2.5Y8/1	内外面口クロ痕 底面回転糸切り、6E-20柱穴フク土出土
15	鉢	南周堀 口縁	(4.1)	10.6	1.0	粗	還元 灰白 5Y7/2	内外面口クロ痕 口唇部平滑、稜は使用のため磨耗
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
16	毛抜	南西堀 略完	9.9			19.4	握り部分が折損、咬合部の幅1.3、1.4cm 軸部からみて末広、中世の混入か	
17	釘	周堀フク 土略完	5.1	0.45	0.45	4.3	平釘、脚端欠損 中世の混入か	
18	銭	周堀	2.28	2.29	0.14	3.2	寛永通宝	

和田山天神前遺跡 12号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 杯	略完 P-1	3.3	11.4		密	酸化 橙	内外面ナデ後、外面体部～底部手持ヘラケズリ
2	土師器 杯	P-10 1/3	4.5	18.4		密 砂粒	酸化 橙	内外面ナデ後、外面体部～底部手持ヘラケズリ
3	須恵器 甕	東南周堀 破片	(8.6)	11.2	厚0.8	硬	還元 灰	2点、外面平行タタキ、自然釉 内面青海波文、4と同一個体か
4	須恵器 甕	フク土 破片	(9.0)	8.2	厚1.2	硬	還元 灰	外面平行タタキ、自然釉 内面青海波文、3と同一個体か
5	須恵器 蓋	北西周堀 1/4	(2.8)	(12.7)	鈕部 (4.2)	硬	還元 暗灰	台付短頸壺蓋、天井部水平で隆帯 つまみは台輪状、内面口クロ

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
6	銭	前庭	2.42	2.43	0.13	2.5	乾元重宝

和田山天神前遺跡 13号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 杯	P-1 1/2	3.5	11.6		粗	酸化 にふい橙	内外面ヨコナデ後、外面手持ちヘラケズリ
2	土師器 杯	前庭 口縁	(3.2)	(12.3)		粗	酸化 橙	内外面ヨコナデ後、外面手持ちヘラケズリ
3	かわらけ	玄室 1/4	(2.0)	(8.9)	7.3	粗	酸化 灰	ロクロ整形 被熱赤変し、内面に融着

和田山天神前遺跡 14号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 杯	4 口～ 底1/2	3.0	10.7		粗	酸化 橙	内外面ヨコナデ後、外面手持ちヘラケズリ
2	土師器 杯	前庭 口～体	(2.6)	10.7		粗	酸化 橙	内外面ヨコナデ後、外面手持ちヘラケズリ
3	須恵器 甕	墳丘 胴部	(7.0)		厚1.0	硬 白色砂粒	還元 灰	内外面カキ目
4	須恵器 短頸壺	羨道 口～底	(3.8) (9.8)	8.3	8.0	硬	還元 灰	内外面ロクロ痕、胴部外面ヘラケズリ
5	須恵器 短頸壺	前庭 下胴～底	(8.8) (4.9)	7.8	7.6	硬 白色砂粒	還元 灰	胴部内外面ロクロ痕 底部外面回転ヘラ、口縁2段接合
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
6	紡錘車	北堀略完	4.8	4.3	0.9		蛇紋岩、扁平、側面と上面に放射状のみがき、孔周縁に使用痕	
7	釘	周辺No.2 略完	4.1	0.50	0.40	3.0	平釘、脚端欠損	

和田山天神前遺跡 16号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
1	耳環	玄室	1.85	1.9	0.6		金銅製、胴芯金貼り、中実
2	刀子	石室	5.5			3.8	両端折損、刃幅0.9～1.0cm、棟厚0.2cm、内反り
3	釘	北西墳丘	3.2	0.30	0.35	1.1	頭欠
4	釘	石室	3.3	0.55	0.50	1.4	
5	銭	周堀	2.55	2.55	0.10	3.0	寛永通宝

和田山天神前遺跡 18号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 杯	周堀 略完	6.8	16.0		細	酸化 赤褐	口縁ナデ、体部ナデ後ヘラケズリ
2	土師器 杯	東墳丘 1/4	5.2	13.8		密	酸化明赤褐 2.5YR5/8	口縁くびれナデ、体部ナデ後ヘラケズリ
3	土師器 杯	東堀 1/2	4.2	13.1		密	酸化明赤褐 2.5YR5/8	口縁部内外面ヨコナデ、体部ヘラケズリ
4	須恵器 杯	羨門 略完	4.3	17.4	10.4	密	還元 灰	口縁～体部内外面ロクロ目、底部削出高台 自然釉
5	須恵器 杯	東堀 口～底	3.4	10.5	7.0	粗	還元 明灰	口縁内外面ロクロ目、底部ヘラケズリ
6	須恵器 提瓶	北西堀 頸部	(10.3)			密	還元 明灰	内外面ロクロ目、割れ口は接合痕 自然釉

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
7	鎌	I-10 略完	12.0			10.4	両丸狭鋒長三角形腸扶式、茎端部欠損
8	鎌	I-7 略完	8.2			16.0	3点が錆で固着、2点は略完、1点は茎のみ 両丸広鋒長三角形腸扶式1点と両丸狭鋒長三角形腸扶式1点
9	鎌	I-21 両端欠	7.3			4.2	平造広鋒長三角形腸扶式 鋒、茎を欠損
10	鎌	I-18 両端欠	6.8			3.3	片丸狭鋒長三角形腸扶式 鋒、茎を欠損
11	鎌	玄室茎欠	5.5			8.0	片丸狭鋒長三角形腸扶式、茎欠損
12	鎌	I-20 両端欠	4.9			3.2	片丸広鋒長三角形腸扶式 鋒、茎を欠損
13	釘	I-9 完	6.7	0.45	0.40	3.9	平釘、軸に対してタテ、ヨコ2方向の木質が残る
14	釘	I-10 完	7.0	0.55	0.50	3.1	平釘
15	釘	I-8 完	5.9	0.40	0.50	4.0	平釘、脚端部に別の1本が錆で付着
16	釘	I-22 完	6.2	0.40	0.30	2.4	平釘
17	釘	I-14 頭欠	5.7	0.50	0.45	4.3	平釘か、頭の欠損は新しい
18	釘	脚欠	6.1	0.40	0.40	4.5	平釘、軸は弧状に曲がる
19	釘	I-17 脚欠	4.9	0.40	0.50	2.8	平釘
20	釘	I-4 脚欠	4.7	0.55	0.45	4.4	平釘
21	釘	I-12 脚欠	4.2	0.40	0.40	1.7	角釘
22	釘	I-25 頭欠	4.2	0.30	0.30	1.4	平釘か角釘、木質付着
23	釘	I-16 頭欠	3.0	0.55	0.40	2.5	平釘か角釘
24	釘	フク土 頭欠	3.4	0.35	0.40	1.6	平釘か角釘、軸に対してヨコ方向の木質付着
25	釘	I-3 上部欠	3.4	0.45	0.45	0.8	平釘か角釘、軸中位以上欠損
26	釘	I-2 両端欠	3.1	0.40	0.40	1.3	平釘か角釘、両端欠損
27	鎌	玄室フク 土茎	3.2	0.65	0.40	1.8	茎の一部
28	釘	I-13 脚欠	3.0	0.55	0.35	2.7	平釘
29	釘	I-24 脚欠	2.7	0.40	0.35	1.7	平釘
30	釘	玄室フク 土脚欠	3.1	0.35	0.40	1.3	平釘
31	釘	玄室フク 土脚欠	3.1	0.45	0.40	0.9	平釘
32	釘	I-1 両端欠	2.9	0.45	0.45	1.5	平釘か角釘
33	釘	玄室フク 土両端欠	2.6	0.40	0.35	1.5	平釘か角釘
34	釘	玄室フク 土両端欠	2.7	0.45	0.40	1.2	平釘か角釘
35	釘	I-15 脚欠	2.6	0.40	0.40	1.7	角釘、頭偏平につぶれる
36	釘	I-5 脚欠	2.6	0.50	0.45	1.5	角釘

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
37	釘	I-11 頭欠	2.5	0.40	0.40	0.9	平釘、軸に対してヨコ方向の木質付着
38	釘	I-6 脚欠	2.2	0.45	0.45	1.4	角釘、頭偏平につぶれる
39	釘	玄室フク 土両端欠	2.2	0.45	0.40	1.0	平釘か角釘
40	釘	玄室フク 土頭欠	2.2	0.35	0.30	0.3	平釘か角釘、軸に対してヨコ方向の木質付着
41	釘	玄室フク 土両端欠	1.9	0.30	0.30	0.3	平釘か角釘、軸に対してタテ方向の木質付着

和田山天神前遺跡 19号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 杯	フク土口 ~底1/3	4.6	(14.0)		密	酸化 橙 5YR7/6	内斜口縁、ヘラケズリ 内黒、放射暗文
2	土師器 杯	墳丘 1/4	4.9	(12.6)		密	酸化明赤褐 2.5YR5/8	内湾口縁 口縁ナデ、体部ヘラナデ
3	土師器 杯	羨門 1/4	(3.8)	(12.0)		密	酸化 橙 2.5YR6/6	口縁内湾 ナデ後ヘラケズリ
4	須恵器 提瓶	1 略完	(18.5)		(9.4)	密	還元 淡灰 7.5Y6/1	頸部わずかに外反、肩部ふくらみを持ち、全体にカキ目、 胴部内外面クロ目、自然軸
5	須恵器 提瓶	7 頸~肩	(7.8)			密 硬	還元 灰 7.5Y6/1	頸部直立、2条の刻線 肩部カキ目、刺突列点文
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
6	銭		2.90	2.88	0.21	4.1	銭名不明	
7	金具	東墳丘完	1.90	2.80	0.10	2.6	表面平滑、裏面の両側に2箇所 の折り返しによるため	
8	刀子	破片	3.0	1.00	0.15	2.7	刃部から茎にかけての一部	
9	釘	2、完	8.8	0.60	0.40	5.1	平釘	
10	釘	1、完	5.3	0.50	0.45	1.9	平釘	
11	釘	6、完	5.3	0.50	0.45	2.6	角釘	
12	釘	完	5.1	0.35	0.35	2.5	角釘、頭は打設で偏平、緩いくの字	
13	釘	6、頭欠	5.1	0.30	0.40	2.5	平釘か	
14	釘	3、脚欠	5.1	0.30	0.50	4.0	平釘、No.9と同一タイプ	
15	釘	6、両端欠	5.2	0.35	0.45	3.7	平釘か、No.9と同一タイプか	
16	釘	5、脚欠	4.6	0.35	0.35	2.7	平釘	
17	釘	略完	3.9	0.40	0.40	1.8	平釘、脚端欠損	
18	釘	東堀脚欠	3.7	0.40	0.30	2.7	平釘、緩く曲がる	
19	釘	6、④略完	3.8	0.40	0.35	2.6	平釘、軸に直交して柾目の木質残る	
20	釘	6、⑤頭欠	3.7	0.30	0.30	1.6	平釘か、No.19と同一タイプ、軸に直交して柾目の木質残る	
21	釘	5、②略完	3.5	0.50	0.40	2.7	平釘、No.19と同一タイプ、軸に直交して柾目の木質残る	
22	釘	3、脚欠	3.3	0.45	0.45	3.3	平釘	
23	釘	6、完	2.7	0.35	0.40	0.9	平釘	
24	釘	4、脚欠	2.5	0.80	0.60	2.4	平釘	
25	釘	西堀脚欠	2.5	0.40	0.40	1.1	平釘か、上端に関状の段差	
26	釘	6、脚欠	1.8	0.40	0.45	0.9	平釘	
27	釘	6、両欠	1.8	0.30	0.30	1.1	平釘	

和田山天神前遺跡 20号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 杯	南墳丘 略完	5.3	13.2		粗	酸化 橙	口縁部内外面ヨコナデ、内面放射暗文 体部、底部ヘラケズリ
2	土師器 杯	墳丘前庭 口~底1/4	5.9	13.6		粗	酸化 橙	口縁部内外面ヨコナデ、内面内黒放射暗文 底部ヘラケズリ
3	土師器 杯	3、5 略完	3.1	12.8		粗	酸化 橙	口縁部内外面ヨコナデ 底部ヘラケズリ
4	須恵器 鉢	フク土 下胴~底	(7.4)		12.5	硬	還元 灰	外面回転ヘラナデ、内面使用のために磨耗 底面回転糸切り

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm)			胎土	焼成 色調	成形・整形の特徴
			器高	口径	底径			
5	ガラス 小玉	玄室					淡青色	径 0.4cm
番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重量		
6	鉄	略完	9.7			3.3	ノミヤ式、茎の端部欠損	
7	鉄	No.1 完	9.3			4.2	ノミヤ式	
8	鉄	略完	8.7			2.3	ノミヤ式、茎の端部欠損、鉄身幅0.6cm	
9	鉄	略完	8.6			2.5	ノミヤ式、茎の端部欠損、鉄身幅0.7cm	
10	鉄	両端欠	7.0			2.9	ノミヤ式、鉄身と関以下を欠損	
11	鉄	No.1② 両端欠	6.5			2.7	ノミヤ式、鉄身と茎を欠損	
12	鉄	両端欠	6.4			2.5	ノミヤ式、鉄身と関以下を欠損	
13	鉄	玄室南西 隅両端欠	6.2			2.1	ノミヤ式、鉄身と茎を欠損	
14	鉄		4.4 3.5 5.1			3.9	ノミヤ式、3点錆着、3本とも両端欠損	
15	鉄	両端欠	6.0			2.2	ノミヤ式、鉄身と茎を欠損	
16	鉄	上半部欠	6.0			1.6	ノミヤ式	
17	鉄	玄室南西 隅	5.6 4.8			4.6	ノミヤ式、2点錆着	
18	鉄	上部欠	5.3			1.4	ノミヤ式か	
19	鉄	茎欠	5.6			1.6	ノミヤ式、関以下欠損、鉄身幅0.7cm	
20	鉄	茎欠	5.6			2.4	ノミヤ式、鉄身幅0.75cm	
21	鉄	玄室 両端欠	5.5			5.9	ノミヤ式、鉄身部と茎の端部を欠損	
22	鉄	玄室 両端欠	5.2			2.3	ノミヤ式	
23	鉄	No.1③ 両端欠	5.2			1.9	ノミヤ式	
24	鉄	玄室 両端欠	5.2			2.1	ノミヤ式	
25	鉄	両端欠	4.7			1.3	ノミヤ式	
26	鉄	玄室 両端欠	4.6			3.3	ノミヤ式、鉄身と関以下を欠損	
27	鉄	玄室 両端欠	4.6			3.0	ノミヤ式、鉄身と関以下を欠損	
28	鉄	両端欠	4.3			1.3	ノミヤ式、鉄身と関以下を欠損	
29	鉄	玄室 両端欠	3.9			2.3	ノミヤ式、鉄身と関以下を欠損	
30	鉄	両端欠	3.9			1.6	ノミヤ式、鉄身と関以下を欠損	
31	鉄	両端欠	3.7			1.5	ノミヤ式、鉄身と関以下を欠損	
32	鉄	両端欠	3.6			1.4	ノミヤ式、鉄身と関以下を欠損	

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
33	鎌	両端欠	3.7			1.2	ノミヤ式、鎌身と関以下を欠損
34	鎌	玄室南西 隅両端欠	3.4			1.4	ノミヤ式、鎌身と関以下を欠損
35	鎌	玄室南西 隅両端欠	3.7			1.1	ノミヤ式、鎌身と関以下を欠損
36	鎌	No 1 下半	3.7			1.1	ノミヤ式、筥被以下欠損、鎌身幅0.7cm
37	鎌	下半欠	3.5			0.8	ノミヤ式、筥被以下欠損、鎌身幅0.7cm
38	鎌	両端欠	3.3			1.2	ノミヤ式、片刃鎌の可能性もある
39	鎌	下半欠	3.2			1.5	ノミヤ式、鎌身幅0.9cm
40	鎌	玄室 両端欠	3.0			0.7	ノミヤ式
41	鎌	茎	2.8			0.5	ノミヤ式
42	鎌	茎	2.8			0.7	ノミヤ式
43	鎌	玄室 下半欠	3.0			1.1	ノミヤ式
44	鎌	玄室 下半欠	2.5			1.0	ノミヤ式、鎌身幅0.7cm
45	釘	完	6.4	0.40	0.40	1.9	平釘、頭は巻き込む、脚端欠損、木質付着
46	釘	玄室 完	6.9	0.35	0.30	2.5	平釘、頭は巻き込む
47	釘	玄室頭欠	6.9	0.40	0.25	2.8	平釘か
48	釘	玄室頭欠	5.2	0.30	0.20	1.8	平釘か
49	釘	玄室頭欠	4.8	0.30	0.30	1.6	平釘か
50	釘	玄室略完	4.8	0.30	0.30	2.3	平釘、脚端欠損
51	釘	玄室頭欠	4.9	0.50	0.50	2.7	角釘か、全体にタテ方向の木質付着
52	釘	玄室南西 隅 頭欠	4.6	0.45	0.40	2.2	角釘か、全体にタテ方向の木質付着
53	釘	No 2 完	4.3	0.45	0.45	2.0	角釘か、全体にタテ方向の木質付着
54	釘	略完	4.2	0.45	0.40	1.7	平釘、脚端欠損
55	釘	玄室略完	4.2	0.45	0.30	3.1	平釘、脚端欠損
56	釘	玄室 完	3.8	0.35	0.35	2.8	平釘、頭は巻き込み
57	釘	略完	5.2	0.35	0.35	1.2	平釘、脚端欠損
58	釘	玄室脚欠	3.0	0.35	0.35	1.5	角釘か
59	釘	玄室略完	2.9	0.40	0.40	1.8	平釘、頭は巻き込まれて偏平、脚端欠損
60	釘	玄室脚欠	2.2	0.40	0.40	1.4	平釘、脚端欠損
61	釘	玄室南西 隅 脚欠	2.0	0.40	0.40	1.7	平釘、脚端欠損

和田山天神前遺跡 21号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	土師器 杯	P-8 完	3.3	5.7		細	酸化 橙	口縁部やや内傾、ヨコナデ、内面ナデ 底部手持ちヘラケズリ、口縁油煙付着か
2	須恵器 長頸壺	前庭 2 口～底	(20.0)			硬	還元 灰褐	口～底部内外面ロクロ痕、肩部沈線帯と刺突列点文 高台剥落
3	須恵器 長頸壺	東周堀 口～頸部	(13.0)			硬	還元 灰褐	内外面ロクロ痕、口縁部中位に1条の沈線
4	須恵器 長頸壺	東周堀 底部	9.5× 9.6	厚0.9		硬	還元 灰褐	内外面ロクロ痕、縁辺は故意に打ちかく 3の底部
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重量		
5	釘	玄室 完	6.5	0.35	0.35	3.2	平釘	
6	釘	西墳丘完	6.5	0.50	0.60	7.5	平釘	
7	釘	玄室 完	6.2	0.40	0.40	3.6	平釘	
8	釘	玄室 完	5.8	0.35	0.35	2.5	平釘	
9	釘	北墳丘 略完	5.1	0.45	0.35	4.5	角釘、脚端部欠損、頭やや偏平	
10	釘	玄室略完	4.9	0.45	0.40	2.7	角釘、脚端部欠損、頭偏平	
11	釘	北西墳丘 略完	4.7	0.45	0.45	3.8	角釘、脚端部欠損	
12	釘	玄室床 脚欠	3.9	0.40	0.35	2.1	平釘、脚端部欠損	
13	釘	北墳丘 脚欠	3.8	0.35	0.35	1.6	平釘、脚端部欠損	
14	釘	玄室脚欠	1.9	0.45	0.40	0.8	平釘、軸以下欠損	

和田山天神前遺跡 22号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
1	キセル	玄室カク 乱吸口	4.6	1.0		4.6	銅製、鋳造か

和田山天神前遺跡 23号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
1	釘	石室頭欠	6.3	0.65	0.70	7.6	角釘か平釘、頭はネジ切れている、緩く曲がる

和田山天神前遺跡 24号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	円筒	94、99 110、103 105、109	31.3	24.5	厚1.3	C	橙 2.5YR6/6	3条突帯、ハケ(4/1cm)後、三角状の突帯貼付 内面指ナデ後、3段ナナメハケ
2	円筒	71～75 84、111	34.3	23.6	13.4	B	橙 2.5YR6/8	ハケ(4/1cm)後、台3の突帯貼付、第1段ヘラケズリの まま、内面指ナデ後2段タテハケ、3段ナナメ
3	円筒	17、24、26 28～32、61	25.0	24.4	厚1.8	B	橙 2.5YR6/6	ハケ(4/1cm)後、台3の突帯貼付、カマ印(一〇)、第 1段整形後ヘラケズリ、内面指ナデ後2、3段ナナメハケ
4	円筒	1～4	23.2	21.8	厚1.6	B	橙 2.5YR6/8	2に同じ、カマ印(一〇)
5	円筒	83、85～88 90、97、98 102、109	35.5	25.0	10.8	B	橙 2.5YR6/6	ハケ(5～6/1cm)後、台3の突帯貼付、カマ印(一〇) 第1段ハケ後ヘラケズリ、内面3段ヨコハケ以下ナデ

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
6	円筒	64、65 111	27.0	24.0	厚1.6	B	橙 2.5YR6/6	整形は5に同じ、ハケ(5~6/1cm)カマ印(一〇)
7	円筒	64	28.0		12.0	B	橙 2.5YR6/6	整形は5に同じ、ハケ(5~6/1cm)
8	円筒	11、12、15 18	(21.2)	23.1	厚1.7	B	橙 2.5YR6/8	ハケ(5/1cm)後、台1の突帯貼付 内面指ナデ後、第3段ナメハケ
9	円筒	66、67、70 72	17.0		厚1.7	B	橙 2.5YR6/8	ハケ(4/1cm)後、台3の突帯貼付 内面指ナデ
10	円筒	54~57 63	11.6	13.5	厚1.7	C	橙 2.5YR6/6	ハケ(3/1cm) 内面指ナデ
11	円筒	69~72	16.2	14.4	厚1.9	C	橙 2.5YR6/6	ハケ後台3突帯を貼付、1段ハケ後ヘラケズリ 内面指ナデ後、2段までナメハケ
12	円筒	45、46	17.3		厚1.2	C	橙 2.5YR6/8	ハケ(4/1cm)後、突帯を貼付 内面2~3段ナメハケ、1段指ナデ
13	円筒	4、73、77 78	13.5	16.0	厚1.0	C	橙 2.5YR6/8	ハケ(4/1cm)後、台3突帯貼付 内面2~3段ナメハケ
14	円筒	71	18.3		厚1.1	C	橙 2.5YR6/8	ハケ(7/1cm)後、台3突帯貼付、内面指ナデ後、2~3 段ナメハケ、透孔にかかるカマ印
15	円筒	36	7.0		厚1.2	C	橙 2.5YR6/8	ハケ(7~8/1cm)後、突帯貼付 カマ印(一〇)、内面ナメハケ
16	円筒	フク土	7.0		厚1.4	C	橙 2.5YR6/8	ハケ、内面ナメハケ カマ印(一〇)
17	円筒	北西堀 フク土	7.5		厚1.3	C	橙 2.5YR6/8	ハケ(4~5/1cm)、M1突帯、内面ナメハケ カマ印(一〇)
18	須恵器 甕	フク土 胴	11.5		厚0.8	硬	還元 灰	外面平行タタキ 内面同心円当目
19	須恵器 甕	周堀 胴部	8.0		厚0.8	硬	還元 灰	外面平行タタキ、内面青海波文
20	須恵器 甕	周堀 胴部	4.0		厚0.7	硬	還元 灰	外面平行タタキ、内面青海波文
21	須恵器 甕	フク土 上胴部	2.7		厚0.6	硬	還元 灰	外面平行タタキ、2条のカキ目あり、内面青海波文
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重量		
22	鎌	玄室 鎌身欠	10.7			9.8	腸袂式、筥被5.0、莖4.6cm 莖にタテ方向の木質付着	
23	釘	両端欠	2.9	0.45	0.40	1.6		
24	釘	脚欠 玄室	2.5	0.40	0.35	0.9	平釘	
25	鎌	莖の一部 玄室	2.4	0.40	0.20	0.9	筥被の一部	

和田山天神前遺跡 25号古墳出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	円筒	23、24、27 30	(14.2)	(24.0)	厚1.2	C	橙 5YR6/8	外面ハケ(5/1cm)後、M2突帯 内面指ナデ後、3段にタテハケ
2	円筒	6、15	(13.7)	(19.8)	厚1.4	C	橙 5YR6/8	外面ハケ(4/1cm)後、M1突帯 内面指ナデ後、2~3段にナメハケ
3	円筒	1、2	(14.7)	(20.9)	厚1.5	C	橙 5YR6/8	2に同じ
4	円筒	37、38	(10.4)	(23.0)	厚1.3	C	橙 5YR6/8	外面ハケ(5/1cm)後、M1突帯 内面指ナデ後、2~3段ナメハケ
5	円筒	40、50、51 54	(10.5)	(25.5)	厚1.3	C	橙 5YR6/8	外面ハケ(5/1cm)後、M3突帯 内面指ナデ、3段ナメハケ
6	円筒	14、22、24 25、28~ 30、44	(20.5)	12.0	厚1.6	C	橙 5YR6/8	外面ハケ(4/1cm)後、M2突帯 内面指ナデ、2~3段ハケ

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
7	円筒	18~21 23	(21.3)	13.5	厚1.5	C	橙 5YR6/8	外面ハケ (5/1cm)、M1突帯、底部幅4cm以上の板状のタタキ調整、内面指ナデ、2~3段ハケ
8	円筒	78	(18.5)	(23.0)	厚1.3	C	橙 5YR6/8	外面ハケ (4/1cm) 後、M2突帯 内面指ナデ、2~3段タテハケ
9	円筒	16	(11.2)		厚1.3	C	橙 5YR7/8	外面ハケ (5/1cm) 後、M2突帯を貼付 内面指ナデ、カマ印
10	円筒	7~9、 11	(7.7)		厚1.4	C	橙 5YR6/8	外面ハケ (4/1cm) 後、M1突帯 内面指ナデ、ハケ
11	円筒	11、17 底部	(7.6)	(7.7)	厚1.8	C	橙 5YR6/8	外面ハケ (5/1cm)、幅4cm以上の板状タタキ調整 内面指ナデ、底部補強の粘土帯
12	家	P-56 四柱部	13.7	幅 12.5	厚1.6	C	橙 5YR6/6	四柱部の破片、隅に近く、わずかに丸みを持つ、外面ハケ (3~4/1cm)、内面指ナデ、一部に消し忘れのハケ
13	家	P-55 壁	6.5	幅 11.3	厚1.2	C	橙 5YR6/6	壁体部の破片、上端に横長の透孔か窓を表現 表面にハケと楕円形の剥落痕、内面ナデ
14	家	フク土 四柱部	5.6	幅7.2	厚1.3 ~1.5	C	橙 5YR6/6	四柱部の破片、右側に透孔の切り口がある 外面ハケ (5/1cm)、内面ナデ後弱いハケ
15	馬	P-54	5.7	幅7.2	厚1.1 ~1.4	C	橙 5YR6/6	前輪か後輪のいずれか一部、胴部の接合部で剥離している
16	馬	石室フク 土	3.7 6.3	2.7 3.1	0.5 0.5		橙	2点あり、同一個体の帯金具、重ねた紐を鉋止めの表現をしている
17	馬	45~49 52	15.2	幅 15.5	厚1.6	C	赤褐色 5YR6/6	後右足から尻の破片、外面ハケ (4/1cm) 内面指ナデ一部にナナメハケ
18	馬	P36、74	(20.0)		厚1.6 ~1.9	C	橙 5YR6/6	左脇腹の破片 外面ハケ (5/1cm)、内面タテハケ (5/1cm)
19	馬	P51、57 53	(7.0)					足の一部、厚手、17と同一個体か、外面タテハケ、内面ナデと一部にハケ
20	人物	首 フク土	(2.5)		厚1.1	B	橙 5YR6/6	丸玉が密に4個つけられている、2個は剥落 タテハケあり
21	須恵器 甕	80、100 口~上胴	(8.4)	(25.2)		硬 微砂粒	還元 灰	口縁部内外面ロクロ痕、外面上下1条の沈線間に波状文、 胴部外面平行タタキ後カキ目、内面青海波文
22	須恵器 甕	フク土 下胴	19.6		厚1~ 1.2	硬 砂粒多	還元 灰	外面ヘラナデ 内面ヘラケズリ
23	須恵器 甕	85 下胴	9.5		厚1~ 1.5	硬 微砂粒	還元 灰	外面平行タタキ 内面青海波文、底部接合帯はヘラケズリ
24	須恵器 甕	84 底部	(15.8)		厚 1.5	硬 微砂粒	還元 灰	23と同一個体、外面平行タタキ 内面ヘラケズリ
25	須恵器 甕	周堀フク 土胴	(3.4)		厚0.8	硬 微砂粒	還元 灰	外面平行タタキ 内面青海波文、上胴部
26	須恵器 提瓶	77 胴	(23.9)	10.5	厚0.9	硬 白色粒	還元 灰	外面カキ目 内面ロクロ痕、小口粘土板接合痕
27	須恵器 提瓶	東南周堀 胴	(4.4)		厚0.7	硬 微砂粒	還元 灰	外面カキ目 内面ロクロ痕、割れ口は粘土板接合部
28	須恵器 甕	周堀フク 土胴	(3.9)		厚1.5	硬 黒色粘	還元 黒灰	外面自然釉、沈線間に刺突列点文 内面ナデ
29	土師器 甕	周堀、87 口~底1/3	14.8	16.0		粗 白色粒多	橙 7.5YR6/6	丸胴、口縁ナデ 胴部ナデ後ヘラナデ、底部作り出し
30	人物	周堀、88 94	9.3		厚1.6	片岩多 C	橙 5YR6/6	裾から基台、裾はハケ (5/1cm) 後に貼付、断面三角 内面はナデ
31	馬	72	(18.4)		厚1.6	C	橙	右の首から胸繫の部分、耳の後ろにまわる手綱は幅1.5 cm、胸繫は幅3cm近い粘土板、上に鈴とおもわれる剥離痕
32	円筒	81	(9.1)	22.0	厚1.1	C	橙 5YR8/6	外面ハケ (4/1cm) 後、M2突帯 内面指ナデ、3段タテハケ
33	円筒	92	(8.5)	(19.3)	厚1.2	C	橙	外面ハケ (4/1cm) 後、M2突帯 内面指ナデ、3段ナナメハケ
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重量		
34	鎌	東南堀 茎欠	7.0				両丸広鋒腸扶式	
35	釘	東北堀 略完	12.3	0.65	0.65	23.8	脚端欠	

和田山天神前遺跡 25号古墳（町道）出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	円筒	口縁	10.8		厚1.1	C	橙 5YR7/6	外面ハケ (4/1cm) 後、突帯貼付、突帯剥落 内面指ナデ後、ナナメハケ
2	円筒	口縁 口唇部欠	4.1		厚1.1	C	橙 5YR7/6	外面ハケ (4/1cm) 内面指ナデ後、やや密にナナメハケ
3	円筒	口縁	9.7		厚1.1	C	橙 5YR7/6	外面ハケ 内面ヨコハケ
4	円筒	口縁	6.4		厚1.1	C	橙 5YR7/6	外面ハケ 内面ナナメハケ後、口唇部ヨコナデ
5	円筒	胴部	8.0		厚1.2	C	橙 5YR7/6	外面ハケ (4/1cm) 後、M1の突帯 内面指ナデ
6	円筒	胴部	6.7		厚1.2	C	橙 5YR7/6	外面ハケ (4/1cm) 後、M1の突帯 内面指ナデ後、ナナメハケ
7	円筒	基底部	10.8		厚1.7	B	橙 5YR7/6	外面ハケ (10~12/1cm) 内面指ナデ
8	円筒	基底部	8.0	13.1	厚2.0	B	橙 5YR7/6	外面ハケ (8/1cm) 内面指ナデ
9	人物	左半身	19.7		厚1.4	C	橙 5YR7/6	男子立像、腰に幅3.5cmの粘土帯をめぐらす 10はその一部とおもわれる
10	人物	大刀	9.7	幅3.3	厚1.1	B	橙 5YR7/6	男子立像の大刀 か、カマ
11	人物	頭部	8.2		厚10~ 11 ^{1/4}	C	にぶい橙	男子像の頭部、振り分け髪とおもわれる剥落痕
12	人物	首~頭部	7.3		厚1.7	B	橙	首飾りとおもわれる剥落痕、11に近い型式か
13	人物	左脇~胸	17.0		厚1.3	C	にぶい橙 5YR7/4	ナデ後、胸側は粗いハケ、背は細かいハケ 内面指ナデ、腕の接合部にかかる隆起あり
14	人物	首	3.8		厚1.6	B	5YR7/8	ハケ後、細い粘土紐をめぐらし、ボタン状の貼付
15	家	堅魚木	縦6.3	横3.2	2.0	C	5YR7/4	断面台形、指頭痕を残す
16	馬	面繫	12.4	8.6	10.1	B	にぶい橙 5YR7/4	鼻先部分、立間に環状
17	馬	鞍 障泥	縦6.4	横8.9	1.7	A	橙 5YR7/8	下端の隅の部分、厚い粘土紐で作る、縁に細い粘土紐を 貼り、紐とじの刺突列がめぐる
18	馬	鞍 前輪	6.4	3.4	3.5	B	橙 5YR7/8	前輪か後輪の一部、片面にハケ
19	馬	尻	縦 10.0	横9.2	1.3	A	橙 5YR6/6	尻についた三環鈴、環状に粘土紐をめぐらし、その上か ら3ヶ所に鈴をつける
20	馬	鈴	2.9	2.5	2.8	B	橙 5YR7/6	首か19についた鈴
21	馬	足	18.1		1.1~ 1.4	B	橙 5YR7/6 ~7/8	左後足のつけ根、外面ハケ (/1cm) 内面タテの指ナデ
22	馬	足か尻	10.6		厚1.2	B	橙 5YR7/6 ~7/8	後足のつけ根から尻にかけての破片 外面ハケ (8/1cm)、内面ナデ後ハケ斜交
23	円筒	胴部	8.4		1.3	B	橙 5YR7/6 ~7/8	外面ハケ (7-8/1cm) 内面タテの指ナデ
24	円筒	基底部	9.0		1.6	B	橙 5YR7/6 ~7/8	23に同じ
25	馬	足	縦8.3	横 12.2	1.3	B	橙 5YR7/6 ~7/8	23に同じ
26	馬	足	15.5		1.4	B	橙 5YR7/6 ~7/8	23に同じ
27	馬	足	11.7		1.7	B	橙 5YR7/6 ~7/8	23に同じ、ひづめの切込みあり
28	馬	足	6.0		1.6	B	橙 5YR7/6 ~7/8	23に同じ

和天山天神前遺跡 1号建物出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm, g)				胎土	焼成 色調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量			
1	軒丸瓦	174 略完	32.3	13.2	1.9	1980.0	微砂	良 青灰	三巴文、面径11.2cm、瓦当貼付 外面ナデ、内面布目、端部ヘラ切
2	軒丸瓦	82 略完	33.6	14.4	2.1	2260.0	微砂	良 青灰	三巴文、面径11.3cm、瓦当貼付 外面ナデ、内面布目、端部ヘラ切
3	軒丸瓦	16 略完	29.6	12.6	2.1	1820.0	微砂	良 青灰	三巴文、面径10.8cm、瓦当貼付 外面ナデ、内面布目、端部ヘラ切
4	軒丸瓦	180-1 瓦当面半欠	31.2	12.6	1.8	1840.0	微砂	良 青灰	瓦当部剥落、瓦当貼付 外面ナデ、内面布目、端部ヘラ切
5	軒丸瓦	30、170 193、196 180-1略完	32.1	13.2	2.0	2080.0	微砂	良 青灰	三巴文、面径11.8cm、瓦当貼付 面ナデ、内面布目、端部ヘラ切
6	軒丸瓦	109、168 180-1略完	32.0	13.6	2.2	2120.0	微砂	良 青灰	三巴文、面径12.2cm、瓦当貼付 外面ナデ、内面布目、端部ヘラ切
7	軒丸瓦	瓦4 瓦当面欠	31.9	13.7	1.8	1780.0	微砂	良 青灰	外面縄目タタキ後ナデ、内面布目 外面ナデ、内面布目、端部ヘラ切
8	軒丸瓦	152、177 180-1破片	16.2	12.1	2.2	800.0	微砂	良 灰	三巴文、面径12.0cm、瓦当貼付 外面ナデ、内面布目、端部ヘラ切
9	軒丸瓦	184 180-1破片	9.1	8.4	2.1	290.0	微砂	良 橙灰	三巴文、推定面径11.0cm、瓦当貼付 外面ナデ、内面布目、端部ヘラ切
10	軒丸瓦	110 破片				80.0	微砂	良 灰	三巴文、推定面径11.2cm、瓦当貼付
11	丸瓦	83 完	31.2	13.6	1.9	1880.0	微砂	良 青灰	外面タタキ後ナデ、内面布目、端部ヘラ切
12	丸瓦	24、115、 159、231、 180-1略完	32.7	13.3	1.9	1400.0	微砂	良 青灰	外面タタキ後ナデ、内面布目、端部ヘラ切
13	丸瓦	46、148 164、2/3	25.7	13.6	1.9	1060.0	微砂	良 灰黒	外面縄目タタキ、端部ヘラ切
14	丸瓦	100、101 102、180 -1、1/2	21.7	14.4	2.0	1020.0	微砂	良 橙灰	外面縄目タタキ、端部ヘラ切
15	軒丸瓦	22、33 113、202 1/2	28.0	16.8	2.4	1680.0	微砂	良 青灰	陽刻下向剣頭文、内外面ナデ、端部ヘラ切
16	軒丸瓦	178、180 -1、瓦1、 瓦8 2/3	30.0	21.3	2.1	1400.0	微砂	良 灰黒	陽刻下向剣頭文、内外面ナデ、端部ヘラ切
17	軒丸瓦	197 1/3	13.8	22.8	2.4	1430.0	微砂	良 青灰	陽刻下向剣頭文、内外面ナデ、端部ヘラ切
18	軒丸瓦	97 1/3	15.7	22.9	1.6	1120.0	微砂	良 灰黒	陽刻下向剣頭文、内外面ナデ、端部ヘラ切
19	軒丸瓦	234、257 18N-1、1/4	10.1	22.4	2.2	720.0	微砂	良 灰黒	陽刻下向剣頭文、内外面ナデ、端部ヘラ切
20	軒丸瓦	87 破片	5.3	9.8	4.7	200.0	微砂	良 灰黒	陽刻下向剣頭文、内外面ナデ、端部ヘラ切
21	軒丸瓦	88 破片	6.6	11.5	1.5	200.0	微砂	良 灰黒	陽刻下向剣頭文、内外面ナデ、端部ヘラ切
22	軒丸瓦	33 破片	6.3	11.7	2.7	300.0	微砂	良 灰黒	陽刻下向剣頭文、内外面ナデ、端部ヘラ切
23	平瓦	176 略完	32.1	21.5	2.4	2680.0	微砂	良 青灰	内外面ナデ、端面ヘラ切
24	平瓦	64 略完	32.0	21.7	1.7	2360.0	微砂	良 青灰	内外面ナデ、端面ヘラ切
25	平瓦	73 略完	32.5	21.5	2.5	2840.0	微砂	良 青灰	内外面ナデ、端面ヘラ切
26	平瓦	164、182 略完	33.0	21.4	1.8	1920.0	微砂	良 青灰	内外面ナデ、端面ヘラ切
27	平瓦	81、128、137 140、略完	31.7	29.0	2.3	2280.0	微砂	良 青灰	内外面ナデ、端面ヘラ切

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				胎 土	焼 成 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
28	平瓦	52、瓦5 略完	32.8	21.0	1.7	2040.0	微砂	良 青灰	内外面ナデ、端面ヘラ切
29	平瓦	122、219 2/3	31.6	20.0	2.1	1560.0	微砂	良 灰黒	内外面ナデ、端面ヘラ切
30	平瓦	61、62 2/3	32.5	20.1	1.9	1500.0	微砂	良 青灰	内外面ナデ、端面ヘラ切
31	平瓦	12、14 43、2/3	23.9	21.3	2.2	1900.0	微砂	やや軟 青灰	内外面ナデ、端面ヘラ切
32	平瓦	103、222 223、2/3	20.2	20.4	2.0	1480.0	微砂	やや軟 青灰	内外面ナデ、端面ヘラ切
33	平瓦	94、95 略完	33.2	23.3	2.2	2220.0	微砂	良 青灰	外面ナデ、内面格子目、端面ヘラ切
34	平瓦	224 破片	20.7	17.0	2.5	1000.0	微砂	良 灰	外面ナデ、内面格子目、端面ヘラ切
35	のし瓦	29、49 完	32.3	11.0	2.0	1200.0	微砂	良 黒灰	平瓦を半截、内外面ナデ、端面ヘラ切
36	のし瓦	29、195 180-1、2/3	24.8	11.4	2.3	1100.0	微砂	良 灰黒	平瓦を半截、内外面ナデ、端面ヘラ
37	のし瓦	17 2/3	20.1	11.6	2.5	1000.0	微砂	良 灰黒	平瓦を半截、内外面ナデ、端面ヘラ
38	のし瓦	187、180 -1、2/3	21.3	11.0	2.4	940.0	微砂	良 灰黒	平瓦を半截、内外面ナデ、端面ヘラ
39	のし瓦	44、129 2/3	24.2	11.1	2.2	980.0	微砂	良 褐灰	平瓦を半截、内外面ナデ、端面ヘラ
40	のし瓦	156、180 2/3	24.1	10.6	2.4	920.0	微砂	良 灰黒	平瓦を半截、内外面ナデ、端面ヘラ
41	のし瓦	37 1/2	16.3	12.4	2.4	760.0	黒色粒	良 青灰	平瓦を半截、内外面ナデ、端面ヘラ
42	のし瓦	瓦3 1/2	16.1	11.5	2.5	720.0	黒色粒	良 青灰	平瓦を半截、内外面ナデ、端面ヘラ
43	面戸瓦	192、194 完	8.5	14.0	1.8	480.0	黒色粒	良 青灰	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
44	面戸瓦	239 完	9.7	13.5	2.0	520.0	微砂	良 青灰	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
45	面戸瓦	198 略完	8.2	12.4	2.0	460.0	微砂	良 青灰	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
46	面戸瓦	20、247 略完	12.9	8.2	2.1	380.0	黒色粒	良 灰	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
47	面戸瓦	253、276 略完	8.3	14.5	2.1	400.0	微砂	良 橙灰	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
48	面戸瓦	242、180 -1、2/3	9.1	10.7	2.1	320.0	微砂	良 灰黒	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
49	面戸瓦	166、180 -1、2/3	8.7	11.4	1.9	340.0		良 青灰	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
50	面戸瓦	23 1/2	7.4	8.8	2.6	220.0	砂粒	良 青灰	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
51	面戸瓦	185 1/2	8.6	7.8	1.9	220.0	微砂	良 橙灰	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
52	面戸瓦	16 1/2	7.4	8.7	1.9	180.0	微砂	良 青灰	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
53	面戸瓦	175 完	13.6	8.8	1.9	400.0	微砂	良 褐灰	丸瓦の截断、外面縄目タタキ、内面布目 端面ヘラ切
54	面戸瓦	179 完	8.2	12.9	2.2	420.0	微砂	良 灰	丸瓦の玉縁を截断、内外面ナデ、端面ヘラ切
55	面戸瓦	100 1/2	8.9	10.0	1.7	300.0	微砂	良 青灰	丸瓦の玉縁を截断、内外面ナデ、端面ヘラ切
56	面戸瓦	245、261 1/2	8.7	8.7	1.7	160.0	黒色粒	良 青灰	丸瓦の玉縁を截断、内外面ナデ、端面ヘラ切
57	面戸瓦	262 破片	7.0	6.2	1.9	100.0	黒色粒	良 青灰	丸瓦の玉縁を截断、内外面ナデ、端面ヘラ切

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
58	鬼瓦	13、139 225、251	62.0	68.0	5.0		黒色粒 良 灰	型作り	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	
			器高	口径	底径				
59	鉢	189 底部	6.0		13.6		還元 灰	底部回転糸切、内面摩耗で光沢あり	
60	甕	155 胴部	12.5				還元 灰	外面平行タタキ、内面青海波文、下端部摩耗	
61	鏡							蓬萊双雀鏡、面径10.8cm、外縁高0.7cm、重量124.0g 懸仏に転用、鏡面ほぼ水平、錆上がり良好	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴		
			長さ	幅	厚さ	重 量			
62	釘	N-1 脚欠	11.5	0.5	0.9	11.3	平釘		
63	釘	O-1 完	11.2	0.5	0.6	7.3	平釘		
64	釘	O-1 完	10.8	0.6	0.6	9.5	平釘		
65	釘	N-1 完	10.4	0.6	0.7	12.0	平釘		
66	釘	O-1 脚欠	9.5	0.8	0.7	13.8	平釘		
67	釘	O-1 両欠	9.6	0.6	0.5	12.8			
68	釘	N-1 脚欠	8.1	0.6	0.6	10.8	平釘		
69	釘	N-1 完	8.7	0.6	0.5	8.9	平釘		
70	釘	N-1 脚欠	8.4	0.7	0.8	13.9	平釘		
71	釘	N-1 脚欠	7.8	0.6	0.6	10.9	平釘		
72	釘	O-1 完	8.5	0.8	0.5	14.3	平釘		
73	釘	N-1 頭欠	8.4	0.7	0.7	12.6	平釘		
74	釘	O-1 両欠	9.2	0.9	0.7	14.7	平釘		
75	釘	N-1 脚欠	7.8	0.5	0.8	6.9	平釘、くの字屈折		
76	釘	O-1 脚欠	8.0	0.7	0.7	13.5	平釘、S字屈折		
77	釘	O-1 脚欠	7.2	0.4	0.6	7.6	平釘、緩い屈折		
78	釘	N-1 両欠	7.6	0.5	0.5	5.4	緩いくの字		
79	釘	O-1 脚欠	7.3	0.5	0.5	6.0	平釘、緩い弧状		
80	釘	O-1 脚欠	7.5	0.4	0.4	5.8	平釘		
81	釘	O-1 両欠	6.6	0.7	0.5	6.3			
82	釘	O-1 完	7.1	0.6	0.5	1.9	平釘		
83	釘	O-1 脚欠	6.7	0.6	0.6	7.7	平釘		
84	釘	O-1 頭欠	7.2	0.5	0.4	4.3			
85	釘	N-1 脚欠	7.1	0.6	0.7	8.9	平釘		

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
86	釘	O-1 脚欠	5.3	0.6	0.6	6.0	角釘
87	釘	O-1 脚欠	6.2	0.7	0.7	5.9	平釘
88	釘	O-1 脚欠	5.1	0.7	0.6	6.9	平釘
89	釘	O-1 脚欠	4.8	0.6	0.4	5.7	平釘
90	釘	N-1 完	4.3	0.5	0.5	5.1	平釘
91	釘	N-1 脚欠	3.8	0.5	0.4	6.4	平釘
92	釘	O-1 脚欠	3.8	0.5	0.9	6.7	平釘
93	釘	O-1 脚欠	3.9	0.7	0.7	8.0	平釘
94	釘	O-1 脚欠	5.0	0.6	0.6	6.9	平釘
95	釘	O-1 脚欠	3.3	0.7	0.7	3.8	平釘
96	釘	O-1 脚欠	4.0	0.6	0.4	3.8	平釘
97	釘	O-1 脚欠	3.0	0.6	0.5	2.5	平釘
98	釘	O-1 完	4.3	0.4	0.3	3.5	鑄でY字形に肥厚
99	釘	O-1 完	6.5	0.5	0.4	5.8	平釘
100	釘	O-1 完	6.2	0.6	0.5	3.1	平釘
101	釘	O-1 完	6.2	0.6	0.5	2.5	平釘
102	釘	O-1 脚欠	6.1	0.5	0.4	3.1	平釘
103	釘	N-1 脚欠	5.2	0.5	0.4	4.0	平釘
104	釘	O-1 脚欠	5.3	0.5	0.4	2.5	平釘
105	釘	N-1 頭欠	4.9	0.5	0.4	2.3	平釘か
106	釘	O-1 略完	4.7	0.4	0.4	2.2	角釘
107	釘	O-1 完	4.9	0.4	0.4	1.3	管状
108	釘	N-1 脚欠	3.8	0.5	0.5	3.0	平釘
109	釘	O-1 脚欠	3.8	0.6	0.5	3.7	平釘
110	釘	O-1 脚欠	4.0	0.6	0.6	2.6	平釘
111	釘	O-1 脚欠	3.8	0.5	0.6	3.0	平釘
112	釘	O-1 脚欠	4.9	0.4	0.4	1.6	平釘
113	釘	O-1 脚欠	3.6	0.5	0.4	2.2	平釘
114	釘	O-1 脚欠	4.2	0.5	0.6	2.6	平釘
115	釘	O-1 脚欠	3.8	0.4	0.5	1.4	平釘

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
116	釘	O-1 完	3.8	0.5	0.4	1.4	平釘
117	釘	O-1 脚欠	3.9	0.3	0.3	1.3	平釘
118	釘	O-1 完	3.3	0.4	0.4	1.3	平釘
119	釘	O-1 脚欠	3.2	0.5	0.5	2.3	平釘
120	釘	O-1 脚欠	3.3	0.4	0.4	2.0	平釘
121	釘	O-1 頭欠	4.0	0.3	0.3	1.3	平釘か
122	釘	O-1 脚欠	3.7	0.3	0.3	2.0	平釘
123	釘	O-1 両端欠	3.9	0.5	0.5	1.9	
124	釘	O-1 両端欠	3.0	0.5	0.4	1.0	平釘
125	釘	O-1 頭欠	3.1	0.5	0.6	2.5	
126	釘	N-1 脚欠	3.5	0.5	0.5	2.1	平釘
127	釘	N-1 略完	3.4	0.5	0.4	1.3	平釘
128	釘	O-1 頭欠	3.6	0.4	0.4	1.6	
129	釘	N-1 頭欠	3.1	0.3	0.3	0.8	
130	釘	O-1 略完	3.3	0.3	0.3	3.8	2本以上の釘が錆付着
131	釘	O-1 略完	7.5	0.3	0.3	4.6	金具か
132	釘	O-1 脚端欠	3.9	0.3	0.3	1.6	平釘
133	釘	105 完	14.2	1.0	0.6	23.4	平釘、断面方形
134	釘	104 完	8.6	0.6	0.6	7.8	平釘
135	釘	106 脚端欠	8.4	0.3	0.5	5.1	平釘
136	釘	154 脚端欠	6.2	0.5	0.7	5.1	平釘

和田山天神前遺跡 2号建物出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm, g)				胎土	焼成調 色	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量			
1	軒丸瓦	504 瓦当部	10.8	13.7	5.9	920.0	砂粒	良 黒灰	三巴文、丁寧なナデ、墨痕あり
2	軒丸瓦	フク土 瓦当部	5.1	11.9	2.5	320.0	微砂	良 黒灰	三巴文、丁寧なナデ
3	軒丸瓦	18N-1 瓦当部	11.3	10.7	1.7	300.0	微砂	良 黒灰	三巴文、丁寧なナデ、内面布目、瓦当貼付
4	軒丸瓦	215 瓦当部	15.8	7.2	2.4	420.0	微砂	良 黒灰	外面ナデ、内面布目、瓦当貼付
5	軒丸瓦	397 瓦当部	2.1	5.5	1.9	20.0	微砂	良 黒灰	三巴文
6	軒丸瓦	フク土 瓦当部	4.2	4.6	0.6	20.0	微砂	良 黒灰	三巴文
7	軒丸瓦	507 瓦当部	10.4	11.6	2.1	420.0	微砂	良 青灰	外面ナデ、内面布目、瓦当貼付

番号	器 種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
8	軒丸瓦	フク土 瓦当部	8.5	9.9	2.6	240.0	微砂	良 灰黒	外面ナデ、内面布目、瓦当貼付
9	軒丸瓦	78 瓦当部	7.0	7.2	2.8	140.0	微砂	良 灰黒	外面ナデ、内面布目、瓦当貼付
10	軒丸瓦	281 瓦当部	3.9	7.1	2.5	80.0	微砂	良 灰黒	接合部破片
11	軒丸瓦	321 破片	3.9	4.9	2.6	40.0	微砂	良 黒灰	接合部破片
12	軒丸瓦	359 瓦当部	7.4	10.6	2.9	300.0	微砂	良 灰	外面ナデ、内面布目、瓦当貼付
13	軒丸瓦	235 瓦当部	15.8	11.0	2.9	620.0	微砂	良 黒灰	外面ナデ、内面布目、瓦当貼付
14	軒丸瓦	101、18 K-6表土	25.3	11.8	2.1	940.0	微砂	良 黒灰	外面ナデ、内面布目、瓦当貼付
15	丸瓦	108 略完	38.4	15.0	2.6	2480.0	微砂	良 青灰	外面縄目タタキ、内面布目、端部ヘラ切
16	丸瓦	58、169 1/3	23.8	12.9	2.2	960.0	微砂	良 黒灰	外面縄目タタキ、内面布目、端部ヘラ切
17	丸瓦	151、209 1/3	19.2	13.0	2.0	760.0	微砂	良 黒灰	外面縄目タタキ、内面布目、端部ヘラ切
18	丸瓦	58、350 526、1/3	26.4	9.8	2.0	700.0	微砂	良 灰	外面縄目タタキ、内面布目、端部ヘラ切
19	丸瓦	512、521 1/3	25.7	11.3	2.3	620.0	微砂	良 暗灰	外面縄目タタキ、内面布目
20	丸瓦	99、126 破片	7.4	11.7	2.0	260.0	微砂	良 灰	外面縄目タタキ、内面布目、端部ヘラ切
21	丸瓦	300 破片	8.6	9.3	2.3	200.0	微砂	良 黒灰	外面ナデ、内面布目、端部ヘラ切
22	軒平瓦	46、47、89 228、瓦当 部2/3	11.9	16.8	2.4	680.0	微砂	良 黒灰	陰刻下向剣頭文、外面ナデ、内面格子目 瓦当貼付
23	軒平瓦	瓦当部 1/2	12.1	13.0	1.8	530.0	微砂	良 黒灰	陰刻下向剣頭文、内外面ナデ、瓦当貼付
24	軒平瓦	59、瓦当 部1/3	6.5	11.9	1.7	280.0	微砂	良 黒灰	陰刻下向剣頭文、内外面ナデ、瓦当貼付
25	軒平瓦	159、瓦当 部1/3	3.4	10.4	2.1	180.0	微砂	良 黒灰	陰刻下向剣頭文、内外面ナデ、瓦当貼付
26	軒平瓦	フク土、 瓦当部 1/4	3.7	8.5	2.2	120.0	微砂	良 黒灰	瓦当部破片
27	軒平瓦	フク土 破片	5.2	5.2	2.4	100.0	微砂	良 黒灰	瓦当部破片
28	軒平瓦	19 破片	2.9	6.6	108	60.0	微砂	良 黒灰	瓦当部破片
29	軒平瓦	フク土 破片	2.8	3.2	2.1	20.0	微砂	良 黒灰	瓦当部破片
30	平瓦	86、118 122、128 略完	34.1	24.5	2.2	3020.0	微砂	良 黒灰	内面ナデ、端面ヘラ切
31	平瓦	120 1/2	18.2	24.7	2.2	1500.0	微砂	良 黒灰	内面ナデ、端面ヘラ切
32	平瓦	244、486	31.7	20.9	2.2	1980.0	微砂	良 灰	外面布目、部分的にナデ、内面格子目後ナ デ、端面ヘラ切
33	平瓦	略完	31.2	20.0	1.9	1900.0	微砂	良 黄灰	外面タタキ後ナデ、内面格子目タタキ、端面ヘ ラ切
34	平瓦	53 2/3	33.6	16.3	2.1	1920.0	微砂	良 青灰	外面タタキ後ナデ、内面格子目タタキ、端面ヘ ラ切
35	平瓦	破片	28.8	17.3	2.2	1620.0	微砂	良 黒灰	外面タタキ後ナデ、内面格子目タタキ、端面ヘ ラ切

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
36	平瓦	90 破片	21.4	17.0	2.5	1160.0	微砂	良 黒灰	外面タタキ後ナデ、内面格子目タタキ、端面ヘラ切
37	平瓦	483 破片	24.5	15.0	2.1	1040.0	微砂	良 灰	外面布目、部分的にナデ、内面格子目タタキ
38	平瓦	528 破片	26.4	13.4	2.5	900.0	微砂	良 黄灰	外面ナデ、内面格子タタキ、端面ヘラ切
39	平瓦	109、110 1/2	19.9	24.0	2.2	1440.0	微砂	良 青灰	外面ナデ、内面格子タタキ、端面ヘラ切
40	平瓦	58、524 破片	19.8	23.4	2.9	1300.0	微砂	良 青灰	外面ナデ、内面格子タタキ、端面ヘラ切
41	のし瓦	119、123 230、略完	32.2	15.2	1.8	1600.0	微砂	良 青灰	1枚作り、外面ナデ、内面格子タタキ後ナデ、端面ヘラ切
42	のし瓦	50、367 1/2	25.6	17.3	2.4	1320.0	微砂	良 青灰	1枚作り、内外面ナデ、端面ヘラ切
43	のし瓦	58、164 略完	31.8	10.1	2.4	1220.0	微砂	良 黄灰	平瓦を半截、外面ナデ、内面糸切り後ナデ 端面ヘラ切
44	のし瓦	53、502 2/3	23.2	11.8	1.7	740.0	微砂	良 灰	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子目タタキ後ナデ、赤彩
45	のし瓦	295、296 2/3	26.7	12.3	2.4	1280.0	微砂	良 黒灰	平瓦を半截、内外面ナデ、端面ヘラ切
46	のし瓦	552 1/2	25.9	13.3	2.3	900.0	微砂	良 黒灰	平瓦を半截、外面ナデ、内面格子目タタキ 端面ヘラ切
47	のし瓦	180、227 2/3	25.9	10.4	2.3	900.0	微砂	良 黄灰	平瓦を半截、外面布目、内面格子目タタキ後ナデ、端面ヘラ切
48	のし瓦	55 1/2	16.3	11.0	2.1	600.0	微砂	良 青灰	平瓦を半截、外面布目、内面格子目タタキ後ナデ、端面ヘラ切
49	面戸瓦	242、243 2/3	11.4	11.2	2.1	500.0	微砂	良 灰	丸瓦を裁断、外面ナデ、内面布目、端面ヘラ切
50	面戸瓦	246 1/3	11.3	6.7	1.9	200.0		黄灰	丸瓦を裁断、外面縄目タタキ、内面布目、端面ヘラ切
51	面戸瓦	316 1/3	8.6	6.8	2.1	180.0	微砂	良、硬 灰	丸瓦を裁断、外面縄目タタキ、内面ナデ、端面ヘラ切
52	鬼瓦	フク土 右上半部	17.0	17.5	8.9	655.0	微砂	良 灰	型作り、端面、裏面ナデ
53	鬼瓦	Pit 6 破片	8.8	6.2	3.8	143.0	微砂	良 灰	裏面ナデ
54	鬼瓦	58 左脚	14.5	13.0	7.7	642.0	微砂	良 黒灰	型作り、端面、裏面ナデ
55	鬼瓦	5、18L-5 破片	9.0	9.8	4.3	448.0	微砂	良 青灰	端面、裏面ナデ
56	鬼瓦	18F-6 破片	21.2	14.5	8.5	656.0	微砂	良 青灰	型作り、右頬内の部分
57	鬼瓦	386 破片	9.3	8.0	4.0	237.0	微砂	良 黒灰	粘土塊で剥離
58	鬼瓦	18L-7 破片	7.5	5.8	2.4	95.0	微砂	良 黒灰	粘土塊で剥離
59	鬼瓦	254 破片	6.5	8.2	2.8	128.0	微砂	良 黒灰	粘土塊で剥離
60	鬼瓦	529 破片	6.6	9.5	9.1	331.0	微砂	良 黒灰	鼻、粘土塊で剥離
61	鬼瓦	18L-7 破片	10.3	6.3	5.5	247.0	微砂	良 黒灰	右頬肉、粘土塊で剥離
62	鬼瓦	416 破片	6.1	6.5	4.0	82.0	微砂	良 黒灰	鼻のつけ根、ナデ
63	鬼瓦	417 破片	8.6	5.4	3.1	114.0	微砂	良 黒灰	右上隅裏面、粘土塊で剥離
64	鬼瓦	355 破片	5.8	7.3	2.2	82.0	微砂	良 黒灰	右側面、粘土塊で剥離
65	鬼瓦	破片	5.6	9.0	11.6	346.0	微砂	良 黒灰	鼻、68と接合

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
66	鬼瓦	382、18K-8、破片	10.5	4.1	2.2	45.0	微砂	良 黒灰	左眉
67	鬼瓦	18J-1 破片	12.2	7.3	4.1	434.0	微砂	良 灰黒	右側面、平滑なナデ
68	鬼瓦	6 破片							65と接合
69	鬼瓦	11集石 破片	9.3	10.8	3.5	376.0	微砂	良 黒灰	右側面、平滑なナデ
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成形・整形の特徴	
			器高	口径	底径				
70	かわらけ	516 略完	2.0	7.4	5.8	密軟	酸化 浅黄	内外ロクロ回転痕、底部右回転糸切、口唇部に油煙付着	
71	かわらけ	6 1/2	1.8	7.5	4.3	密	酸化 にぶい黄橙	内外ロクロ回転痕、底部右回転糸切、口唇部に油煙付着	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成形・整形の特徴	
			タテ	ヨコ	厚さ				
72	土製品	65 完	3.9	3.8	3.3	密	酸化 褐	把手か脚の破損品を転用、両端を平滑に研磨	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴		
			長さ	幅	厚さ	重 量			
73	火輪		15.5	15.3	5.5		角閃石安山岩、扁平		
74	釘	A-95 完	16.8	0.6	0.8	45.0	平釘、瓦釘		
75	釘	201 完	13.6	0.6	0.7	32.1	平釘、赤彩		
76	釘	201 完	11.0	0.8	0.7	29.4	平釘、赤彩		
77	釘	P-38 完	13.0	0.7	0.6	14.6	平釘		
78	釘	L-7 完	10.9	0.6	0.6	17.4	角釘		
79	釘	B-18 完	10.0	0.5	0.4	13.6	平釘、被熱か		
80	釘	A-177 完	10.2	0.6	0.4	7.7	平釘		
81	釘	A-51 完	10.1	0.6	0.6	15.1	平釘		
82	釘	A-127 完	10.0	0.5	0.5	8.0	平釘		
83	釘	A-68 完	9.8	0.6	0.7	14.1	平釘		
84	釘	A-37 完	9.6	0.4	0.5	9.7	平釘		
85	釘	A-103 完	9.4	0.3	0.5	9.2	平釘		
86	釘	A-74 完	9.0	0.5	0.6	14.4	平釘、赤彩		
87	釘	A-185 完	8.8	0.5	0.6	9.5	平釘		
88	釘	A-116 完	9.0	0.6	0.6	10.5	平釘		
89	釘	A-13 完	8.6	0.5	0.5	10.2	平釘		
90	釘	フク土 略完	9.1	0.6	0.6	8.2	らせんの溝		
91	釘	I-6 略完	8.7	0.6	0.6	12.1	平釘		
92	釘	202 略完	9.9	0.6	0.6	12.3	平釘		

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
93	釘	A-99 略完	8.9	0.3	0.6	7.2	平釘
94	釘	フク土 完	8.0	0.5	0.5	6.7	角釘
95	釘	A-120 完	8.5	0.5	0.6	12.4	平釘
96	釘	A-39 略完	8.4	0.5	0.5	8.8	平釘
97	釘	18K-6 完	8.0	0.6	0.5	11.5	平釘
98	釘	フク土 完	7.6	0.5	0.5	7.4	平釘
99	釘	A-178 完	8.9	0.4	0.6	8.0	平釘
100	不明	A-109 破片	7.4	0.4	1.0	12.4	端部くの字扁平
101	釘	フク土 完	8.1	0.7	0.6	9.4	平釘
102	釘	A-93 完	7.4	0.5	0.5	8.1	平釘、らせんの溝
103	釘	A-88 完	7.4	0.5	0.5	8.5	平釘
104	釘	フク土 完	8.2	0.5	0.4	6.1	平釘、軸中央でくの字
105	釘	A-142 完	7.3	0.5	0.6	8.0	平釘
106	釘	A-58 完	8.2	0.4	0.6	8.1	平釘、軸中央でくの字
107	釘	A-58 完	8.2	0.5	0.6	7.8	平釘、軸中央でくの字
108	釘	A-138 略完	7.3	0.4	0.5	6.4	平釘
109	釘	A-20 完	7.1	0.5	0.6	6.7	角釘
110	釘	I-6 略完	7.3	0.4	0.5	6.4	平釘
111	釘	A-71 両端欠	6.9	0.5	0.6	7.5	平釘か
112	釘	フク土 脚欠	6.4	0.5	0.5	7.7	平釘
113	釘	A-136 略完	6.4	0.4	0.5	5.9	平釘
114	釘	A-5 完	6.7	0.5	0.6	8.9	平釘
115	釘	A-52 完	7.6	0.5	0.5	6.6	角釘、頭くの字
116	釘	A-38 頭欠	6.7	0.5	0.3	6.4	平釘か
117	釘	A-80 完	6.5	0.5	0.5	7.2	平釘
118	釘	フク土 略完	6.9	0.5	0.5	7.5	平釘
119	釘	I-6 略完	6.7	0.6	0.5	9.1	平釘
120	釘	フク土 略完	6.4	0.4	0.6	7.2	平釘
121	釘	A-99 完	6.3	0.3	0.3	4.4	平釘、被熱か
122	釘	A-23 完	6.2	0.3	0.4	4.7	平釘

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
123	釘	A-28 脚欠	6.4	0.4	0.6	7.2	平釘
124	釘	A-183 脚欠	6.0	0.5	0.3	7.6	平釘
125	釘	A-35 完	6.0	0.3	0.4	2.0	平釘
126	釘	A-8 完	6.1	0.4	0.4	3.8	平釘
127	釘	A-41 頭欠	6.0	0.5	0.4	5.9	平釘か
128	釘	I-6 略完	6.3	0.4	0.3	4.0	平釘
129	釘	I-6 略完	6.1	0.3	0.3	2.7	平釘か
130	釘	A-110	5.6	0.3	0.3	2.8	平釘
131	釘	A-173 完	5.7	0.3	0.3	2.7	平釘
132	釘	フク土 完	6.5	0.4	0.3	4.5	角釘
133	釘	A-81 完	6.2	0.3	0.4	3.6	平釘
134	釘	A-2 完	5.7	0.3	0.3	3.2	角釘
135	釘	A-159 完	5.8	0.5	0.4	5.0	平釘
136	釘	A-149 略完	5.6	0.3	0.3	4.8	平釘
137	釘	A-62 完	5.6	0.3	0.3	2.9	平釘、被熱か
138	釘	A-125 完	5.5	0.3	0.3	3.0	角釘、被熱か
139	釘	I-6 完	7.7	0.3	0.4	4.8	平釘、被熱か
140	釘	A-167 完	5.5	0.3	0.4	3.4	角釘
141	釘	P-53 完	5.5	0.4	0.4	4.2	平釘
142	釘	フク土 完	5.4	0.5	0.6	8.9	平釘
143	釘	A-184 脚欠	4.8	0.4	0.6	7.8	角釘
144	釘	A-178 略完	5.4	0.5	0.5	7.2	平釘
145	釘	I-6 完	5.4	0.4	0.4	3.1	平釘
146	釘	A-96 完	5.5	0.3	0.2	1.7	平釘
147	釘	A-117 完	5.5	0.3	0.4	3.6	平釘
148	釘	A-87 完	5.2	0.4	0.4	2.4	平釘
149	釘	I-6 略完	5.5	0.4	0.5	3.6	平釘
150	釘	A-77 完	5.4	0.3	0.3	2.1	平釘
151	釘	A-130 完	5.4	0.6	0.6	6.4	平釘
152	釘	A-82 完	5.1	0.3	0.4	4.2	平釘

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
153	釘	A-118 完	5.2	0.3	0.3	1.8	平釘
154	釘	A-30 完	5.1	0.3	0.3	1.6	平釘
155	釘	A-65 完	5.1	0.3	0.3	3.0	平釘、被熱か
156	釘	A-74 完	4.8	0.3	0.3	3.3	平釘
157	釘	A-64 完	5.1	0.3	0.4	2.5	平釘、被熱か
158	釘	A-108 頭欠	5.2	0.3	0.3	7.7	平釘か
159	釘	フク土 略完	7.5	0.5	0.6	7.5	平釘、脚L形
160	釘	A-108 頭欠	5.2	0.5	0.5	4.7	平釘か、2本
161	釘	不明 略完	5.7	0.5	0.5	7.9	角釘
162	釘	I-6 完	5.0	0.3	0.3	2.6	角釘
163	釘	P-59 頭欠	5.1	0.3	0.4	4.8	角釘か
164	釘	A-106 完	4.9	0.2	0.4	2.6	平釘
165	釘	A-31 略完	5.1	0.3	0.4	4.2	平釘、被熱か
166	釘	A-78 完	5.0	0.3	0.3	2.4	角釘、被熱か
167	釘	フク土 完	4.8	0.6	0.6	4.5	角釘
168	釘	フク土 頭欠	4.6	0.4	0.4	3.5	平釘か
169	釘	I-6 略完	7.4	0.4	0.4	4.3	平釘
170	釘	A-105 完	4.7	0.4	0.5	4.2	平釘
171	釘	表土 脚欠	4.7	0.6	0.4	5.1	平釘
172	釘	A-3 略完	4.8	0.4	0.5	3.5	平釘
173	釘	表土 完	4.6	0.4	0.4	2.1	角釘
174	釘	I-6 略完	4.6	0.4	0.3	1.9	平釘、被熱か
175	釘	I-6 完	4.6	0.3	0.5	2.9	平釘
176	釘	A-107 完	4.8	0.8	0.6	7.2	平釘
177	釘	表土 完	4.5	0.4	0.4	1.5	平釘
178	釘	フク土 完	4.4	0.3	0.3	2.0	平釘
179	釘	A-124 完	4.8	0.3	0.3	3.3	平釘
180	釘	A-27 完	4.7	0.3	0.3	2.0	平釘
181	釘	A-34 完	4.6	0.3	0.4	2.0	平釘、被熱か
182	釘	フク土 完	5.4	0.3	0.4	2.1	平釘、被熱か

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
183	釘	A-75 完	4.3	0.3	0.4	1.7	平釘
184	釘	18K-8 完	4.3	0.3	0.3	1.8	平釘
185	釘	A-55 完	4.9	0.5	0.3	2.4	角釘、S字状
186	釘	完	4.4	0.3	0.3	1.6	角釘
187	釘	完	4.5	0.3	0.3	1.4	平釘
188	釘	完	5.5	0.3	0.3	2.2	角釘、頭くの字
189	釘	フク土 完	4.8	0.5	0.5	1.6	角釘、頭くの字
190	釘	A-116 頭欠	4.4	0.5	0.4	2.8	平釘か
191	釘	表土 完	4.1	0.3	0.3	1.6	平釘
192	釘	A-138 完	4.3	0.3	0.4	1.5	角釘
193	釘	表土 完	4.6	0.4	0.4	2.0	平釘、赤彩
194	釘	フク土 完	5.1	0.3	0.4	1.8	平釘
195	釘	A-16 完	4.7	0.3	0.3	2.2	角釘
196	釘	表土 脚欠	5.0	0.6	0.8	11.0	平釘、くの字曲折
197	釘	A-36 略完	5.6	0.4	0.6	4.7	平釘
198	釘	A-151 略完	4.2	0.5	0.5	4.5	平釘
199	釘	表土 完	4.8	0.3	0.3	2.7	角釘、被熱
200	釘	フク土 脚欠	4.6	0.4	0.5	4.1	平釘
201	釘	A-146 完	4.6	0.5	0.5	4.4	角釘
202	釘	フク土 完	4.2	0.5	0.4	1.9	平釘
203	釘	A-161 略完	4.8	0.4	0.4	3.1	平釘
204	釘	A-102 完	3.6	0.3	0.4	1.7	平釘
205	釘	A-169 完	4.4	0.3	0.3	1.0	角釘
206	釘	I-6 略完	4.5	0.4	0.3	3.4	平釘
207	釘	A-89 完	4.4	0.3	0.3	0.8	角釘
208	釘	A-54 完	4.0	0.3	0.3	1.2	角釘
209	釘	A-126 完	3.9	0.3	0.3	1.2	平釘
210	釘	I-6 略完	3.8	0.3	0.3	1.7	平釘
211	釘	I-6 完	3.8	0.3	0.3	1.9	角釘、赤彩、被熱か
212	釘	フク土 完	3.9	0.3		0.7	角釘

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
213	釘	A-176 完	4.0	0.4	0.3	1.5	角釘
214	釘	I-6 完	4.0	0.3	0.5	2.3	角釘
215	釘	フク土 完	4.3	0.3	0.3	1.5	角釘
216	釘	表土 略完	4.1	0.4	0.5	4.3	平釘
217	釘	I-6 完	4.5	0.3	0.4	1.6	角釘、くの字
218	釘	A-166 完	4.2	0.3	0.3	0.9	角釘
219	釘	A-135 両端欠	3.8	0.3	0.3	1.2	平釘
220	釘	A-18 完	5.5	0.3	0.4	3.2	角釘、くの字
221	釘	A-79 完	4.8	0.3	0.3	2.1	角釘、くの字
222	釘	A-112 略完	5.2	0.2	0.6	2.6	平釘
223	釘	I-6 完	5.6	0.3	0.4	2.9	平釘、くの字
224	釘	フク土 完	5.4	0.3	0.3	1.9	平釘、くの字
225	釘	フク土 完	4.5	0.3	0.3	1.2	角釘、くの字
226	釘	フク土 完	4.4	0.3	0.4	1.7	角釘、くの字
227	釘	フク土 完	5.1	0.3	0.3	1.2	角釘、赤彩
228	釘	フク土 完	3.9	0.3	0.3	1.3	角釘、くの字
229	釘	A-22	4.1	0.3	0.3	1.2	角釘、くの字
230	釘	I-6 完	4.9	0.3	0.3	1.8	角釘、くの字
231	釘	A-6 完	4.6	0.3	0.4	1.6	平釘
232							欠番
233	釘	A-7 完	4.4	0.3	0.4	1.0	角釘、くの字
234	釘	I-6 完	4.0	0.3	0.5	1.9	角釘、赤彩
235	釘	A-56 完	7.2	0.3	0.3	3.5	平釘
236	釘	A-91 略完	4.1	0.4	0.4	2.9	角釘
237	釘	A-174 完	4.2	0.3	0.3	1.6	角釘
238	釘	A-180 略完	3.9	0.3	0.3	2.3	平釘
239	釘	A-156 頭欠	4.0	0.3	0.4	1.4	平釘か
240	釘	フク土 完	3.5	0.3	0.5	3.8	平釘
241	釘	フク土 略完	3.8	0.3	0.3	2.1	角釘
242	釘	A-109 完	3.9	0.8	0.6	5.2	角釘

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
243	釘	A-180 略完	3.6	0.3	0.3	2.0	平釘
244	釘	フク土 完	3.8	0.6	0.6	1.9	角釘
245	釘	フク土 完	3.1	0.4	0.5	0.1	平釘
246	釘	フク土 完	3.6	0.5	0.4	2.7	平釘
247	釘	A-4 完	3.5	0.5	0.4	1.6	角釘
248	釘	A-42 完	4.3	0.4	0.3	1.3	平釘
249	釘	I-6 完	3.9	0.4	0.3	2.0	平釘
250	釘	A-21 完	3.8	0.4	0.5	2.2	平釘
251	釘	I-6 完	3.6	0.3	0.3	1.1	平釘
252	釘	フク土 完	3.7	0.4	0.3	1.1	平釘
253	釘	フク土 完	3.9	0.4	0.3	1.1	角釘
254	釘	A-61 完	4.1	0.3	0.3	1.5	平釘
255	釘	I-6 完	3.9	0.3	0.3	1.0	角釘、被熱
256	釘	A-84 完	4.3	0.3	0.3	1.3	角釘
257	釘	A-45 完	3.6	0.4	0.4	1.7	角釘
258	釘	I-6 完	3.8	0.4	0.3	1.2	平釘
259	釘	A-46 完	3.9	0.3	0.3	1.3	平釘
260	釘	フク土 完	3.8	0.3	0.3	1.6	角釘
261	釘	A-53 完	3.8	0.3	0.3	1.5	角釘
262	釘	I-6 略完	3.6	0.3	0.4	1.7	平釘
263	釘	A-29 完	4.0	0.4	0.3	1.1	角釘
264	釘	フク土 頭欠	3.8	0.4	0.4	2.4	平釘か
265	釘	A-155 完	3.4	0.3	0.5	2.5	平釘
266	釘	A-158 略完	3.6	0.5	0.4	1.9	平釘
267	釘	A-121	3.3	0.5	0.6	2.0	角釘
268	釘	フク土 完	3.2	0.4	0.4	3.0	蟹目釘、頭の径1cm
269	釘	A-171 略完	3.6	0.4	0.4	3.5	蟹目釘、頭の径1.2cm
270	釘	I-6 完	3.3	0.5	0.5	3.7	蟹目釘、頭の径1.2cm
271	釘	フク土 完	3.6	0.4	0.4	3.5	蟹目釘、頭の径1.2cm
272	釘	フク土 両端欠	4.2	0.3	0.3	1.5	平釘か

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
273	釘	A-1 略完	3.2	0.3	0.3	1.1	平釘か
274	釘	A-115 脚欠	3.0	0.2	0.3	1.4	角釘
275	釘	A-101 完	3.2	0.5	0.6	2.8	角釘
276	釘	A-94 完	3.8	0.3	0.2	1.5	角釘
277	釘	A-98 完	3.0	0.2	0.2	1.3	平釘
278	釘	フク土 略完	3.3	0.3	0.3	1.0	角釘
279	釘	I-No 2 完	3.2	0.3	0.3	1.2	平釘
280	釘	A-50 完	3.5	0.3	0.3	1.8	角釘
281	釘	A-182 略完	3.4	0.3	0.3	1.1	平釘
282	釘	フク土 完	3.4	0.3	0.3	1.3	角釘
283	釘	A-138 両端欠	3.6	0.5	0.4	2.8	
284	釘	A-33 完	3.3	0.3	0.3	1.0	平釘
285	釘	A-19 略完	3.8	0.3	0.3	1.8	角釘
286	釘	A-92 略完	3.1	0.3	0.3	1.5	角釘
287	釘	フク土 略完	3.2	0.3	0.3	1.0	角釘
288	釘	A-32 完	4.2	0.3	0.4	1.7	平釘
289	釘	I-6 完	3.3	0.3	0.3	1.0	角釘
290	釘	A-12 略完	4.0	0.5	0.3	2.2	角釘
291	釘	フク土 完	3.2	0.2	0.3	1.0	角釘
292	釘	A-23 完	2.5	0.2	0.2	0.4	角釘
293	釘	A-48 略完	3.0	0.3	0.2	1.2	平釘
294	釘	A-73 完	3.5	0.3	0.3	0.9	角釘
295	釘	フク土 脚欠	3.2	0.4	0.4	1.4	角釘
296	釘	I-6 完	3.1	0.3	0.3	0.9	角釘
297	釘	フク土 完	3.1	0.3	0.3	0.8	角釘
298	釘	A-182 完	3.0	0.4	0.4	1.0	角釘
299	釘	257 略完	3.0	0.4	0.5	2.0	平釘
300	釘	119 完	3.0	0.4	0.4	1.8	角釘
301	釘	18J-3 略完	3.0	0.3	0.4	0.8	平釘
302	釘	フク土 頭欠	3.3	0.3	0.3	1.3	角釘か

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
303	釘	フク土 完	3.8	0.4	0.4	1.8	角釘
304	釘	I-6 完	2.7	0.3	0.3	1.1	角釘
305	釘	A-25 略完	2.8	0.3	0.3	0.8	角釘か
306	釘	フク土 略完	3.4	0.3	0.3	1.2	角釘
307	釘	A-43 両端欠	2.7	0.3	0.3	0.8	角釘か
308	釘	I-6 略完	3.0	0.3	0.4	1.4	角釘
309	釘	I-6 脚欠	3.0	0.4	0.4	2.1	角釘
310	釘	A-104 完	3.9	0.3	0.3	1.2	平釘
311	釘	A-86 略完	2.5	0.3	0.3	1.2	角釘
312	釘	A-181 頭欠	2.8	0.4	0.4	2.0	
313	釘	Pit59 完	2.8	0.3	0.3	1.2	角釘
314	釘	A-11 完	2.9	0.4	0.4	1.2	平釘
315	釘	A-24 完	2.4	0.3	0.4	0.8	平釘
316	釘	I-6 頭欠	2.7	0.4	0.4	0.7	
317	釘	フク土 完	3.1	0.3	0.3	1.1	平釘
318	釘	A-179 完	2.3	0.5	0.3	2.1	平釘
319	釘	A-63 完	3.7	0.3	0.3	0.7	角釘
320	釘	A-157 完	2.9	0.3	0.3	1.4	角釘
321	釘	A-170 完	2.7	0.4	0.5	1.2	角釘
322	釘	フク土 完	2.7	0.3	0.3	0.6	平釘
323	釘	フク土 頭欠	2.6	0.4	0.4	1.1	角釘
324	釘	I-6 両欠	2.6	0.3	0.3	0.9	
325	釘	フク土 完	2.5	0.3	0.3	1.0	平釘
326	釘	A-176 完	2.4	0.3	0.4	1.8	平釘
327	釘	A-17 完	2.4	0.3	0.3	0.8	角釘
328	釘	I-6 頭欠	2.6	0.3	0.6	0.6	角釘か
329	釘	フク土 完	2.4	0.4	0.5	1.4	平釘
330	釘	フク土 完	2.3	0.4	0.3	0.8	平釘
331	釘	I-6 完	4.7	0.2	0.3	2.0	角釘、赤彩
332	釘	A-109 完	2.0	0.5	0.4	2.3	平釘

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
333	釘	フク土 脚欠	1.9	0.6	0.5	2.7	平釘
334	釘	A-14 脚欠	1.6	0.3	0.3	0.7	平釘
335	飾金具	A-132 脚欠	2.3	0.7	0.8	9.4	蟹目釘の大型品か、頭の径3.3cm
336	飾金具	表土 完	2.4	2.5	0.2	0.5	釘の止め金具、花卉状
337	カマ	I-5 基部欠	8.7	2.7	0.2	13.1	曲刃鎌の中央部
338	飾金具	フク土 破片	4.9	0.8	0.1	1.0	銅製、金箔、魚々子1列あり
339	銭	A-144 完	2.12	2.18	0.12	1.00	開元通宝
340	銭	A-134 完	2.42	2.43	0.10	2.40	乾元通宝
341	銭	S 3 完	2.43	2.42	0.10	2.10	知和通宝
342	銭	A-123 完	2.48	2.42	0.10	2.70	熙寧通宝
343	銭	A-122 完	2.40	2.42	0.11	1.90	元豊通宝
344	銭	S 3 完	2.39	2.40	0.11	2.70	寛永通宝
345	銭	B-10 完	2.29	2.31	0.09	2.00	寛永通宝
346	銭	B-11 完	2.27	2.27	0.10	2.00	寛永通宝

和田山天神前遺跡 1号方形周溝墓出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	台付甕	1 完	16.0	10.3	7.6	硬	酸化 黄橙	折返し口縁様、弱い段を持つ、胴部ヘラナデ後ナナメ方向にミガキ、胴部ヘラナデ、内面指頭ナデ痕
2	弥生 台付甕	3 口縁部	5.8			硬	酸化 赤橙	口唇部と頸部に波状文

和田山天神前遺跡 3号墓道出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	須恵器 甕	フク土 下胴部	(9.6)			硬 微砂	還元 灰	外面平行タタキ 内面青海波状
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
2	刀子	フク土 破片	5.2				区を含む刀身部から茎の破片、刃側欠損片刃、茎厚0.5cm、鉄製	

和田山天神前遺跡 FA混島・B島出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
FA島 1	土師器 甕	2、3 胴部	(10.5)			軟	酸化 橙	球形、底部はケズリにより平底様、薄手
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
FA島 2	石鏃	フク土 完	2.8	1.6	0.4		黒色頁岩、有茎鏃、側縁鋸歯状	

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
B 畠 1	須恵器 長頸壺	フク土 口縁部	(14.7)	10.0		硬 密	還元 灰	表裏ロクロ痕、頸部に2条の沈線、自然釉
B 畠 2	須恵器 長頸壺	フク土	(10.9)			硬 密	還元 灰黒	表裏ロクロ痕、天井部水平に張り稜をもつ、高台剥離
B 畠 3	土師器 杯	フク土 口縁～底	3.7	10.3	5.6	硬	酸化 浅黄	ロクロ痕、底部右回転糸切
B 畠 4	土師器 杯	フク土				硬	酸化 浅黄	ロクロ痕
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重量		
B 畠 5	釘	フク土 完	10.7	0.5	0.5	12.4	平釘、脚端部につぶれ	
B 畠 6	釘	フク土 完	6.0	0.5	0.5	6.3	平釘、くの字	
B 畠 7	釘	フク土 完	4.7	0.4	0.5	3.8	平釘	
B 畠 8	釘	フク土 略完	3.0	0.3	0.3	1.5	平釘、脚端欠損	

和田山天神前遺跡 溝 出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	
			器高	口径	底径				
2 溝 1	セ、ミ磁 椀	口：リュ 底：完	5.0	(9.1)	4.4	白色	普	外面に雑な楼閣山水文、内底に不明文様を染付する、19C中	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴		
			長さ	幅	厚さ	重量			
2 溝 2	銭	フク土	2.35	2.32	0.10		政和通宝		
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	
			器高	口径	底径				
3 溝 1	常滑 甕	フク土 胴部	9.7			硬 白色粒	焼締 暗灰		
3 溝 2	軟質 火鉢	フク土 口縁～底	9.2		17.2	軟質	還元 黄褐	口縁部肥厚、2条の沈線をめぐらす、胴部平行タタキ底部ボタン状の脚がつく	
5 溝 1	瓦質 鉢	フク土 口縁部	7.0			硬	還元 灰	口縁肥厚、頸部に1条の太い沈線、片口、内面磨耗して光沢をおびる	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴		
			長さ	幅	厚さ	重量			
5 溝 2	のし瓦	フク土 破片	9.6	7.5	1.3		軟 還元 粗砂痕 灰	平瓦を焼成前に分割	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	
			器高	口径	底径				
5 溝 3	ヒ、磁 皿	口縁一部 欠	3.0	13.6	7.6		普 灰白	内底蛇ノ目軸ハギ、コンニャク判で五弁花文、体部内面唐草文、波佐見糸、18C中～後	
5 溝 4	セ、ミ陶	口縁欠	5.4		4.8		普 灰白	脚端部を除き鉄釉、底部外面右回転糸切後中央に穿孔、口縁部と灯芯をささえる部分欠、18C後	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量			
6 溝 1	軒平瓦	フク土 瓦当部	5.6	14.0	2.0		軟 還元 粗砂混 黄白	陽刻下向剣頭文	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴		
			長さ	幅	厚さ	重量			
6 溝 2	留金具	フク土 破片	1.4	0.4	0.2		銅製、倒卵形		
7 溝 1	釘	フク土 完	6.4	0.6	0.6	5.5	角釘		
7 溝 2	釘	フク土 略完	5.6	0.3	0.3	2.2	平釘、頭は巻き込み、緩くまがる		
7 溝 3	釘	フク土 両端欠	4.8	0.7	0.7	6.1	角釘		

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
11溝 1	釘	フク土 完	3.7	0.5	0.5	3.5	平釘、脚端部欠損	
11溝 2	釘	フク土 完	2.6	0.4	0.5	1.8	平釘	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
14溝 1	かわらけ 杯	フク土 底部	(1.7)		7.0	軟	酸化 赤褐	ロクロ整形、左回転糸切
14溝 2	かわらけ 杯	フク土 口縁～底	2.4		10.5	軟	酸化 赤褐	ロクロ整形、回転糸切
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
14溝 3	釘	フク土 略完	8.4	0.5	0.4	8.1	平釘か、両端欠損	
27溝 1	釘	フク土 完	6.3	0.5	0.4	4.2	平釘	
27溝 2	釘	フク土 完	5.6	0.3	0.3	4.8	平釘	
27溝 3	釘	フク土 完	4.7	0.3	0.3	2.0	平釘	
27溝 4	釘	フク土 完	5.2	0.3	0.3	2.8	平釘、くの字	
27溝 5	釘	フク土 完	4.2	0.3	0.2	1.1	平釘、くの字	
28溝 1	釘	フク土 略完	2.8		0.3	2.0	平釘、脚端部欠損	

和田山天神前遺跡 道出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
5道 1	鬼瓦	フク土 破片	9.0	6.2	4.5		灰白	角の一部、指頭痕を残す 1号建物からの混入	
6道 1	石幢	S1 破片	(18.6)	10.0	4.3	360.0		軸部破片、8面体、判読不可の文字あり 2期掘り方に混入	
6道 2	鬼瓦	フク土 破片	11.8	11.9	7.2			2期掘り方に混入	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴		
			長さ	幅	厚さ	重 量			
6道 3	地輪	完	30.4	30.8	16.4		角閃石安山岩、上面に径20cmの円孔、梵字あり 2期掘り方に混入		
6道 4	水輪	完	21.8	22.0	13.2		角閃石安山岩、アの梵字に重ねて円形の墨痕 2期掘り方に混入		
8道 1	釘	2号集石 略完	9.1	0.5	0.5	10.9	平釘、脚端部欠損		

和田山天神前遺跡 墓坑出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
3墓 1	水輪	蓋石完	20.0	20.3	14.0		角閃石安山岩 墓坑上面の墓石となる集石に使用
7墓 1	銭	底面完	2.47	2.48	0.10	2.60	皇宋通宝
9墓 1	銭	底面略完	2.45	2.45	0.13	2.60	至和通宝
10墓 1	銭	底面完	2.49	2.47	0.14	3.50	天聖元宝

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	
			器高	口径	底径				
13墓 1	杯	1 略完	5.0	15.0	8.3		酸化 橙白	体部大きく外反、底部右回転糸切、油煙付着	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
16墓 1	釘	1 完	8.7	0.5	0.6	12.9		平釘、全体に木質付着、側板の木口に打設されたもの	

和田山天神前遺跡 集石出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
1集 1	銭	フク土 略完	2.50	2.51	1.40	2.30		永楽通宝	
7集 1	釘	フク土 脚欠	6.2	0.6	0.6	10.7		角釘	
11集 1	石鏝	フク土 破片	1.9	0.8	0.3	0.2		黒曜石、端部のみ	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
11集 2	平瓦	フク土 完	31.2	20.5	2.3	1900.0	粗	還元 灰黒	内面格子目タタキ、ナデ
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
11集 3	相輪部	フク土 完	19.8	20.0	13.0			角閃石安山岩	
11集 4	空風輪	フク土 完	15.0	10.5				黒色安山岩	
11集 5	空風輪	フク土 完	21.0	16.0				角閃石安山岩	
11集 6	火輪	フク土 完	24.6	24.0	12.5			角閃石安山岩	
11集 7	空風輪	フク土 略完	16.5	15.5				角閃石安山岩	
11集 8	釘	1 脚欠	5.8	0.4	0.4	4.6		角釘	

和田山天神前遺跡 1号焼土出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				胎 土	焼 成 色 調	特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量			
1	銭		2.40	2.40	0.12	2.6		元豊通宝	

和田山天神前遺跡 南大堀・東大堀出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
南堀 1	ヒ、磁 蓋物	1/2	5.8	(10.9)	(5.7)		普 白	外面に山水文を染付する、口縁端部の釉を剥ぎ取る 18C後～19C前
南堀 2	ヒ、磁 蓋物	1/3		(10.8)			普 白	外面に山水文を染付する、口縁端部の釉を剥ぎ取る 18C後～19C前、1と同一個体であろう
南堀 3	セ、ミ磁 碗蓋	口縁一部 欠	3.0	9.6			普 白	天井部外面に植物と雁を染付する、内面には植物文を描く、明治～昭和
南堀 4	ヒ、磁 碗蓋	口縁 1/3欠	3.0	10.7			普 白	天井部外面青海波と海中の風景を型紙摺で描く 口縁内面に瓔珞文を型紙摺で描く、明治～大正
南堀 5	製作地不詳 灯明皿	1/2	2.0	10.0	4.0		良 灰白	外面下半回転ヘラケズリ、内面灰釉を施す、内面に目跡 2カ所残る、口縁部外面に油付着する、19C
南堀 6	製作地不詳 灯明皿	1/2	2.2	10.4	4.2		良 灰白	同上
南堀 7	ヒ、磁 皿	口：1/3 底：完	4.4	(14.4)	8.4		普 白	蛇ノ目凹形高台、口縁型押しにより波うたせる、口縁内 面に海浜風影を描く、志田諸察、19C前～中

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
南堀 8	ヒ、磁 鉢	口：一部 底：1/3	5.6	(12.6)	(6.4)		良 白	口縁が端反りとなる鉢、高台内面から内部無釉 内外面に葡萄状の文様を染付する、呉須の発色は良い
南堀 9	ヒ、磁 蓋物	1/3		(11.2)			普 白	天井部外面に山水文を染付する、1、2の蓋であろう18 C後～19C前
南堀 10	製作地不詳 陶器、鍋	底：完 体：1/4			8.0		普 灰白	内面から体部外面に黄色釉を施す、体部外面飛びガンナ を施す、底部外面は無釉で煤が付着する 19C、11と同一産地であろう
南堀 11	碗	土坑 略完	3.9	8.8	3.8		普 にぶい黄橙	内面から口縁部外面に黄色釉を施す、削り出し高台 外面口縁部下回転ヘラズリ、口縁端部外面面取り
南堀 12	瓶	土坑 下半部			3.6		普 灰白	外面は高台端部以外瑠璃釉を施す 御前徳利か、19C前～中
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
南堀 13	キセル	土坑	3.1			5.5	銅製雁首、筒から火床へのつなぎは四角にたたき出す 筒の基部に刻線	
南堀 14	銭		2.09	2.06	0.06		5枚錆着	
東堀 1	銭	フク土 破片	1.84	1.85	0.07		銭名不明	

和田山天神前遺跡 1号井戸出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	セ、ミ陶 碗	底：完 口：1/2	6.3	11.7	6.4		普 灰白	広東形碗、外面楼閣山水文を染付する、底部内面梅文19 C前～中
2	セ、ミ陶 碗	底：1/2 口：一部	7.1	(11.6)	4.2		普 灰白	削り出し高台、高台端部糸切り痕残る 高台脇以下を除き灰釉を施す
3	ヒ、磁 碗	底：1/2 口：1/4	4.8	(10.4)	4.5		普 灰白	青磁染付碗、内面と高台内は透明釉、外面は青磁釉を施 す、内底に五弁花を描く、18C中～後
4	ヒ、磁 碗	口：一部 底：1/2	5.1	(9.6)	(3.7)		不 良 灰白	外面に梅樹文を描くが釉が白濁しているため不鮮明 波佐見系、18C中～後
5	ヒ、磁 碗	1/3		(11.3)			普 白	反端碗、外面に海浜風景を染付する、19C前～中
6	セ、ミ陶 碗	口：1/3		(10.0)			普 白	全面に柿釉を施す、器高は低く腰部は張る、18C後半～19 Cか

和田山天神前遺跡 集石出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
2集 1	円筒埴輪	フク土 口縁部	(15.6)	22.0		C	良 にぶい黄橙	外：ハケ (5/1cm) 後台2突帯貼付 内：2～3段ナナメハケ
2集 2	円筒埴輪	フク土 基底部	(13.7)		6.2	C	良 橙	外：ハケ (4/1cm) 後三角突帯貼付 内：指ナデ
2集 3	円筒埴輪	フク土 口縁部	7.1			C	良 黄橙	外：ハケ (4/1cm) 内：ナナメハケの上に口唇部寄りヨコハケ
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
2集 4	砥石	フク土 完	13.3	3.6	3.2		砥沢石、3面使用	
2集 5	石匙	フク土 完	8.7	3.0	0.7		黒色頁岩、縦型、周縁に細かな調整を施す	
2集 6	銭	フク土 完	2.36	2.40	0.11	2.50	政和通宝	
2集 7	銭	フク土 完	2.41	2.43	0.10	2.20	元祐通宝	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
3集 1	円筒埴輪	フク土 胴～底部	18.8		12.0	C	良 橙	外：ハケ (5/1cm) 後三角突帯貼付、2段目に赤彩 内：指ナデ、基底部に指頭痕

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
3集 2	円筒埴輪	フク土 胴～底部	20.1		12.6	C	良 にぶい黄橙	外：ハケ (5/1cm) 後三角突帯貼付、2段目に赤彩 内：指ナデ、2段目一部タテハケ
3集 3	円筒埴輪	フク土 胴部	14.6			C	良 橙	外：ハケ (5/1cm) 後三角突帯貼付 内：指ナデ
3集 4	円筒埴輪	フク土 胴部	13.4			C	良 にぶい黄橙	外：ハケ (6/1cm) 後M2突帯貼付 内：指ナデ
3集 5	円筒埴輪	フク土 口縁部	8.5			C	良 橙	外：ハケ (4/1cm) 内：ヨコハケ
4集 1	円筒埴輪	フク土 胴部	17.2			C	良 橙	外：ハケ (6/1cm) 後台1突帯貼付 内：指ナデ
4集 2	円筒埴輪	フク土 底部	7.6		9.6	C	良 浅黄	外：ハケ (6/1cm)、内 指ナデ 径が小さく基底面平滑なことから馬の足とも思われる
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重量		
4集 3	刀子	フク土 茎欠	9.0	2.8	0.8	6.0	鉄製、重量感のある出刃タイプ	

和田山天神前遺跡 17区土坑群出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	須恵器 甕	フク土 頸～肩				硬	還元 青灰	外 ナデ 内 アテ痕
2	須恵器 甕	フク土 胴部				硬	還元 青灰	外 平行タタキ 内 青海波文
3	須恵器 長頸壺	フク土 胴～底部	残9.2		12.9	硬	還元 青灰	外 ナデ 内 アテ痕、貼付高台
4	灰釉 短頸壺	フク土 頸～底部	残 19.5	胴 16.2	10.5	硬	還元 黄灰	内外面ロクロ回転痕、底部穿孔
5	かわらけ	フク土 略完	1.3	8.0	4.2	硬	酸化 橙	ロクロ成形、底部左回転糸切
6	土師器 高杯	フク土 脚	5.3		9.7	密	酸化 橙	杯部と脚裾を打ち欠く
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重量		
7	羽口	フク土	11.7 7.8	6.0 7.3	2.7 2.4		2点、先端に発泡状態、スサ多混	
8	石鏃	フク土 略完	2.5	1.8	0.4		黒曜石、抉りのある三角鏃、先端部欠損	
9	釘	フク土 完	6.1	0.5	0.5	5.5	角釘	
10	釘	フク土 略完	4.9	0.4	0.5	4.1	平釘	
11	釘	フク土 頭欠	5.6	0.4	0.3	2.8		
12	釘	フク土 頭欠	5.3	0.5	0.4	5.1	平釘か角釘	
13	釘	フク土 完	4.6	0.3	0.3	2.1	角釘	
14	釘	フク土 破片	4.5	0.8	0.8	13.4	両端欠損、軸中央でくの字	
15	釘	フク土 脚欠	5.6	0.4	0.5	8.2	平釘、軸中央でくの字	
16	釘	フク土 完	5.2	0.5	0.4	1.8	平釘、軸中央でくの字	
17	釘	フク土 頭欠	4.6	0.4	0.4	1.0	角釘、頭欠損	
18	釘	フク土 略完	3.4	0.5	0.3	2.2	角釘、脚端欠損	
19	釘	フク土 略完	3.4	0.5	0.4	2.2	平釘、脚欠損	

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重量	
20	釘	フク土 略完	3.4	0.5	0.5	3.0	角釘、脚欠損
21	釘	フク土 完	4.1	0.3	0.3	1.4	角釘、軸下部でくの字曲折
22	釘	フク土 頭欠	3.1	0.3	0.3	1.2	平釘、脚端につぶれ
23	釘	フク土 略完	2.8	0.4	0.4	1.5	角釘、脚欠損
24	釘	フク土 略完	3.6	0.4	0.4	1.9	角釘、脚欠損、軸中央にくの字曲折
25	釘	フク土 脚欠	2.5	0.5	0.4	1.7	平釘、26と同一個体
26	釘	フク土 脚	2.8	0.6	0.5	1.2	平釘
27	釘	フク土 完	2.8	0.6	0.6	1.2	角釘、緩くまがる
28	火打金	フク土 完	2.2	5.1	0.6	8.1	つり手にネジリ
29	金具	フク土 破片	2.0		0.1	1.1	銅製、円形、下端部が太い
30	銭	フク土 完	2.66		0.11	4.2	銭名不明

和田山天神前遺跡 1号屋敷出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
1	セ、ミ陶 碗	完	7.2	10.3	4.8		普 灰オリーブ	高台脇以下を除き飴釉を施す、高台径小さい、18C中～後
2	セ、ミ陶 碗	口：1/2 高台完	7.1	(10.8)	5.0		普 灰白	高台脇以下を除き飴釉を施す、18C中～後
3	セ、ミ陶 碗	口：1/2 高台完	7.3	(11.3)	5.2		普 黄灰	高台脇以下を除き飴釉を施す、口縁部にわら灰釉を施す、 18C中、いわゆる尾名茶碗
4	セ、ミ陶 碗	口：1/4 高台完	6.9	(11.1)	5.2		普 灰	高台脇以下を除き飴釉を施す、18C中～後
5	セ、ミ陶 碗	1/3	7.1	(10.3)	(4.5)		普 灰白	高台脇以下を除き飴釉を施す、18C中～後
6	セ、ミ陶 碗	略完	6.3	11.3	3.7		普 灰白	外面に1ヶ所柳状の文様を呉須で描く、器壁厚く高台脇 が丸味をおびる、高台端部は2次加工を行い低くする、 18C後か
7	セ、ミ陶 碗	1/2	5.7	9.1	3.8		普 灰白	腰の張った碗、外面に梅文を2つ染付する、高台脇以下 を除き灰釉を施す、釉に粗い貫入が入る、19C前～中
8	セ、ミ陶 碗	略完	5.7	12.6	4.3		普 灰黄	高台脇以下を除き灰釉を施す、外面に1ヶ所しだれ柳を 鉄絵具で描く、高台端部摩滅する、18C末～19C前いわ ゆる柳茶碗
9	セ、ミ陶 碗	3/4	5.6	12.0	4.3		良 灰	高台脇以下を除き灰釉を施す、外面に1ヶ所しだれ柳を 鉄絵具で描く、高台端部外面を面取りする、18C末～19 C前、いわゆる柳茶碗
10	セ、ミ陶 碗	口：1/2 高台完	5.5	11.6	4.2		陶器質 焼締	高台脇以下を除き灰釉を施す、外面に1ヶ所しだれ柳を 鉄絵具で描く、19C前～中、いわゆる柳茶碗
11	ヒ、陶 呉器手碗	口2/3欠	7.3	(10.8)	4.2		普 灰白	透明に近い灰釉を全面に施釉する、高台内の挟りは深い、 17C後～18C初
12	ヒ、磁 碗	完	5.3	10.0	4.0		普 灰白	底部器壁厚い、外面に2重網目文を染付する、波佐見系、 18C中～後
13	ヒ、磁 碗	口1/4欠	5.8	10.7	4.3		良 灰白	底部器壁やや厚い、外面に雪輪梅樹を染付し高台内に不 明銘を記す、焼成がよく胎土も白味を帯びる、波佐見系、 18C前～中
14	ヒ、磁 碗	口1/4欠	4.8	10.1	4.0		良 灰白	底部器壁やや厚い、外面に雪輪梅樹を染付し高台内に不 明銘を記す、焼成がよく胎土も白味を帯びる、呉須も発 色も良い、波佐見系、18C中～後

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
15	ヒ、磁 碗	一部欠	4.8	9.7	3.7		普 灰白	器壁厚い、外面に雪輪梅樹を雑に染付、波佐見系、18C 後～19C初、13・14に比して腰部の張りが無い
16	ヒ、磁 碗	口1/2欠	5.3	9.6	3.3		普 灰白	器壁厚い、外面に雪輪梅樹を雑に染付、波佐見系、18C 後～19C初、13・14に比して腰部の張りが無い
17	セ、ミ陶 碗	口一部欠	5.8	9.8	4.4		普 灰白	内面から口縁部外面に灰釉、体部外面から高台内に鉄釉 を施す、体部外面にらせん状凹線をめぐらす、18C後、 腰錆碗
18	ヒ、磁 碗	1/3欠口	4.3	11.7	3.8		普 灰白	口縁部楕円形に歪む、器高は低く口縁は反端りである底 部全面に蛇ノ目釉ハギ、この部分に不明墨書、波佐見系、 19C前～中
19	ヒ、陶 碗	口1/4欠	7.0	11.0	4.7		普 灰白	陶胎染付、外面に楼閣山水文を染付、18C前～中
20	ヒ、陶 碗	口1/2欠	7.1	(10.1)	4.3		普 灰白	陶胎染付、外面に楼閣山水文を描く、18C前～中
21	ヒ、陶 碗	1/2	6.9	(10.7)	4.3		普 灰	陶胎染付、外面に楼閣山水文を描く、19・20に比して腰 部張る、18C前～中
22	ヒ、陶 碗	口：1/5 底：1/2	6.9	11.5	4.6		普 灰	陶胎染付、外面に楼閣山水文を描く、口縁部外面は雑な 襷文を描く、底部器壁厚い、18C前～中
23	ヒ、陶 碗	口：一部 底：完	7.2	(11.0)	4.7		普 灰白	陶胎染付、外面に楼閣山水文を描く、底部器壁厚い、18 C前～中
24	ヒ、陶 碗	1/2	6.2	10.3	3.6		普 灰白	陶胎染付、外面雑な楼閣山水文を描く、高台径は小さく 内部に挟り込む、18C前～中
25	ヒ、陶 碗	口：1/5 底：完	7.5	(12.0)	4.9		普 褐灰	陶胎染付、口縁部外面雑な四方襷文、体部には楼閣山水文 を描く、釉下に白土が明瞭に認められる、17C後～18C 前
26	セ、ミ陶 碗	口一部欠	6.6	11.3	5.7		普 灰白	広東形碗、外面に稲束文を2ヶ所、内底に梅文を染付する、 19C前～中
27	セ、ミ陶 碗	1/3		11.8			普 灰白	広東形碗、外面に渦と菱形文を染付する、高台端部欠損、 19C前～後
28	ヒ、磁 碗	底部欠		7.7			普 灰白	青磁染付筒形碗、外面に青磁釉、口縁部内面に四方襷文 を描く、18C中～後
29	ヒ、磁 小碗	口：1/2 欠	4.3	(8.5)	3.2		普 灰白	口縁部外面に雨降り文を染付する、18C
30	ヒ、磁 小碗	1/3	3.0	(6.9)	3.9		普 灰白	口縁部外面1ヶ所に笹文を染付する、18末～19C前
31	セ、ミ陶 德利	体部上半					やや不良 浅黄	硬く焼き締まっていな、口縁部～外面に灰釉を施す18 C後～19C前
32	ヒ、磁 德利	口縁部欠			5.1		不良 灰白	外面唐草文、焼成不良で釉は白濁し貫入もはいる、高台 端部は使用により摩滅する
33	ヒ、磁 皿	底1/4欠			(8.3)		普 灰白	体部内面唐草文、内底コンニャク判による五弁花文を施 す、内底蛇ノ目釉ハギ、18C
34	ヒ、陶 皿	1/2	3.5	(11.6)	(3.9)		普 灰白	内面青緑釉、外面高台脇まで透明釉、内底蛇ノ目ハギ内 ノ山窓
35	ヒ、陶 皿	1/2	4.8	(17.0)	(5.8)		普 灰釉	内面青緑釉、外面高台脇まで透明釉、内底蛇ノ目ハギ内 ノ山窓、口縁部外反する
36	ヒ、陶 皿	口：1/3 底：1/2	5.0	(13.0)	(4.2)		普 浅黄	京焼風陶器、高台脇以下を除き透明釉を施す、内底に鉄 絵具で文様を描く、18C前～中
37	セ、ミ陶 丸皿	1/2	2.2	12.0	6.5		普 灰黄	内面に鉄絵具で笹文を描く、目痕2ヶ所残る、全面に長石 釉を施す、口縁部欠片口と外面に油付着、17C中～後
38	セ、ミ陶 丸皿	1/3	2.2	(11.1)	(6.5)		普 灰黄	内面に鉄絵具で雑な笹文を描く、高台部に目痕2ヶ所残 る、全体に灰分の多い長石釉を施す、17C中～後
39	セ、ミ陶 灯明皿	ほぼ完	2.1	11.0	5.2		普 灰黄	口縁部外面に1つボタン状の粘土を貼付、高台脇以下を 除き鉄分の多い黄褐色釉を施す、口縁端部油煙付着18C 前～中
40	セ、ミ陶 灯明皿	1/3	2.0	(9.8)	(5.0)		普 灰白	内面から口縁部に黄褐色の灰釉を施す、口縁部に1ヶ所 つまみ状の粘土紐を貼付、口縁部油煙付着、18C前～中
41	セ、ミ陶 灯明皿	口一部欠	1.9	10.5	4.4		良 灰黄	全面に鉄泥を施した後外底の釉を拭いて取る、炉器質に 焼き締る、18C後～19C前
42	志戸名陶器 灯明皿	完	1.9	10.6	4.3		普 明赤褐	底部から体部外面右回転ヘラズリ、内面から口縁部に 鉄泥を薄くかける、18C

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 色 成 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
43	志戸名陶器 灯明皿	口一部欠	2.1	10.6	5.0		普 橙	底部から体部外面右回転ヘラケズリ、内面から口縁部に鉄泥を薄くかける、口縁部油煙付着、18C
44	セ、ミ陶 手燭	略完	4.2	4.4	4.2		普 灰黄	内面から口縁部に施釉するが焼成不良、もしくは降灰により釉が白濁する、燈芯を立てる一部のみ欠損、18C後～19C前
45	セ、ミ陶 香炉	口：3/4 底：1/3	5.0	(8.8)			良 灰黄	口縁部から体部外面下位に黄褐色の灰釉を施す、体部外面ヘラケズリ、体部外面下位には凹線が1条めぐる18C中～後
46	セ、ミ陶 香炉	1/3	4.6	9.5			普 浅黄	口縁部から体部外面黄褐色の灰釉を施す、体部外面下位に2条の凹線をめぐらす、18C後
47	セ、ミ陶 四耳壺	小片	(13.5)				普 灰白	口縁部から外面に鉄釉、頭部は短く江戸時代であろう、耳は2ヶ所残る
48	セ、ミ陶 水注	1/4					普 灰白	内外面に鉄釉を施す、体部外面下位にヘラケズリ、耳1ヶ所残る、注ぎ口は欠損、17Cか
49	セ、ミ陶 天目碗	1/4					普 灰白	体部外面下位を除き鉄釉を施す、江戸時代か
50	セ、ミ陶 碗	1/5		(10.7)			普 灰白	鉄釉を施す、18C
51	セ、ミ陶 德利	口欠 体部1/2			8.2		普 浅黄	外面に鉛釉施釉後底部の釉を拭い取る、頭部に12条の凹線をめぐらす、頭部に藁灰釉を施す、18C中～後
52	益子、笠 間陶器 土瓶蓋	1/3		(11.2)	(9.2)		普 にぶい黄橙	天井部外面白土掛け後コバルトで文様を描く、天井部外面のみ透明釉を施す、天井部外面に目痕2ヶ所残る、明治～昭和
53	益子、笠 間陶器 土瓶蓋	1/4		(11.6)			普 浅黄	いわゆる水土瓶の蓋、天井部外面に白土掛け後鉄絵具と銅緑釉で文様を描く、目痕1ヶ所残る、明治～昭和
54	ヒ、磁 德利	体部小片					良 白	体部外面に植物文を染付、19C前～中
55	セ、ミ陶 練り鉢	小片		(33.0)	(14.8)		普 灰白	高台脇以下を除き灰釉を施す、外面に銅緑釉を流しかける、内底に大きい目痕1ヶ所残る、19C前
56	製作地不明 陶器鍋?	小片		(19.6)	(8.0)		軟 橙	口縁部から底部外面に黒色釉、内面に濃い鉛緑釉に似た発色の釉を施す、雪平か土鍋、19Cか
57	セ、ミ陶 壺?	1/2			(9.0)		普 淡黄	底部外面回転糸切無調整、外面の体部以下を除き鉄釉を施す、クロ目の凹凸が著しい、江戸時代
58	セ、ミ陶 德利	体下部～ 底部			10.8		普 灰白	外面鉄泥を施し、底部外面のみ釉を拭き取る、体部下位に稜を有し2ヶ所凹ませる、18C後～19C
59	セ、ミ陶 半胴甕	上半一部 下半完	24.9	(22.0)	14.4		普 灰黄	高台と高台内を除き鉄釉を施す、口縁部と内底に目痕残す、18C
60	セ、ミ陶 片口鉢	口一部欠	10.1	16.8	8.6		普 灰白	高台脇以下を除き鉄分の多い黄褐色の灰釉を施す、注ぎ口は長く突出する、内底に目痕3ヶ所残る、18C後
61	セ、ミ陶 片口鉢	口：1/2 底：3/4	8.6	17.6	8.0		普 浅黄	高台脇以下を除き明黄褐色の灰釉を施す、腰部の張りは強い、19C前～中か?
62	セ、ミ陶 すり鉢	口：1/3		31.0			普 にぶい黄橙	全面に鉄泥を施す、体部外面回転ヘラケズリ、すり目12本1単位、口縁部肥厚する、18C中～後
63	セ、ミ陶 すり鉢	1/5		(31.0)			普 淡黄	口縁部内面の段差によって外面少し突出する、口縁部は肥厚する、全面に鉄泥を施す、19C前
64	セ、ミ陶 すり鉢	1/6		(36.0)			普 浅黄	口縁部内面の段差によって外面少し突出する、口縁部は肥厚する、全面に鉄泥を施す、19C前
65	セ、ミ陶 すり鉢	小片	13.0	(27.0)	(12.0)		普 浅黄	小形のすり鉢、口縁部は肥厚し内面には凹線状の折り返し痕がある、全面に鉄泥を施す、底部外面は回転糸切り無調整、江戸時代
66	セ、ミ陶 すり鉢	1/5		(27.8)			普 灰白	小形のすり鉢、口縁部は内側に折り返し肥厚させる、口縁部外面のクロ目著しい、江戸時代
67	セ、ミ陶 すり鉢	1/3			(16.0)		普 灰白	底部外面回転ヘラケズリ、全面に鉄泥を施し底部外面のみ釉を拭い取る、すり目は体部と底部の境は同心円状に施す、江戸時代
68	セ、ミ陶 すり鉢	1/3			(12.0)		普 淡黄	底部右回転糸切り無調整、外面底部周縁摩滅する、底部内面使用により摩滅、全体に鉄泥を施す、江戸時代
69	セ、ミ陶 すり鉢	体：一部 底：1/2			(11.2)		普 淡黄	小形のすり鉢、口縁部欠損する、全体に鉄泥を施す江戸時代

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
70	セ、ミ陶 すり鉢	1/2			(11.0)		普 灰白	体部外面右回転糸切り無調整、全面に鉄泥施釉後底部画面の釉を拭い取る、江戸時代
71	セ、ミ陶 すり鉢	1/2			(11.6)		普 灰白	底部外面回転ヘラケズリ、内面のすり目は細かく底部から放射状に施す、全面に鉄泥を施す、底部内外面は使用により摩滅する、19C中～後
72	内耳	23墳 口縁～底	5.0	36.9	34.4		良 灰	口縁平滑、底部に脚らしい突起物、砂目、内面に押印
73	内耳	22墳 口縁～底	5.0	36.0	32.4		良 灰黒	口縁平滑、底部砂目
74	内耳	19B-9 口縁～底	5.8	40.3	38.1		良 灰	口縁平滑、底部砂目
75	内耳	19C-8 口縁～底	5.2	41.3	38.1		良 明灰	口縁平滑、底部砂目
76	内耳	19C-8 口縁～底	5.2	38.0	37.4		良 灰	口縁平滑、底部砂目
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
77	火打金	フク土 完	2.6	7.0	0.8			
78	キセル	フク土 完	5.5	1.0	0.1		銅製、吸口	

和田山天神前遺跡 掘立柱建物跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
2掘 1	銭	フク土	2.32	2.37	0.10	1.90	寛永通宝	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
6掘 1	かわらけ	ピット1 底部	1.1		6.0	密	酸化 赤橙	ロクロ成形、底部右回転糸切
6掘 2	陶磁 鉢	ピット1 口縁部	5.4	11.4	6.6			
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
6掘 3	火打金	ピット8 完	11.7	3.9	0.6	15.0	突起部分わずかに外反、孔径0.4cm	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
7掘 1	かわらけ	ピット5 底部	1.9		3.2		酸化 赤褐	体部ロクロ回転痕、底部回転糸切
8掘 1	かわらけ	ピット1 完	2.1	10.0			酸化 赤褐	口縁部大きく外反、底部回転糸切
9掘 1	かわらけ	ピット15 破片	2.8	12.0	6.0	砂粒少混	酸化 赤褐	内外ロクロ回転痕、底部回転糸切
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
9掘 2	釘	ピット9 完	4.2	0.7	0.6		角釘、頭くの字	

和田山天神前遺跡 竪穴状遺構出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
1竪 1	砥石	フク土	(9.1)	2.7	2.0	80.0	砥沢石、手持砥、1面使用
1竪 2	キセル	フク土 完	4.4	1.1		2.8	銅製、吸口、基部に刻線
2竪 1	キセル	フク土 破片	2.7 1.8	1.8 1.9	0.1 0.1	3.5	銅製、雁首と吸口各1点

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
4 堅 1	砥石	フク土 完	13.5	2.7	2.7	200.0	砥沢石、手持砥、1面使用	
4 堅 2	砥石	フク土 破片	(8.5)	3.4	2.7	140.0	砥沢石、手持砥、1面使用	
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm)			胎 土	焼 成 色 調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
			器高	口径	底径			
4 堅 3	火鉢	フク土 1/5		31.4		白色粒	灰白	在地、型作り後ロクロ調整、高台は貼付部で欠損 江戸時代か
4 堅 4	小鉢	フク土 口縁～底	3.4	7.0	2.5			肥前磁器、釉白濁、外面に1ヶ所笹文を染付する波佐見系、18C
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴	
			長さ	幅	厚さ	重 量		
4 堅 5	釘	フク土 完	5.0	0.4	0.5	2.5	角釘	
4 堅 6	キセル	フク土 略完	3.4	1.5	0.1	3.8	銅製吸口、刻線	
5 堅 1	火箸	1 略完	16.5	0.6	0.6	18.1	上端環状、上半方形、下半丸	
5 堅 2	釘	フク土 脚欠	5.9	0.8	0.7	10.5	平釘	
5 堅 3	銭	フク土 完	2.36	2.35	0.10	1.50	寛永通宝	
5 堅 4	銭	フク土 完	2.29	2.32	0.12	2.90	寛永通宝	
5 堅 5	銭	フク土 完	2.44	2.46	0.37	1.90	2枚融着、銭名不明	

和田山天神前遺跡 6・16区掘立柱建物跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
1	釘	6 F-19 完か	9.6	0.6	0.6	12.2	合釘か平釘
2	釘	6 E-20 両端欠	7.3	0.6	10.6	10.2	角釘か
3	釘	6 J-20 完	6.0	0.3	0.3	3.6	平釘
4	釘	6 J-20 完	5.6	0.4	0.3	3.2	平釘
5	釘	6 K-19 完	5.6	0.4	0.4	5.4	平釘、脚端部くの字
6	釘	6 G-20 完	5.6	0.5	0.4	2.4	平釘、軸中央部緩いくの字
7	釘	6 M-20 完	5.0	0.6	0.6	5.7	平釘
8	釘	6 K-20 完	4.3	0.4	0.5	2.6	角釘
9							欠番
10	金具	6 J-19 破片	1.8	3.4	0.4	8.7	U字形に折り曲げる
11	釘	16 L-2 完	7.0	0.5	0.4	8.0	角釘、断面丸味あり、脚端部に打設によるツブレ、現代の混入か
12	釘	16 L-1 完	6.5	0.6	0.7	9.5	平釘
13	釘	16 M-2 完	6.3	0.4	0.5	6.3	平釘
14	釘	16 K-1 No.1 略完	5.8	0.5	0.4	6.1	平釘、脚端部欠損
15	釘	16 L-1 完	5.7	0.5	0.4	4.3	平釘

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
16	釘	16L-2 略完	5.2	0.5	0.5	5.1	平釘、脚端部欠損
17	釘	16L-1 略完	4.6	0.5	0.5	2.7	平釘、脚端部欠損
18	釘	16L-1 完	5.1	0.4	0.4	3.9	角釘、脚端部くの字
19	釘	16M-2 完	4.4	0.6	0.6	4.0	角釘、頭ノミ先状
20	釘	16L-1 完	4.3	0.6	0.6	4.1	平釘、脚端部欠損
21	釘	16L-2 略完	4.0	0.3	0.3	3.0	平釘、脚端部欠損
22	釘	16L-2 脚欠	3.4	0.4	0.4	3.3	平釘
23	釘	16L-1 脚欠	2.9	0.4	0.5	2.7	平釘、軸中央以下赤彩
24	釘	16J-2 脚欠	3.0	0.4	0.3	2.3	平釘
25	釘	16L-1 頭欠	5.5	0.3	0.3	2.8	平釘か角釘、コの字に曲折
26	釘	16L-1 脚欠	2.7	0.6	0.5	1.9	角釘
27	釘	16L-1 脚欠	3.1	0.5	0.7	4.9	平釘
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			タテ	ヨコ	厚さ	重 量	
28	飾金具	6E-19 破片	1.3	3.6	0.1	2.1	銅製、表面に毛彫
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
29	金具	16O-3 破片	4.7	3.0	0.1	8.0	円形の銅製品、縁の破片
30	把手	16表土 破片	3.2	0.6	0.3	1.6	銅製、継手の一部、つぶれて扁平
31	キセル	表土 完	5.9	0.7	0.1	2.9	銅製、吸口
32	銭		2.42	1.94	0.12	2.30	開元通宝
33	銭		2.45	2.20	0.10	2.10	開元通宝
34	銭		2.40	2.04	0.11	1.60	開元通宝
35	銭		2.14	1.85	0.10	1.10	開元通宝
36	銭		2.47	2.04	0.13	2.80	宋通元宝
37	銭		2.45	1.96	0.11	2.50	至道元宝
38	銭		2.41	1.99	0.12	2.10	咸平元宝
39	銭		2.47	2.12	0.11	2.60	天禧通宝
40	銭		2.38	2.01	0.13	3.10	天禧通宝
41	銭		2.43	2.07	0.12	3.00	天聖元宝
42	銭		2.38	2.03	0.10	2.40	天聖元宝
43	銭		2.46	2.07	0.13	2.60	天聖元宝

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
44	銭		2.47	2.35	0.11	3.50	景祐元宝
45	銭		2.44	2.02	0.10	3.50	皇宋通宝
46	銭		2.42	1.76	0.10	2.20	皇宋通宝
47	銭		2.45	1.97	0.13	2.70	皇宋通宝
48	銭		2.30	1.95	0.13	2.60	嘉祐元宝
49	銭		2.40	2.05	0.13	3.10	嘉祐通宝
50	銭		2.36	2.06	0.13	3.40	嘉祐通宝
51	銭		2.34	1.94	0.12	3.30	熙寧元宝
52	銭		2.44	2.05	0.10	2.20	熙寧元宝
53	銭		2.43	2.02	0.10	2.10	熙寧元宝
54	銭		2.38	2.05	0.13	3.10	熙寧元宝
55	銭		2.43	2.40	0.12	3.80	元豊通宝
56	銭		2.44	2.08	0.11	3.50	元豊通宝
57	銭		2.49	1.99	0.12	2.70	元豊通宝
58	銭		2.43	1.82	0.12	3.10	元豊通宝
59	銭		2.41	1.96	0.10	1.80	元豊通宝
60	銭		2.42	2.03	0.12	2.10	元豊通宝
61	銭		2.45	2.15	0.12	3.50	元祐通宝
62	銭		2.40	2.03	0.10	2.80	元祐通宝
63	銭		2.38	1.98	0.14	3.40	元祐通宝
64	銭		2.31	1.90	0.12	2.40	元祐通宝
65	銭		2.40	1.99	0.12	2.30	元祐通宝
66	銭		2.37	1.95	0.12	2.50	紹聖元宝
67	銭		2.41	1.85	0.11	1.80	紹聖元宝
68	銭		2.42	1.97	0.13	1.20	紹聖元宝
69	銭		2.38	2.00	0.13	2.30	紹聖元宝
70	銭		2.52	2.20	0.12	2.30	大定通宝
71	銭		2.35	2.12	0.11	3.00	嘉定通宝
72	銭		2.30	1.87	0.14	2.40	洪武通宝
73	銭		2.35	2.14	0.18	3.20	洪武通宝

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
74	銭		2.35	2.05	0.19	2.90	洪武通宝
75	銭		2.24	1.81	0.12	1.50	洪武通宝
76	銭		2.14	1.83	0.14	2.60	洪武通宝
77	銭		2.14	1.73	0.14	2.30	洪武通宝
78	銭		2.47	2.08	0.13	3.00	永楽通宝
79	銭		2.49	2.14	0.13	2.20	永楽通宝
80	銭		2.47	2.16	0.12	2.90	永楽通宝
81	銭		2.02	2.05	0.13	2.90	寛永通宝
82	銭		2.46	2.04	0.13	2.50	不明
83	銭		2.17			4.00	不明、3枚
84	銭		2.16	2.05	0.70	0.80	無文銭
85	銭		2.41	2.30	1.00	1.60	不明
86	銭		2.06		1.10	2.00	不明、2枚
87	銭		2.03	2.20	1.10	1.00	無文銭
88	銭		1.91	1.90	0.70	0.90	無文銭

和田山天神前遺跡 17区グリッド出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm、g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
1	不明	表土 完	9.9	1.5	1.0	61.3	釘か、厚手
2	釘	表土 完	7.1	0.3	0.3	3.1	
3	釘	神社前 略完	6.2	0.5	0.5	5.8	平釘、脚端欠損
4	釘	略完	6.0	0.6	0.6	5.0	角釘、脚端欠損
5	不明	表土 破片	5.9	0.8	0.8	10.5	L型の金具、一方の端部は中空
6	釘	フク土 頭欠	5.7	0.4	0.3	3.7	平釘か角釘
7	釘	フク土 完	4.7	0.2	0.2	1.1	平釘
8	釘	表土 完	3.8	0.4	0.3	1.9	角釘、頭は扁平山形
9	釘	フク土 略完	3.2	0.4	0.6	1.4	平釘、脚端欠損
10	釘	表土 両端欠	3.6	0.5	0.6	1.9	平釘か角釘
11	釘	表土 完	4.3	0.4	0.4	1.9	角釘、くの字曲折
12	釘	表土 頭欠	2.8	0.3	0.2	0.7	平釘か角釘
13	不明	表土 破片	2.4	1.2	0.4	3.4	板状、端部山形

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
14	釘	表土 破片	0.9	0.3	0.3	0.5	笠釘、軸以下欠損
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			タテ	ヨコ	厚さ	重 量	
15	金具	フク土 完	3.4	5.8	0.1	9.8	銅製、変五角形端部稜鏝がけ、外反り、内面3ヶ所のツメと3個の円孔
番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
16	キセル	17C-2 完	6.4	1.0	0.1	4.4	銅製、吸口
17	銭		2.31	2.31	0.10	2.40	寛永通宝
18	銭		2.44	2.46	0.13	3.30	寛永通宝

和田山天神前遺跡 18区グリッド出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
1	釘	18E-5 略完	6.8	0.6	0.5	12.1	平釘、脚端部欠損
2	釘	18J-3 完	5.0	0.6	0.6	6.1	角釘
3	釘	18C-5 完	4.9	0.3	0.3	1.2	平釘
4	釘	18I-6 完	4.3	0.3	0.5	2.5	平釘、頭は巻き込み
5	釘	18L-1 脚欠	3.5	0.4	0.6	2.6	平釘
6	釘	18S-9 脚欠	3.1	0.3	0.5	1.7	平釘、頭は巻き込み
7	釘	18I-6 頭欠	3.2	0.3	0.3	0.7	平釘か角釘
8	銭	1/2	2.36	1.97	1.20	0.12	政和通宝
9	鉄砲玉		1.2	1.2	1.2		18J-2グリッドの土坑から出土、牛か馬の骨を伴う
10	鉄砲玉		1.1	1.1	0.9		18J-2グリッドの土坑から出土、牛か馬の骨を伴う

和田山天神前遺跡 19区グリッド出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	法 量 (cm, g)				特 徴
			長さ	幅	厚さ	重 量	
1	釘	19R-13 完	13.0	0.6	0.6	13.1	平釘
2	釘	19B-10 完	7.0	0.5	0.6	7.2	平釘
3							欠番
4	釘	19B-9 完	5.5	0.6	0.6	5.2	角釘
5	釘	19C-9 完	4.3	0.6	0.6	5.4	平釘、頭は巻き込み
6	釘	19E-8 脚欠	3.0	0.4	0.3	1.4	平釘、頭は巻き込み
7	釘	19B-9 完	2.5	0.4	0.4		平釘、頭は巻き込み、脚端部U字形にまがる

番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm)			胎土	焼成 色調	成形・整形の特徴
			器高	口径	底径			
8	碗	19B-10 1/2	2.3	4.1	厚0.1			銅製か、口唇肥厚
番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm, g)				特	徴
			タテ	ヨコ	厚さ	重量		
9	不明	19B-10 破片	1.9	3.3	0.1			略円形の銅板、表面タタキによりわずかに凹凸、裏面平滑
番号	器種	出土位置 残存状態	法量 (cm, g)				特	徴
			長さ	幅	厚さ	重量		
10	キセル	19C-8 略完	13.4		0.1			銅製、雁首長6.1cm、吸口長7.3cm、火ざら径1.3cm
11	キセル	19T-13 火ざら欠	7.3	1.1	0.1			銅製、雁首、厚手、鋳目が全体に残る
12	キセル	19A-8 完	5.1	1.0	0.1			銅製、雁首、木質残る、火ざら径1.0cm
13	キセル	19C-9 完	4.9	0.7	0.1			銅製、雁首
14	キセル	19B-10 完	4.2	1.6	0.1			銅製、雁首
15	キセル	19A-8 火ざら欠	4.8	0.9	0.1			銅製、雁首
16	キセル	19B-9 完	6.6	1.1	0.1	6.5		銅製、吸口、らせん状の線刻
17	キセル	19A-8 完	5.7	1.4	0.1			真鍮製、吸口、押しつぶされている、炭化物あり
18	キセル	19E-9 略完	4.7	0.9	0.1	3.0		銅製、吸口、2ヶ所に毛彫
19	キセル	19表土 完	4.6	1.0	0.1			銅製、吸口、木質残る
20	キセル	19B-10 両端欠	4.1	0.8	0.1	2.0		銅製、吸口
21	キセル	19C-8 破片	4.2	0.8	0.1			銅製、吸口、押しつぶされている
22	銭		2.31	1.97	0.13	1.80		雁首銭
23	銭		2.17	2.53		1.40		雁首銭
24	銭		2.54	2.54	0.13	3.20		寛永通宝、裏に文
25	銭		2.39	2.38	0.11	2.90		寛永通宝
26	銭		2.46	2.44	0.12	2.80		寛永通宝
27	銭		2.45	2.43	0.13	3.40		寛永通宝
28	銭		2.67	2.66	0.10	3.30		文久永宝
29	銭		2.69	2.71	0.10	3.90		文久永宝
30	火打金	19E-9 完	2.1	5.5	0.6			孔径0.2cm

和田山天神前遺跡 4号古墳出土ガラス小玉

番号	法量 (cm, g)			
	タテ	ヨコ	厚さ	重量
108-1	0.30	0.30	0.25	0.20
2	0.25	0.25	0.20	0.10
3	0.30	0.30	0.25	0.10
4	0.30	0.30	0.20	0.10
5	0.30	0.30	0.20	0.09
6	0.35	0.30	0.25	0.13

番 号	法 量 (cm、g)			
	タテ	ヨコ	厚さ	重量
108-7	0.30	0.33	0.20	0.13
8	0.25	0.30	0.18	0.10
9	0.30	0.35	0.20	0.13
10	0.35	0.35	0.30	0.20
11	0.30	0.30	0.20	0.13
12	0.45	0.45	0.30	0.25
13	0.33	0.35	0.20	0.10
14	0.30	0.33	0.30	0.10
15	0.28	0.28	0.20	0.10
16	0.30	0.35	0.25	0.15
17	0.20	0.20	0.15	0.10
18	0.35	0.30	0.30	0.10
19	0.28	0.25	0.18	0.10
20	0.30	0.30	0.20	0.10
21	0.30	0.30	0.20	0.10
22	0.30	0.30	0.20	0.10
23	0.33	0.35	0.20	0.10
24	0.25	0.28	0.15	0.10
25	0.33	0.30	0.25	0.15
26	0.30	0.30	0.25	0.13
27	0.25	0.25	0.25	0.10
109	0.30	0.33	0.20	0.10
110	0.36	0.42	0.25	0.13

和田山天神前遺跡 5号古墳出土ガラス小玉

番 号	法 量 (cm、g)			
	タテ	ヨコ	厚さ	重量
1-1	0.43	0.43	0.30	0.13
2	0.40	0.40	0.30	0.15
3	0.40	0.38	0.23	0.10
4	0.40	0.43	0.35	0.13
5	0.38	0.40	0.30	0.13
6	0.38	0.38	0.30	0.13
7	0.40	0.40	0.33	0.13
8	0.35	0.40	0.25	0.13
9	0.35	0.33	0.20	0.10
10	0.38	0.38	0.25	0.10
11	0.35	0.40	0.23	0.10
12	0.40	0.38	0.25	0.10
13	0.40	0.40	0.35	0.10
14	0.45	0.45	0.30	0.13
15	0.40	0.45	0.30	0.13
16	0.40	0.45	0.25	0.13
17	0.40	0.43	0.25	0.10
18	0.38	0.38	0.25	0.15
19	0.40	0.35	0.28	0.15
20	0.40	0.43	0.25	0.10
21	0.45	0.50	0.30	0.15
22	0.40	0.38	0.30	0.10
23	0.38	0.40	0.33	0.15
24	0.38	0.35	0.25	0.10
25	0.30	0.35	0.30	0.10
26	0.45	0.43	0.33	0.13
27	0.35	0.33	0.15	0.10
28	0.40	0.40	0.28	0.10
29	0.40	0.38	0.28	0.13
30	0.40	0.38	0.25	0.10
31	0.35	0.35	0.30	0.10
32	0.35	0.35	0.18	0.10

番 号	法 量 (cm, g)			
	タテ	ヨコ	厚さ	重量
1-33	0.40	0.35	0.25	0.10
34	0.40	0.40	0.30	0.13
35	0.30	0.32	0.30	0.10
36	0.30	0.30	0.25	0.10
37	0.38	0.40	0.30	0.13
38	0.35	0.33	0.33	0.08
39	0.43	0.45	0.30	0.13
40	0.40	0.40	0.30	0.15
41	0.40	0.40	0.30	0.15
42	0.50	0.47	0.40	0.10
43	0.35	0.35	0.30	0.10
44	0.35	0.40	0.35	0.15
45	0.35	0.35	0.23	0.10
46	0.40	0.40	0.25	0.10
47	0.43	0.40	0.20	0.13
48	0.50	0.45	0.25	0.10
49	0.45	0.45	0.30	0.15
50	0.45	0.35	0.35	0.15
51	0.40	0.30	0.30	0.15
52	0.35	0.35	0.23	0.10
53	0.30	0.35	0.15	0.10
54	0.33	0.33	0.25	0.10
55	0.38	0.38	0.28	0.10
56	0.43	0.43	0.28	0.10
57	0.43	0.43	0.25	0.13
58	0.45	0.43	0.25	0.13
59	0.43	0.40	0.25	0.13
60	0.35	0.35	0.25	0.10
61	0.40	0.40	0.30	0.15
62	0.45	0.45	0.32	0.15
63	0.37	0.40	0.30	0.15
64	0.35	0.35	0.25	0.10
65	0.30	0.30	0.25	0.10
66	0.35	0.35	0.25	0.10
67	0.45	0.43	0.25	0.13
68	0.40	0.43	0.28	0.10
69	0.45	0.40	0.28	0.10
70	0.45	0.45	0.30	0.15
71	0.40	0.40	0.30	0.10
72	0.40	0.40	0.20	0.10
73	0.40	0.38	0.28	0.10
74	0.43	0.43	0.25	0.13
75	0.43	0.43	0.25	0.15
76	0.43	0.38	0.33	0.10
77	0.35	0.43	0.25	0.15
78	0.40	0.40	0.25	0.13
79	0.35	0.35	0.27	0.15
80	0.40	0.40	0.30	0.15
81	0.40	0.40	0.25	0.15
82	0.40	0.35	0.28	0.15

発掘調査報告書抄録

ふりがな	わだやまてんじんまえいせき								
書名	和田山天神前遺跡								
副書名	北陸新幹線地域埋蔵文化財発掘調査報告書								
巻次	11								
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書								
シリーズ番号	第254集								
編著者名	女屋和志雄・関口美枝・飯森康広・大西雅広								
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団								
所在地	〒377-0061 群馬県勢多郡北橘村大字下箱田784-2 TEL 0279(52)2511								
発行年月日	西暦1999年3月25日								
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °'〃	東経 °'〃	調査期間	調査面積 m ²	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
わだやまてんじんまえ 和田山天神前	ぐんまけんぐんまぐん 群馬県群馬郡 箕郷町大字和田 やま 山	10323	00360	36° 22' 57"	138° 56' 40"	19921101) 19950731	16,471	鉄道(北陸新幹線) 建設に伴う事前調 査	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
和田山天神前	集落	旧石器時代			ナイフ、スクレイパー、剥片		寺院跡 極楽院前身遺構		
		縄文時代	竪穴住居跡	3軒	縄文土器、石器				
			土坑	42基					
	集落 墳墓	古墳時代		埋甕	2基	形象埴輪、円筒埴輪			
				古墳	26基	土師器			
				竪穴住居跡	5軒				
				方形周溝墓	1基				
	集落	平安時代		畠	1箇所				
				竪穴住居跡	2軒	土師器			
				土坑	1基				
中世			畠	1箇所					
			礎石建物	2棟	瓦、陶磁器、釘、銭				
			道	6条	信貴型水瓶				
			井戸	6基	蓬萊双雀鏡				
江戸時代		墓坑	18基						
		粘土採掘坑	1箇所						
		掘立柱建物	24棟						
		瓦窯跡							
		屋敷跡	2箇所	陶磁器					



群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第254集

和田山天神前遺跡
《本文編》

北陸新幹線地域
埋蔵文化財発掘調査報告書第11集

平成11年3月22日 印刷
平成11年3月25日 発行

編集・発行／群馬県埋蔵文化財調査事業団
〒377-0061 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511 (代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社